

文書番号 : NFMC_30-01_01-60-r02

NeoFace Monitor クラウド版

ユーザーズマニュアル

1.6.1 版

2026 年 8 月

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	変更内容
1.1.0	2021/10/6	初版（新規作成）
1.5.3	2025/6/16	NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順に[機能の選択]の説明を追加しました。
1.5.4	2025/10/24	アプリログイン代行認証の登録名欄の説明を追加しました。
1.6.0	2025/12/5	認証方式の Authenticator に関する説明を追加しました。
1.6.1	2026/7/31	Windows ログオン時のアカウント種別に関する説明を追加しました。

ご注意

- ・ NeoFace、NeoFace Monitor ならびに Bio-IDiom は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Windows、Active Directory ならびに Microsoft Entra ID は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・ ウイルスバスタークラウドはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- ・ 本書は日本電気株式会社の著作物です。著作権法により、お客様が個人で使用する以外の目的で、日本電気株式会社の許可なしに本書の一部または全部を複製することは禁じられています。
- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に掲載されている画像イメージなどは実際のものとは異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されているシステム名、製品名は開発メーカーの商標または登録商標です。なお、TM、®マークは明記しておりません。

目次

1. はじめに.....	1
1.1. 本書の構成	2
1.2. 注意事項	3
1.3. ご利用までの流れ	5
2. Windows 端末の準備と設定.....	6
2.1. 動作環境	6
2.2. プロキシの設定	7
2.3. インターネットセキュリティの設定.....	9
3. NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信とパスワードの変更	11
3.1. NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信	11
3.2. パスワードの変更	13
4. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール.....	16
4.1. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード手順.....	16
4.2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順.....	19
4.3. クライアントソフトのサイレントインストール手順	36
4.3.1. クライアントのサイレントインストール応答ファイルの作成.....	37
4.3.2. クライアントのサイレントインストールの実行.....	39
4.3.3. クライアントのサイレントインストール結果の確認.....	41
5. NFM クラウド版クライアントソフトのアンインストール	42
5.1. NFM クラウド版クライアントソフトのアンインストール手順.....	42
6. NFM クラウド版クライアントソフトのアップデート.....	44
6.1. アップデートインストーラのダウンロード手順	45
6.2. クライアントソフトの手動アップデート手順	47
6.3. クライアントソフトのサイレントアップデート手順	52
6.4. クライアントソフトの自動アップデート手順	54
7. 利用方法.....	55
7.1. 認証方法	55
7.1.1. 顔動き検知.....	56
7.1.2. MFA デバイス	57
7.1.3. 管理ポータルからの MFA デバイスの設定.....	60
7.2. Windows ログオン方法	63
7.3. 画面ロック解除方法	71
7.4. 代替認証	73
7.5. 顔画像の撮影（顔画像の更新）	81
7.6. 障害調査用ログのアップロード.....	87
7.7. Windows パスワード変更.....	90

7.8.	カメラの切替えについて	94
7.9.	NFM 以外のアプリケーションのカメラ使用時の注意	99
8.	アプリログイン代行認証	100
8.1.	アプリログイン代行認証について	100
8.2.	動作確認済み WEB ブラウザおよび Windows アプリケーション	101
8.3.	注意事項	102
8.4.	アプリログイン代行認証の登録名	103
8.5.	アプリログイン代行認証の登録	104
8.5.1.	登録画面が 1 画面の場合	104
8.5.2.	登録画面が複数画面の場合	115
8.6.	アプリログイン代行認証の使用方法	128
8.6.1.	認証画面が 1 画面の場合	129
8.6.2.	認証画面が複数画面の場合	132
8.7.	登録情報の参照	136
8.8.	登録情報の削除	139
8.9.	登録情報の変更	141
8.9.1.	登録画面が 1 画面の場合	141
8.9.2.	登録画面が複数画面の場合	145
9.	常時認証機能	149
9.1.	常時認証機能について	149
9.1.1.	常時認証とは	149
9.1.2.	認証のタイミング	150
9.1.3.	常時認証の注意事項	151
9.2.	常時認証ポリシーの設定	153
9.3.	常時認証機能を使用する	154
9.3.1.	常時認証機能の開始	154
9.3.2.	常時認証機能の一時停止	156
9.3.3.	手動での常時認証機能の再開	157
10.	パスワード再発行	158
10.1.	パスワード再発行用メールアドレスの送信先入力	159
10.2.	パスワード再発行メール受信	160
10.3.	パスワード再発行	161
11.	認証情報のキャッシュ数の変更	164
12.	Windows 10 でのご利用について	166
13.	トラブルシューティング	171
13.1.	クライアントソフトのアップデートに失敗	171
付録 1.	Entra ID 登録の設定	176
付録 2.	NFM クラウド版クライアントのバージョン確認	179

付録 3. ライセンス	185
-------------------	-----

1. はじめに

本書は、NeoFace Monitor クラウド版クライアントソフトのインストール、アンインストールおよび利用方法について説明しています。インストールなどの作業を始める前に、本章を一読ください。

本書で使用している記号の意味は、以下のとおりです。

記号	意味
	遵守すべき事柄や特に注意すべき点を示します。
	本文に記載されている情報に関する解説・補足情報を示します。

本書で対応する製品のバージョンは以下のとおりです。

- ・ NeoFace Monitor クラウド版 クライアント (64bit) : Version 1.6.1

本書では、以下の略称を使用しています。

- ・ NeoFace Monitor クラウド版 クライアント (64bit) : NFM クラウド版クライアント
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル : 管理ポータル
- ・ NeoFace Monitor クラウド版 利用者 : NFM 利用者
- ・ Windows を搭載した端末 : Windows 端末

1.1. 本書の構成

本書の構成について説明します。運用シーンに合わせて、ご参照ください。

運用場面	参照先
Windows 端末の準備と設定をする。	第 2 章
NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信。パスワードを変更する。	第 3 章
NFM クラウド版クライアントソフトをダウンロードする。インストールをする。	第 4 章
NFM クラウド版クライアントソフトをアンインストールする。	第 5 章
NFM クラウド版クライアントソフトのアップデートインストーラをダウンロードする。インストールをする。	第 6 章
Windows ログオン、画面ロック、顔画像の撮影、障害調査用ログのアップロードについて。	第 7 章
アプリログイン代行認証機能について。	第 8 章
常時認証機能について。	第 9 章
パスワードを再発行する。	第 10 章
Windows アカウントのキャッシュ数を変更する。	第 11 章
Windows 10 での利用について。	第 12 章
トラブルシューティング。	第 13 章

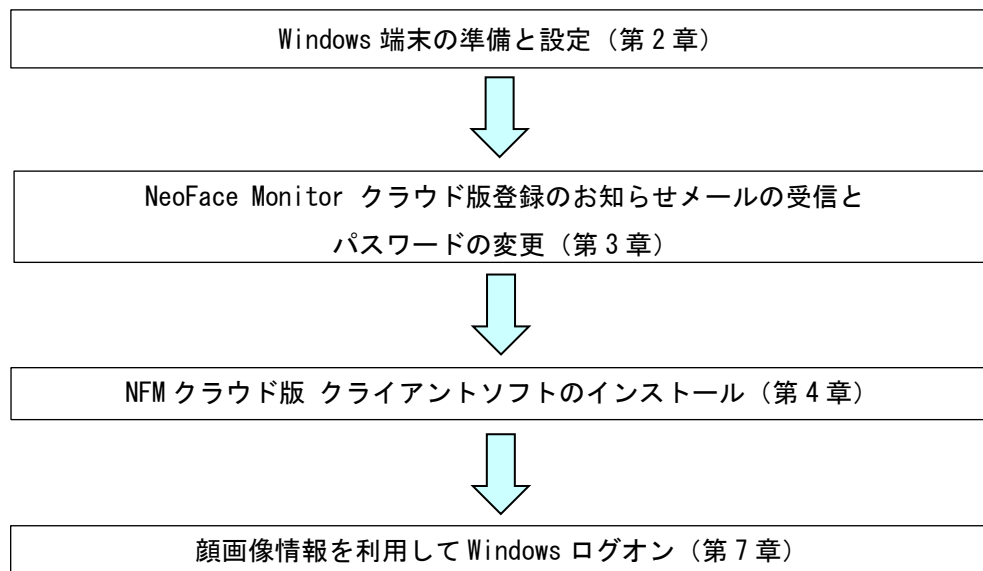
1.2. 注意事項

- Microsoft Entra ID について
Microsoft Entra ID（旧名称：Azure Active Directory）について、本書では「Entra ID」と記載します。
- Windows のログオン先について
Windows のログオン先がドメインの場合は、本製品をインストールする前に Active Directory ドメインへの参加を行ってください。
または、Windows のログオン先が Entra ID の場合は、本製品をインストールする前に Entra ID への参加を行ってください。
- Windows 10 でのご利用について
Windows 10 をご利用の場合は、本書の「12.Windows 10 でのご利用について」をご参照ください。
- 他の Windows ログオン製品との併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows 以外のカスタマイズ Credential Provider（SKYSEA Client View、CyberLink YouCam、NEC Authentication Agent など）および他の生体認証製品との共存はサポートしていません。そのため、他の Windows ログオン製品がインストールされている場合は、アンインストールしてから、NFM クラウド版クライアントのインストールを行うようにお願いいたします。
- カメラを使用する他アプリケーションとの併用について
NFM クラウド版クライアントは Windows ログオンおよび画面ロック解除、常時認証機能の際にカメラを使用します。カメラを使用する他のアプリケーションと併用できませんのでご注意ください。
- OS 環境について
NFM クラウド版クライアントは x64 バージョンをご用意しています。
- Windows パスワードの注意点
インストールする前に、Windows アカウントに Windows パスワードが設定されていることを必ず確認してください。Windows パスワードが未設定の場合、Windows ログオンできなくなります。
NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応していません。Windows パスワードが 64 文字以上の場合、インストールする前に 63 文字以下になるように Windows パスワードを変更してください。
- 管理ポータル上に登録する Windows パスワードについて
NeoFace Monitor クラウド版における Windows アカウントの新規追加時の Windows パスワード設定操作、および再設定操作では、Windows の登録内容と同じ Windows パスワードを設定してください。Windows と異なる値を設定した場合、Windows ログオンできなくなります。

- Windows パスワードの入力制限について
NeoFace Monitor クラウド版をご利用中のシステムでは、Windows パスワードに半角スペースを使用することができません。
- 画面表示のちらつきについて
Windows ログオン時、もしくは画面ロック解除時に、端末の種類によっては、Windows ログオンもしくは画面ロック解除画面の表示がちらつくことがあります。動作に支障はありません。
- OS 起動時間について
本ソフトウェアをインストールすることによって、OS 起動時のログオン画面への遷移が遅くなる可能性があります。
- 対応するアカウントについて
本製品はWindows アカウント(ローカルアカウント・ドメインアカウント)またはEntra ID アカウントに対応しています。上記以外のアカウントは対応していません。
- Microsoft アカウントの注意点
Windows 10、Windows 11 搭載端末へNFM クラウド版クライアントをインストールする場合、対象端末にMicrosoft アカウントしか存在していない場合にはインストールが正常完了せず、製品を利用することができません。
Windows アカウント(ローカルアカウント・ドメインアカウント)またはEntra ID アカウントを使用してください。
- タブレット端末の画面回転について
Windows タブレットの画面の自動回転へは対応しておりません。NFM クラウド版クライアントの画面は常に固定表示となります。(NEC 製タブレット PC のみ自動回転に対応しています)
- InfoCage PC セキュリティとの連携について
NEC の統合型 PC セキュリティソフトウェアである InfoCage PC セキュリティと NFM クラウド版クライアントを連携させる場合は双方の動作環境、連携バージョンをご確認のうえ、インストールしてください。
- 顔の登録、認証について
NeoFace Monitor クラウド版では顔の登録、認証を行う際に両目が開いている必要があります。顔の登録、認証を行えない場合は、パスワードによる代替認証をご利用いただくことができます。
- NeoFace Monitor をインストールした PC の使用を終了する場合について
NeoFace Monitor は認証情報を取り扱う製品のため、PC の廃棄や譲渡など、PC の使用を終了する場合は、必ず NeoFace Monitor をアンインストールしてください。
- Windows Update について
Windows Update の再起動待ちの場合、NeoFace Monitor が正常に動作しない可能性がありますので、再起動を行って下さい。

1.3. ご利用までの流れ

Windows 端末で顔認証ログオンをする場合のご利用までの流れは、以下のとおりです。



2. Windows 端末の準備と設定

2.1. 動作環境

NFM クラウド版クライアントは、以下の動作環境が必要です。対応状況をご確認ください。

対応 OS ※ ¹	Windows® 11 Pro Version 24H2/25H2 Windows® 11 Enterprise Version 23H2/24H2/25H2 Windows® 11 IoT Enterprise Version 23H2/24H2 ※ ² Windows® 11 Enterprise LTSC 2024 Windows® 11 IoT Enterprise LTSC 2024 Windows® 10 Enterprise 2016 LTSC/2019 LTSC/2021 LTSC (64 ビット版) Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSC/2019 LTSC/2021 LTSC (64 ビット版) ※ ²
OS 言語	日本語版
CPU	複数物理コアを有する 2.0GHz 以上の CPU ※ ³ Intel® Core™ i シリーズ相当を推奨します。
メモリ容量	2GB 以上
ディスク容量	インストール用:3.0GB
Web カメラ	PC 内蔵の場合 : 7.68 万画素 (320×240 ピクセル) 以上 外付けの場合 : 7.68 万画素 (320×240 ピクセル) 以上、USB 2.0 以降の製品

管理ポータルをサポートブラウザ (Windows 版のみ) は以下の通りです。

- ・ Google Chrome (利用時の最新版)
- ・ Microsoft Edge (利用時の最新版)

※¹ マイクロソフト社がサポートを実施している OS バージョンが NeoFace Monitor クラウド版としてサポートする OS バージョンとなります。最新の OS 対応状況については下記サイトにてご確認ください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/environments.html>

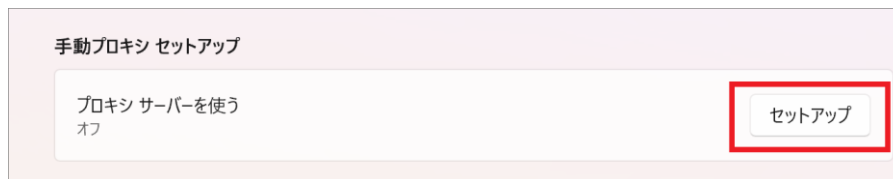
※² シンククライアント端末にてご利用になる場合は、別冊のマニュアル『NeoFace Monitor シンククライアント端末への適用について』をご確認ください。

※³ 上記の CPU スペックを下回る環境でご利用いただく場合は、顔認証を行う際の画面遷移や描画が遅くなる可能性がありますので、事前に実機を使った評価をお願いいたします。

2.2. プロキシの設定

インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、以下の設定を行ってください。

1. ローカルグループポリシー※¹を起動する。
2. [ローカル コンピューター ポリシー]－[コンピューターの構成]－[管理用テンプレート]－[Windows コンポーネント]－[Internet Explorer]を押下する。
3. [コンピューター別にプロキシを設定する(ユーザー別ではなく)]を[有効]に設定する。
4. [スタート]－[設定]－[ネットワークとインターネット]－[プロキシ]を順に押下
5. Windows OS のバージョンが Windows 10 の場合は、本手順をスキップし手順 6 へ進む。
Windows 11 の場合、[手動プロキシ セットアップ]－[プロキシ サーバーを使う]の[セットアップ]または[編集]を押下する。



※¹ ローカルグループポリシーの起動については、「12. Windows 10 でのご利用について」末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

6. [手動プロキシ セットアップ]の[プロキシ サーバーを使う]をオンにし、プロキシサーバーの設定を行う。

手動プロキシ セットアップ

イーサネットまたは Wi-Fi 接続にプロキシサーバーを使います。これらの設定は、VPN 接続には適用されません。

プロキシサーバーを使う

☒ オン

アドレス ポート

次のエントリで始まるアドレス以外にプロキシサーバーを使います。エントリを区切るにはセミコロン (;) を使います。

☐ ローカル (イントラネット) のアドレスにはプロキシサーバーを使わない

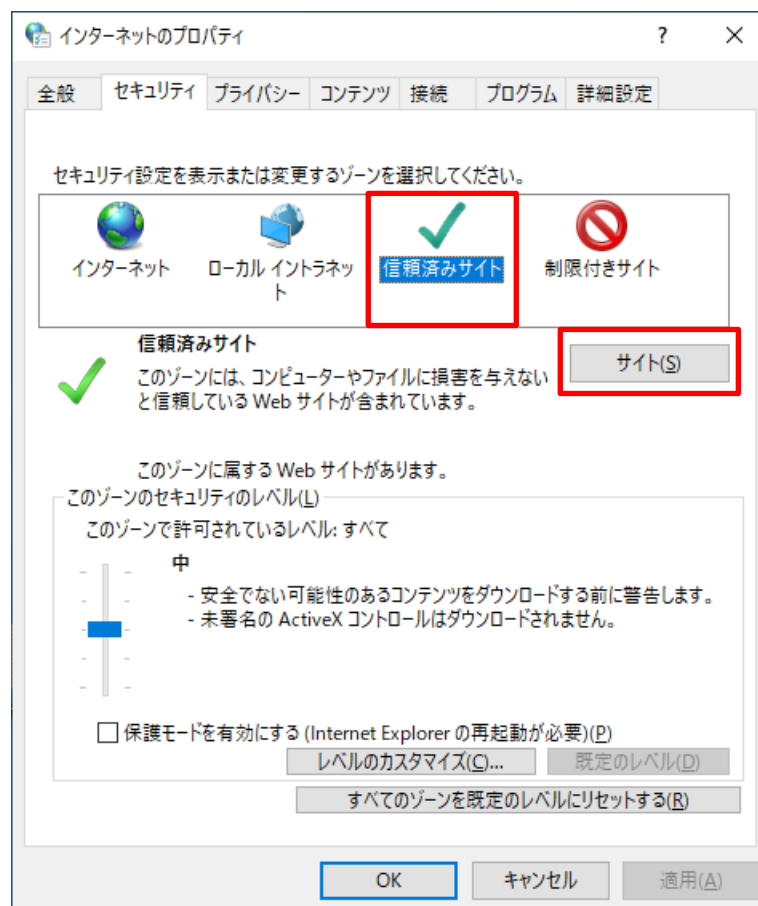
保存

NFM クラウド版クライアントは手動プロキシ セットアップで設定されたプロキシサーバーの情報を元にプロキシを使用するため、自動プロキシ セットアップでスクリプトファイルを使用するように設定されている場合でも、手動プロキシ セットアップの設定を行ってください。

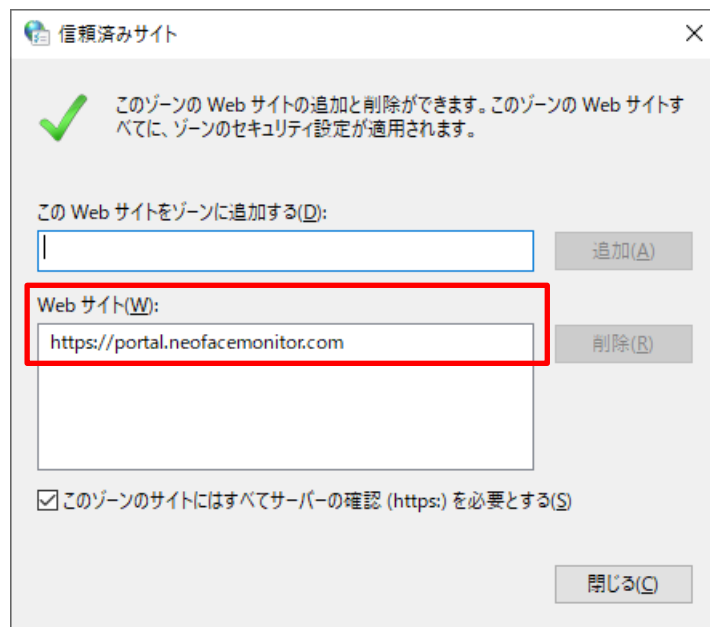
自動プロキシ セットアップと手動プロキシセットアップの両方が有効に設定されている場合、自動プロキシ セットアップを優先します。そのため既存の動作には影響ありません。

2.3. インターネットセキュリティの設定

1. [スタート]－[Windows システム ツール]－[コントロール パネル]を順に押下して、
[コントロール パネル]を表示する。
Windows 11 の場合、[Windows システム ツール]は[Windows ツール]に読み替えてください。
2. [ネットワークとインターネット]－[インターネット オプション]を順に押下して、
[インターネットのプロパティ]を表示する。
3. [セキュリティ]タブを押下し、[セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。] の欄で [信頼済みサイト]を選択したあと、[サイト]を押下する。



4. [この Web サイトをゾーンに追加する]に[https://portal.neofacemonitor.com]を入力して[追加]を押下し[Web サイト]に追加する。



5. [閉じる]－[OK]を順に押下して、[インターネットのプロパティ]を終了する。

3. NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信とパスワードの変更

3.1. NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信

システム管理者にて登録されたメールアドレス（NFM 利用者 ID）に NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールが届きます。

※NFM 利用者 ID がメールアドレスではない場合、システム管理者にメールが届きます。

NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの内容に沿って、ご対応をお願いします。

NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメール

〈NFM 利用者名〉様

NeoFace Monitor クラウド版の利用者として、システム管理者からご登録いただきました。

はじめに、以下の Web ページから『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』をダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/support.html>

→マニュアル

→NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル

サービスのご利用には、利用者としての事前作業の実施が必要となりますので、1 章～7 章をお読みのうえ、ご対応をお願いします。

なお、『NeoFace Monitor クラウド版 ユーザーズマニュアル』の「3.2. パスワードの変更」では、パスワード変更 URL と現在のパスワードが必要になります。以下を使用してください。

パスワード変更 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/XXXXX>

現在のパスワード : xxxxxx

3. NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールの受信とパスワードの変更

パスワード変更後は、以下の URL からログインしてください。

また、パスワード変更 URL の有効期限は 24 時間です。以下の URL からログイン後、サブメニューエリアの「パスワード変更」からもパスワードの変更が可能です。

パスワード変更後 URL : <https://portal.neofacemonitor.com/XXXXX>



NFM クラウド版クライアントソフトをインストールするには、Administrators 権限または Domain Admins 権限の Windows アカウントとパスワードが必要になります。次節以降のパスワード変更、NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロードとインストールを続けて行う場合は、Administrators 権限または Domain Admins 権限の Windows アカウントで Windows ログオンしてください。

3.2. パスワードの変更

記載されているパスワード変更 URL にアクセスすると、パスワード変更画面が表示されます。必要な項目を入力して[パスワードを変更する]ボタンを押下してください。

パスワード変更画面

The screenshot shows the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' (NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal) interface. A central modal window titled 'パスワード変更' (Change Password) is displayed. It contains the following fields: 'NFM利用者ID' (NFM User ID) with the value 'portal-nfm@example.com', '現在のパスワード' (Current Password), '変更パスワード' (New Password), and '変更パスワード(再入力)' (New Password (Re-enter)). A dark blue button labeled 'パスワードを変更する' (Change Password) is at the bottom of the modal.

- ・ NFM 利用者 ID : パスワード変更対象の NFM 利用者 ID が表示されます。
- ・ 現在のパスワード : NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールに記載されたパスワード。
※5 回連続で間違えると NFM 利用者 ID が 15 分間ロックされます。
- ・ 変更パスワード : 8 文字以上のパスワードに変更してください。
- ・ 変更パスワード (再入力) : 確認用の入力。



パスワードは半角英数字、および以下以外の半角記号を使用してください。
記号 : 「¥」「”」「/」



NeoFace Monitor クラウド版登録のお知らせメールに記載されたパスワード変更後の URL からログインした場合は、サブメニューエリアの「パスワード変更」からもパスワードを変更できます。

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

項目名	入力値	エラーメッセージ
現在のパスワード	空	現在のパスワードが入力されていません。 ※パスワード再発行時以外
	256 文字以上	現在のパスワードの形式が正しくありません。 ※パスワード再発行時以外
変更パスワード	空	変更パスワードが入力されていません。
	8 文字未満	変更パスワードは 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	変更パスワードの形式が正しくありません。
	現在のパスワードと同じ	現在のパスワードと変更パスワードは違うものにしてください。
変更パスワード (再入力)	空	変更パスワード（再入力）が入力されていません。
	8 文字未満	変更パスワード（再入力）は 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	変更パスワード（再入力）の形式が正しくありません。
	変更パスワードと異なる	変更パスワードと再入力パスワードが一致していません。

パスワードが正常に変更されると、変更完了のダイアログが表示されます。

- ・ 一般ユーザの場合、[クライアントソフトをダウンロード]ボタンが表示されます。
ボタンを押下すると NeoFace Monitor クラウド版クライアントソフトのダウンロードに進みます。
- ・ システム管理者の場合、[NFM 利用者一覧へ]ボタンが表示されます。
ボタンを押下すると NFM 利用者一覧画面に進みます。

パスワード変更完了ダイアログ画面（一般ユーザの場合）



4. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール

4.1. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード手順



本書の「3. 2. パスワードの変更」にて、パスワード変更完了画面の[クライアントソフトをダウンロード]ボタンを押下した場合は、手順 3. へ進んでください。

1. NFM 利用者登録メールに記載されている URL をクリックし、[NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル]を開きます。

2. [NFM 利用者 ID]と[パスワード]を入力し、[ログイン]を押下します。

3. [NeoFace Monitor クライアントソフトのダウンロード]が表示されます。
[次へ]を押下して下さい。



4. ダウンロード画面が表示されます。



[テナント表示コード]、[テナントアクセスキー]、[テナント秘密鍵]はクライアントソフトのインストール時に必要な情報になります。メモしておいてください。



インストール時に[テナント表示コード]、[テナントアクセスキー]、[テナント秘密鍵]に誤った情報を入力すると NFM クラウド版クライアントソフトが正常に動作しない可能性があります。

5. [ダウンロード]ボタンを押下してください。操作を選んでくださいと表示されたら、[開く]を選択します。他の作業後にインストールする場合は、[保存]を選択します。

NeoFace Monitorクライアントソフト ダウンロード

クライアントソフトインストール時に必要な情報になります。
ダウンロードボタンを押す前にメモしておいてください。

テナント表示コード	0000000000000000	📋
テナントアクセスキー	0000000000000000	📋
テナント秘密鍵	0000000000000000	📋

4.2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順



NFM クラウド版クライアントは 64 文字以上の Windows パスワードに対応していません。Windows パスワードが 64 文字以上の場合、インストールする前に 63 文字以下になるように Windows パスワードを変更してください。



NFM クラウド版クライアントは全角または半角 21 文字以上の Windows アカウント名に対応していません。

Entra ID 表示名は全角 10 文字以下(半角 20 文字以下)の英数字記号、および以下以外の常用漢字を使用してください。

記号:「~」「//」「||」「¢」「&」「^」「_」「—」「-」

漢字:「叱」「填」「剝」「頬」



インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、NFM クラウド版クライアントソフトのインストールの前に、必ず「2.2. プロキシの設定」を実施してください。



インストール済みの状態で同じバージョンのインストーラを実行すると、アンインストールが開始されます。再インストールする場合は、「5.1. NFM クラウド版クライアントソフトのアンインストール手順」を参照しアンインストールしてから、インストールをしてください。



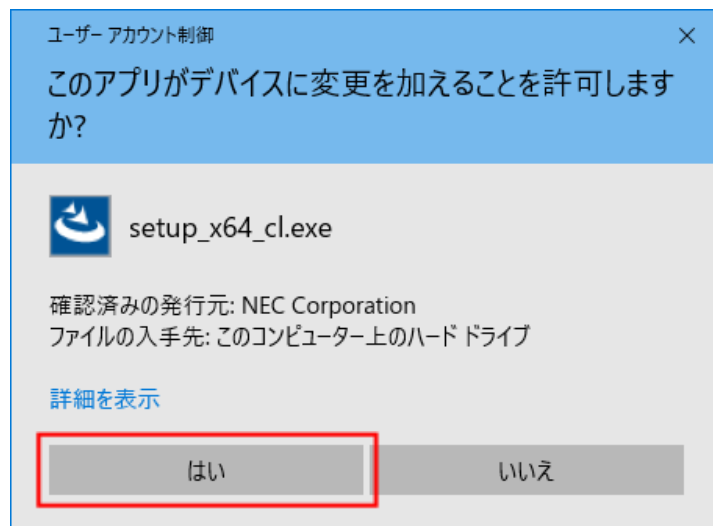
Windows 端末に 2 台以上のカメラが接続されている場合(タブレット PC など)は、インストール終了後の顔画像の登録を実施する前に、必ず本書の「7.8. カメラの切替えについて」をご実施ください。



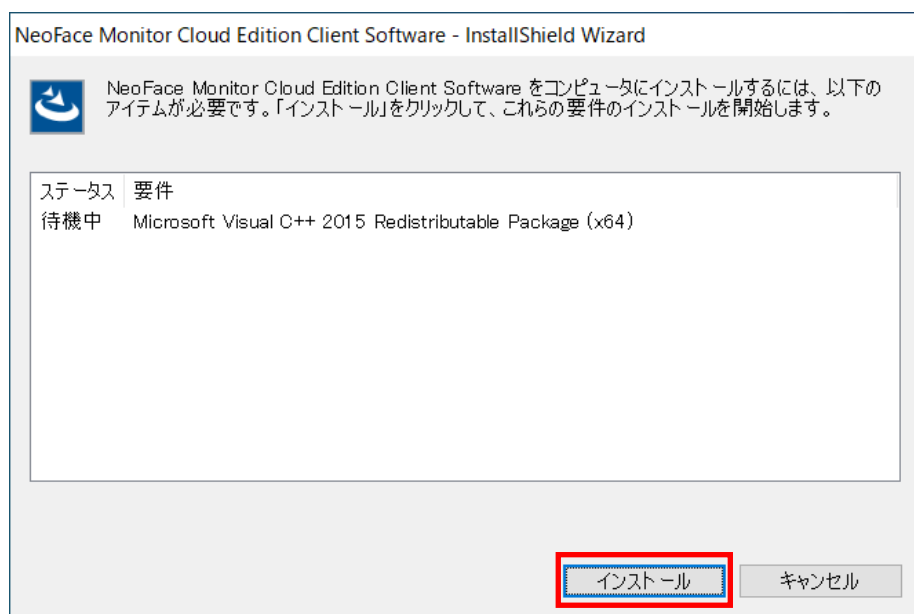
ウイルスバスタークラウドをお使いの場合、NFM クラウド版クライアントのインストール中、誤って不正なファイルと検知する場合があります。NFM クラウド版クライアントのインストール開始前から完了するまで、ウイルスバスタークラウドのリアルタイムスキャンの設定を無効化してください。

1. Windows アカウント (Administrators 権限 または Domain Admins 権限) で、対象の Windows に Windows ログオンしている場合は、手順 2. に進みます。
そうでない場合は、それらの権限の Windows アカウントでログオンしてください。
また、他のアプリケーションが動作している場合は、終了します。
2. 「4. 1. NFM クラウド版クライアントソフトのダウンロード手順」にて [開く] を選択した場合は、手順 3. に進みます。
[保存] を選択した場合は、ダウンロードした setup_x64_cl.exe を右クリックし、[管理者として実行] を押下します。

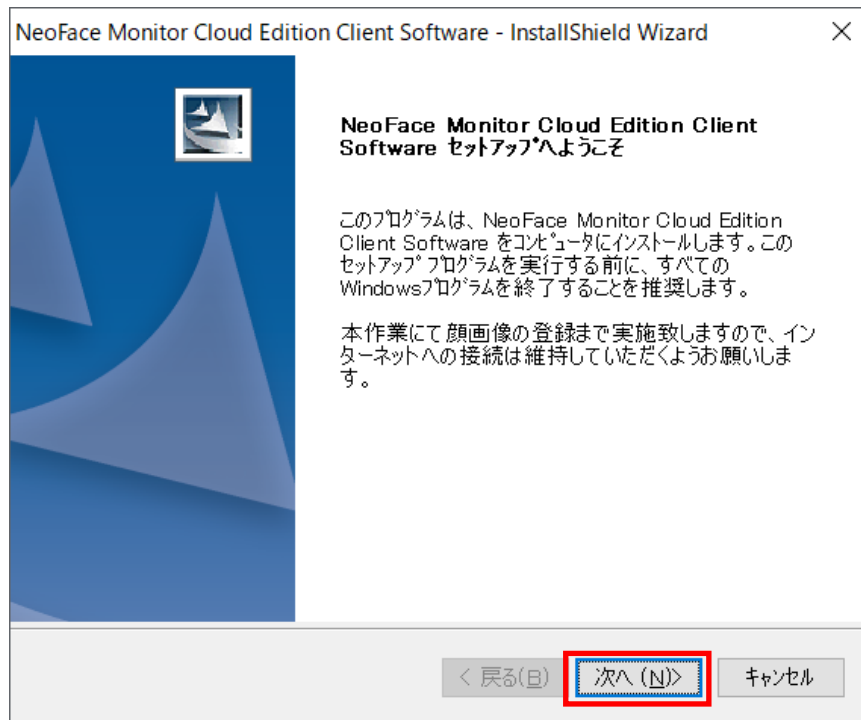
3. 以下のような確認を求められた場合は、[はい]を押下します。
インストールのための設定画面に移ります。



以下のような画面が表示された場合は、[インストール]を押下してください。
NFM クラウド版クライアントソフトのインストールに必要なソフトウェアです。



4. [NeoFace Monitor Cloud Edition Client Software セットアップへようこそ]ダイアログが表示されます。
[次へ]を押下します。

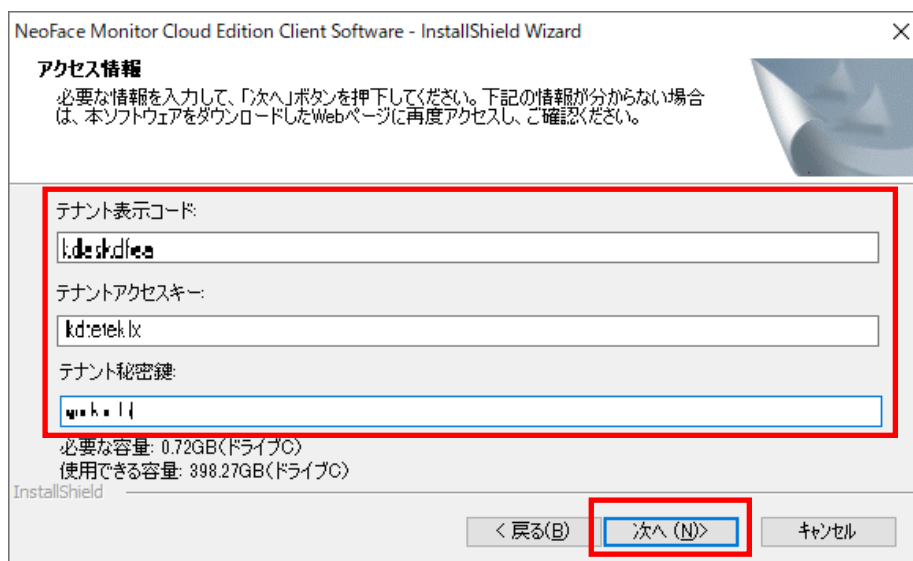


5. [使用許諾契約] ダイアログが表示されます。表示されている内容をご確認ください。
同意される場合は、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して[次へ]を押下します。



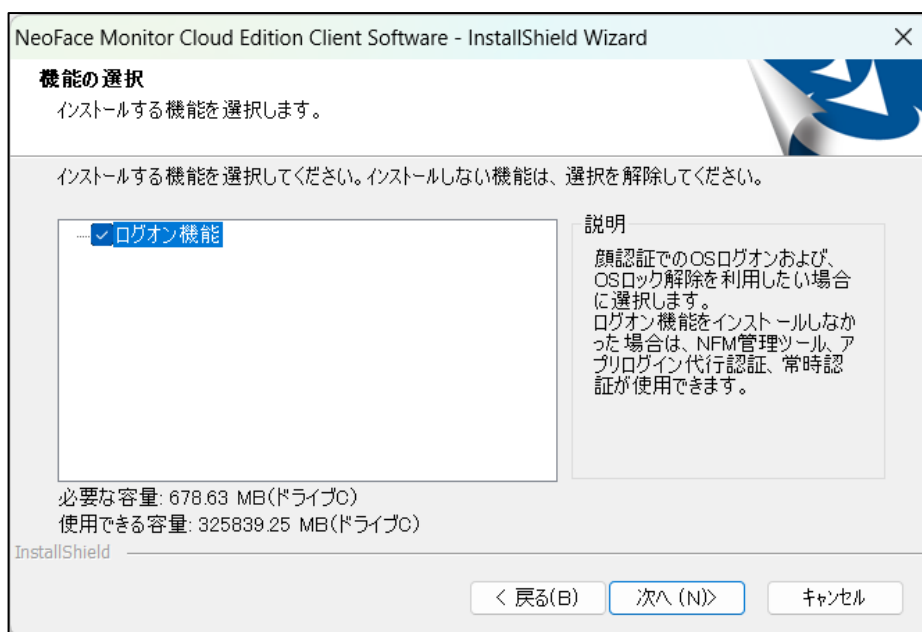
同意されない場合は[キャンセル]を押下し、インストールを中止します。

6. [アクセス情報] ダイアログが表示されます。[NeoFace Monitor クライアントソフト ダウンロード]時にメモしておいた[テナント表示コード]、[テナントアクセスキー]、[テナント秘密鍵]を入力します。[次へ]を押下します。



7. [機能の選択] ダイアログが表示されます。

顔認証でのログオンおよびロック解除を利用したい場合、[ログオン機能]を選択します。
[ログオン機能]の選択に関わらず、NFM 管理ツール、アプリログイン代行認証、常時認証が利用できます。



インストール後、インストールする機能の変更はできません。変更が必要な場合、再インストールが必要になります。



[ログオン機能]を選択しない場合、アプリログイン代行認証を利用するためには利用者の特定が必要なため、Windows アカウントと NFM 利用者の紐付けが 1:1 になるように設定を行ってください。

8. [Windows アカウント情報] ダイアログが表示されます。

アカウント種別によって入力内容が異なります。

選択したアカウント種別に応じて項目の入力および選択をし、[インストール]を押下します。

<ローカル・ドメインアカウントの場合>

- ・ Windows アカウント名
- ・ Windows パスワード
- ・ Windows アカウント種別
- ・ コンピュータ名 もしくは ドメイン名

<Entra ID アカウントの場合>

- ・ 表示名
- ・ Entra ID パスワード
- ・ Windows アカウント種別
- ・ Entra ID ドメイン名
- ・ ユーザプリンシパル名

なお、ダイアログの入力欄には、あらかじめ現在 Windows へログオン中の Windows アカウント名、コンピュータ名などの情報が入力されています。

インストール後に Windows ログオンする際に利用する Windows アカウントまたは表示名が入力されている情報と異なる場合は変更をしてください。

インストールが始まります。



各項目において未入力がある場合は、インストール処理は完了しますが、顔画像の登録を行いません。

NFM 利用者（一般ユーザー）による顔画像登録や Windows アカウントと NFM 利用者の紐付けを行う場合は、「7.2. Windows ログオン方法」の手順 1. を参照し、次回 Windows ログオン時に顔画像登録や紐付けを行ってください。

「ドメイン名」、「Entra ID ドメイン名」は[コントロール パネル]－[ユーザー アカウント]で確認することが可能です。



確認方法

- ①タスク バーの検索に“コントロール パネル”と入力し検索結果よりコントロール パネルを選択し、コントロール パネルを起動する。
- ②ユーザー アカウントを選択する。
- ③ドメイン名を確認する。



Microsoft Entra Hybrid Join 環境で使用する場合、端末ログオンに使うドメインアカウントの登録が必要です。

[Windows アカウント種別]で「ドメイン」を選択して、参加しているドメイン名を[ドメイン名]に入力してください。

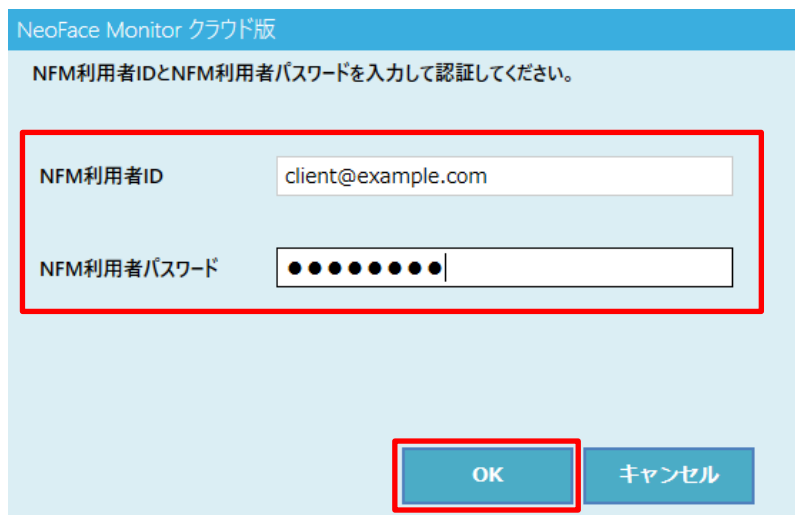


[Windows アカウント情報]ダイアログで選択する Windows アカウント種別は NeoFace Monitor クラウド版を使用する NFM 利用者の Windows アカウント種別と同じものを選択してください。

9. 顔画像の登録を行います。

インストール中に顔画像登録ツールの認証ダイアログが表示されます。

顔画像登録する利用者の[NFM 利用者 ID]と[NFM 利用者パスワード]を入力し、[OK]を押下します。



The image shows a login dialog box titled "NeoFace Monitor クラウド版". Below the title, it says "NFM利用者IDとNFM利用者パスワードを入力して認証してください。". There are two input fields: "NFM利用者ID" with the text "client@example.com" and "NFM利用者パスワード" with masked characters. At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル". A red rectangle highlights the input fields, and another red rectangle highlights the "OK" button.

顔画像登録を行わない場合は[キャンセル]を押下し、顔画像登録を中止します。

キャンセルした場合は、手順 14. に進んでください。



複数の NFM 利用者（一般ユーザー）で 1 つの Windows アカウントを共有する場合は、キャンセルせず顔画像登録と紐付けを行ってください。

Windows アカウントを共有している場合、次回 Windows ログオン時に顔画像登録や紐付けが行えない場合があります。



キャンセルしてもインストールは完了します。

NFM 利用者（一般ユーザー）による顔画像登録や Windows アカウントと NFM 利用者の紐付けを行う場合は、「7. 2. Windows ログオン方法」の手順 1. を参照し、次回 Windows ログオン時に顔画像登録や紐付けを行ってください。



Windows 端末に 2 台以上のカメラが接続されている場合（タブレット PC など）は、[OK]を押下する前に、必ず本書の「7. 8. カメラの切替えについて」をご実施ください。

10. Windows アカウントと NFM 利用者の紐付け画面が表示されます。

[Windows アカウント情報] ダイアログ画面で入力した Windows アカウントと、前項で入力した NFM 利用者の紐付け有無が表示されます。紐付けされている、または紐付けする場合は[OK]を押下してください。



紐付けがされていない状態で紐付けと顔画像登録をしない場合、または紐付けされている状態で顔画像登録をしない場合は、[キャンセル]を押下し、中止します。



キャンセルしてもインストールは完了します。

NFM 利用者（一般ユーザー）による顔画像登録や Windows アカウントと NFM 利用者の紐付けを行う場合は、「7.2. Windows ログオン方法」の手順 1. を参照し、次回 Windows ログオン時に顔画像登録や紐付けを行ってください。

11. 個人情報の同意確認ダイアログが表示されます。

※ 既に個人情報の取扱いに同意済みの場合は表示されません。

[個人情報の取扱いについて(告知文へリンク)]を押下し表示される内容を確認し、同意される場合は、[上記の個人情報の取扱いに同意します。] をチェックして [OK] を押下します。



同意されない場合は[キャンセル]を押下し、顔画像登録を中止します。

12. 顔画像撮影画面が表示されます。

※ 既に顔画像が登録されている場合は表示されません。

[撮影]を押下します。

顔画像撮影 | NeoFace Monitor クラウド版

撮影ボタンを押下してください。



No Photo

登録済み顔画像

NFM利用者ID	: client@example.com
姓	: クライアント
ミドルネーム	: アットマーク
名	: イグザンプル
認証情報	: 未登録

枠の中に顔が入るようにして
撮影ボタンを押してください。



撮影

撮影時は他の人が映らないようにしてください。

撮影完了 閉じる



[姓]、[ミドルネーム]、[名]はそれぞれ 80 文字まで登録可能ですが、顔画像撮影画面には 20 文字までしか表示されません。

顔撮影のときは下記に注意してください。

- ・ カメラに向かって正面を向いてください。

- ・ 顔をはっきり映してください。

全体が暗いか、影などで顔がはっきり映っていない場合は、明るさを調整してください。また、背後に太陽光や照明の映り込みがある場合は、光源が入り込まないようにしてください。



- ・ 認識枠に顔を合わせてください。

- ・ まばたきをしないでください。

- ・ サングラスやマスクをしないでください。

- ・ 他の人が映らないようにしてください。



認識枠

【撮影に失敗した場合】

顔画像の撮影に失敗した場合は、画像が赤い枠で表示され、以下のメッセージが表示されます。

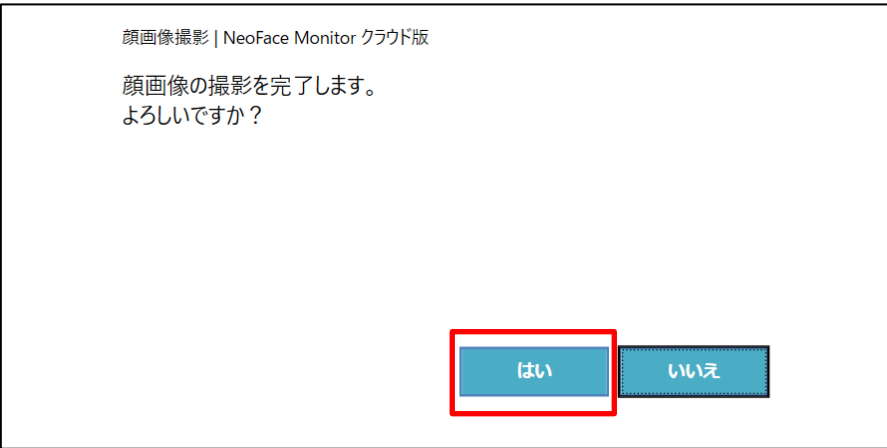
顔の位置やカメラの接続などを確認して[撮り直し]を押下し、手順 11. からやり直してください。また、何度も失敗する場合は、システム管理者にお問い合わせください。

このエリアに撮影のヒントが表示されます。

撮影がうまくできないときは、参考にしてください。



- 撮影を終了する場合は、[撮影完了]を押下します。



15. [InstallShield Wizard の完了]ダイアログが表示されたらインストールは終了です。
[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して [完了]を押下します。
OS を再起動します。



インストール手順は以上です。

ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトと NFM を併用してお使いになる場合、対策ソフト等の誤検知により、NFM の動作に支障が出る可能性があります。そのため、NFM クライアントのインストール完了後、以下のフォルダ、ファイルを除外設定いただくことをお勧め致します。

- ・ C:\Program Files\NEC\NeoFaceMonitor

当フォルダ配下の EXE ファイルが Windows のプロセスとして実行されます。

- ・ C:\Windows\System32\LogonUI.exe

当ファイルが Windows のプロセスとして実行され、NFM の処理を実行します。

- ・ C:\ProgramData\NEC\NeoFaceMonitor



当フォルダ配下にデータファイルがあるため読み書きが発生します。

- ・ C:\NEC

当フォルダにファイルの読み書きが発生します。

- ・ C:\ProgramData\SafeNet Sentinel

当フォルダ配下にデータファイルがあるため読み書きが発生します。

- ・ C:\Program Files (x86)\Common Files\Aladdin Shared\HASP

当フォルダ配下の EXE ファイルが Windows のプロセスとして実行されます。

- ・ C:\Program Files (x86)\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel

LDK\installed\101981

当フォルダ配下にデータファイルがあるため読み込み、書き込みが発生します。

4.3. クライアントソフトのサイレントインストール手順

事前に応答ファイルを作成し、作成した応答ファイルを利用してサイレントインストールを実施します。



サイレントインストールではない、通常の NFM クライアントのインストールを実施される場合には、「4. 2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順」をご参照ください。



Windows 端末に 2 台以上のカメラが接続されている場合 (タブレット PC など) は、インストール終了後の顔画像の登録を実施する前に、必ず本書の「7. 8. カメラの切替えについて」をご実施ください。



ウイルスバスタークラウドを利用される場合、ウイルスバスタークラウドがインストール中の NFM クラウド版のファイルを誤って不正なファイルとして検知する場合があります。NFM クラウド版クライアントのインストール開始前から完了するまで、ウイルスバスタークラウドのリアルタイムスキャンの設定を無効化してください。



ファイル配信ソフトや資産管理ソフトなどを使用してサイレントインストールを実施する場合、お客様環境によっては正常に動作しないことがあります。事前に十分な検証を行ってください。

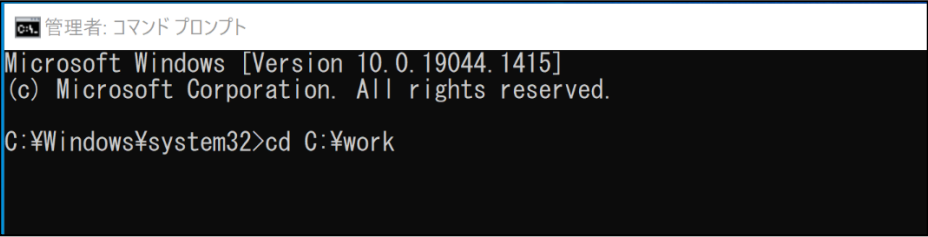
4.3.1. クライアントのサイレントインストール応答ファイルの作成

以下の手順でサイレントインストールの応答ファイルを作成します。

1. Windows アカウント (Administrators 権限 または Domain Admins 権限) で、対象の Windows に OS ログオンします。
また、他のアプリケーションが動作している場合は、終了します。
2. ダウンロードした setup_x64_cl.exe を使用します。
ここでは、例として、C:¥work 配下に保存します。
3. 管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドで、手順 2 のフォルダに移動します。

cd△C:¥work

(△は半角スペースを表します)



```
C:\> 管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1415]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥system32>cd C:¥work
```

コマンドプロンプトは Windows 10 ではスタートメニューから [Windows システムツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

Windows 11 では、スタートメニューから [すべてのアプリ]-[Windows ツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

4. 以下のコマンドを実行します。

〈インストーラファイル名〉△/r△/f1〈応答ファイル名〉

(△は半角スペースを表します)

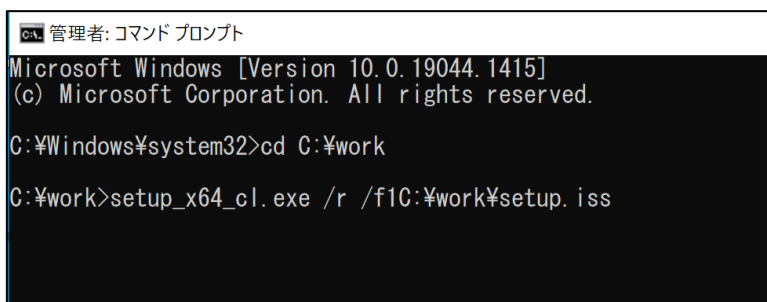
説明

〈インストーラファイル名〉: NeoFace Monitor のインストーラファイル名

〈応答ファイル名〉: 作成する応答ファイル名をフルパスで指定

例 setup_x64_cl.exe△/r△/f1C:¥work¥setup.iss

(△は半角スペースを表します)



```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1415]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥system32>cd C:¥work
C:¥work>setup_x64_cl.exe /r /f1C:¥work¥setup.iss
```

5. 通常のインストーラ画面が表示されますので、入力すべき内容をすべて入力して、インストールを進めてください。

インストールが完了すると、手順 4 で指定した名称 (例 C:¥work¥setup.iss) で応答ファイルが作成されているので、削除されない様、保管してください。

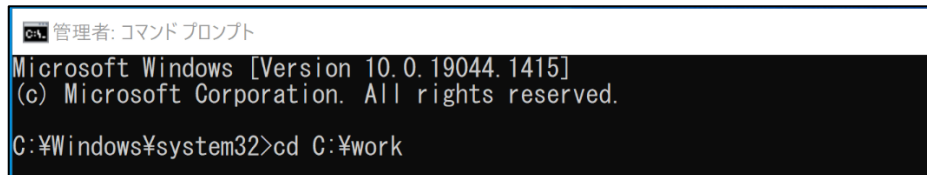
4.3.2. クライアントのサイレントインストールの実行

本書の「4.3.1. クライアントのサイレントインストール応答ファイルの作成」で、作成した応答ファイル(setup.iss)を用いて、サイレントインストールを実行します。

1. Windows アカウント(Administrators 権限 または Domain Admins 権限)で、対象の Windows に OS ログオンします。
また、他のアプリケーションが動作している場合は、終了します。
2. ダウンロードした setup_x64_cl.exe と、本書の「4.3.1. クライアントのサイレントインストール応答ファイルの作成」で、作成した応答ファイル(setup.iss)をローカルに保存します。
ここでは、例として、両ファイルとも、C:\work 配下に保存します。
3. 管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドで、手順 2 のフォルダに移動します。

```
cd△C:\work
```

(△は半角スペースを表します)



コマンドプロンプトは Windows 10 ではスタートメニューから [Windows システムツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

Windows 11 では、スタートメニューから [すべてのアプリ]-[Windows ツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

4. 以下のコマンドを実行します。

＜インストーラファイル名＞△/s△/f1＜応答ファイル名＞

(△は半角スペースを表します)

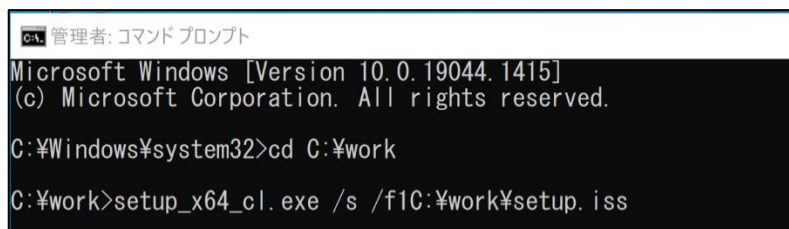
説明

＜インストーラファイル名＞: NeoFace Monitor のインストーラファイル名

＜応答ファイル名＞: 作成した応答ファイル名をフルパスで指定

例 setup_x64_cl.exe△/s△/f1C:¥work¥setup.iss

(△は半角スペースを表します)



```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1415]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Windows¥system32>cd C:¥work
C:¥work>setup_x64_cl.exe /s /f1C:¥work¥setup.iss
```

インストール手順は以上です。

4.3.3. クライアントのサイレントインストール結果の確認

サイレントインストールでは、エラーが発生した場合であっても、ダイアログは表示されません。コマンドの復帰値と、インストール終了後、本書の「4.3.2. クライアントのサイレントインストールの実行」の手順 2 で設定したフォルダ (例 C:\¥work) 配下に生成されるログファイル「setup.log」をご確認ください。

コマンドの復帰値

復帰値	意味
0	インストール成功
0 以外	サイレントインストールに失敗しました。 コマンドの復帰値には、ログファイルの「ResultCode」の値が設定されています。ResultCode の意味については、後述の「ログファイルの ResultCode」を参照してください。

ログファイルの ResultCode

ResultCode	意味
0	インストール成功
0 以外	サイレントインストールに失敗しました。 応答ファイル作成時のパラメータや、実行コマンド、実行環境などに問題が無いかご確認ください。もし原因が解決できない場合は、PP サポートサービス窓口まで、お問い合わせください。

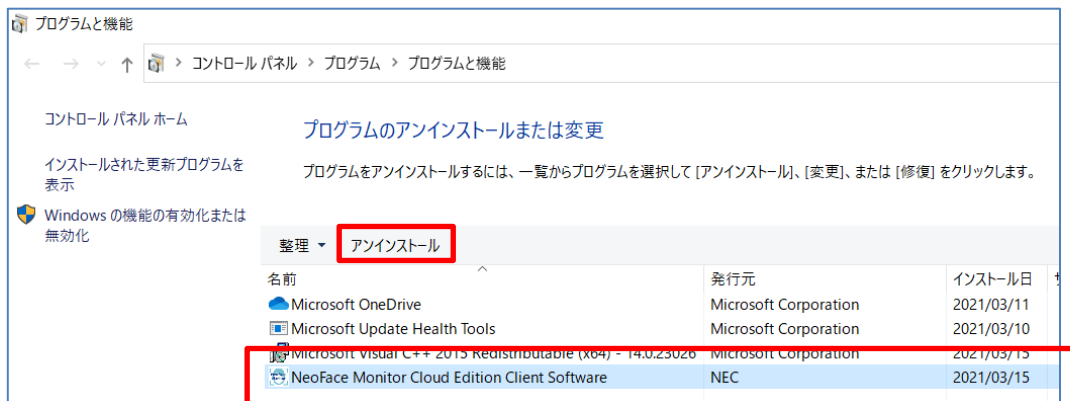
5. NFM クラウド版クライアントソフトのアンインストール

5.1. NFM クラウド版クライアントソフトのアンインストール手順

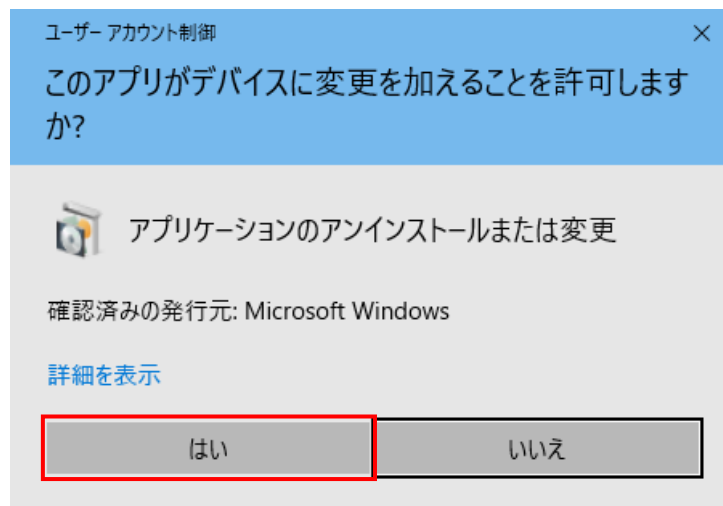


アンインストールすると、ローカルに保存されている生体情報も削除されます。

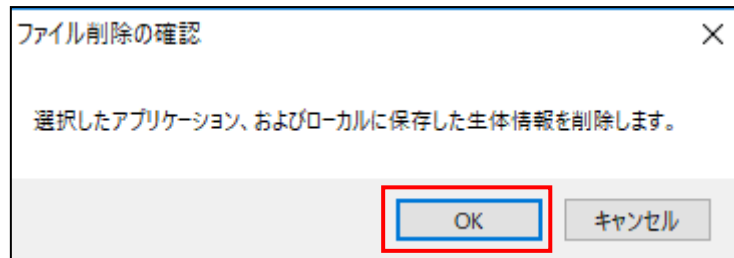
1. [スタート]－[Windows システム ツール]－[コントロール パネル]－[プログラム]－[プログラムと機能]を順に押下して、[プログラムのアンインストールまたは変更]を表示します。
[NeoFace Monitor Cloud Edition Client Software]を選択し、[アンインストール]を押下します。



2. 以下のような確認を求められた場合は、[はい]を押下します。
アンインストールのための設定画面に移ります。



3. 確認ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。
パッケージのアンインストールが開始されます。
アンインストールを中止する場合は[キャンセル]を押下します。



4. [アンインストール完了]ダイアログが表示されたらアンインストールは終了です。
[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択して[完了]を押下します。
OS を再起動します。



アンインストール手順は以上です。

6. NFM クラウド版クライアントソフトのアップデート

アップデートインストールを行う方法として、以下の 3 種類があります。

ご利用方法に合わせて、該当する手順を参照してください。

＜アップデートインストーラを使用した手動アップデートの場合＞

次の章を参照してください。

- 6.1. アップデートインストーラのダウンロード手順
- 6.2. クラウド版クライアントソフトの手動アップデート手順

＜アップデートインストーラを使用したサイレントアップデートの場合＞

次の章を参照してください。

- 6.1. アップデートインストーラのダウンロード手順
- 6.3. クラウド版クライアントソフトのサイレントアップデート手順

＜自動アップデートの場合＞

次の章を参照してください。

- 6.4. クラウド版クライアントソフトの自動アップデート手順

6.1. アップデートインストーラのダウンロード手順



本書の「3.2. パスワードの変更」にて、パスワード変更完了画面の「クライアントソフトをダウンロード」ボタンを押下した場合は、手順 3. へ進んでください。

1. NFM 利用者登録メールに記載されている URL をクリックし、[NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル]を開きます。

2. [NFM 利用者 ID]と[パスワード]を入力し、[ログイン]を押下します。

3. [NeoFace Monitor クライアントソフトのダウンロード]が表示されます。



4. [アップデートインストーラのダウンロード]の[ダウンロード]ボタンを押下してください。操作を選んでくださいと表示されたら、[開く]を選択します。他の作業後にインストールする場合は、[保存]を選択します。

6.2. クライアントソフトの手動アップデート手順



インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、NFM クラウド版クライアントソフトのインストールの前に、必ず「2.2. プロキシの設定」を実施してください。



ウイルスバスタークラウドをお使いの場合、NFM クラウド版クライアントのインストール中、誤って不正なファイルと検知する場合があります。NFM クラウド版クライアントのインストール開始前から完了するまで、ウイルスバスタークラウドのリアルタイムスキャンの設定を無効化してください。



ディスクの容量が 200MB 以上確保できていることを確認してから実行してください。



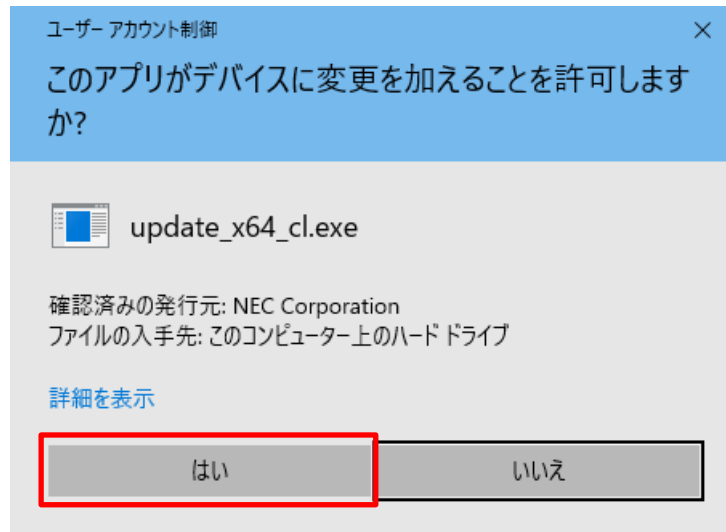
アップデート実行中に PC を再起動またはシャットダウンしないでください。



NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータルの「Neoface Monitor クライアントソフトのダウンロード」画面に表示されている「最新バージョン」を確認してください。次に「付録 2. NFM クラウド版クライアントのバージョン確認」を参照して、バージョンが前記「最新バージョン」以前であることを確認してください。バージョンが「最新バージョン」の場合は、アップデートを実行する必要がありません。

1. Windows アカウント (Administrators 権限 または Domain Admins 権限) で、対象の Windows に Windows ログオンしている場合は、手順 2. に進みます。
そうでない場合は、それらの権限の Windows アカウントでログオンしてください。
また、他のアプリケーションが動作している場合は、終了します。
2. 「6.1. アップデートインストーラのダウンロード手順」にて[開く]を選択した場合は、手順 3. に進みます。
[保存]を選択した場合は、ダウンロードした update_x64_cl.exe を右クリックし、[管理者として実行]を押下します。

3. 以下のような確認を求められた場合は、[はい]を押下します。
アップデートのための設定画面に移ります。



4. [NeoFace Monitor Cloud Edition Client Software アップデートセットアップへようこそ] ダイアログが表示されます。
[更新]を押下します。

なお、アップデートインストーラを実行する際のバージョンと更新後のバージョンによって、下記画面と異なる場合があります。



[キャンセル]を押下すると、アップデートを中止します。



「付録 2. NFM クラウド版クライアントのバージョン確認」または「13.1 クライアントソフトのアップデートに失敗」を実施する際に、更新前バージョンと更新後バージョンを利用するので、必ずメモを取るようにしてください。

6. NFM クラウド版クライアントソフトのアップデート

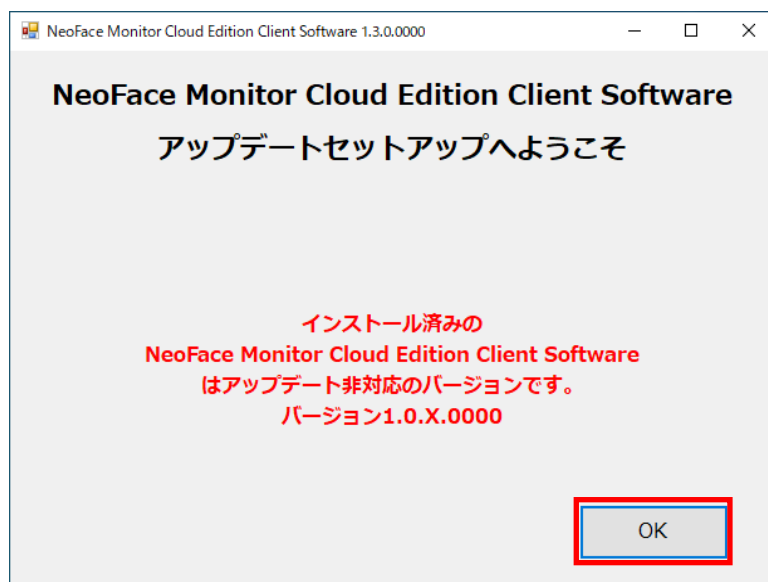
- ※ インストール済みの NFM クラウド版クライアントソフトが既に最新バージョンでアップデートが不要な場合は、下記画面が表示されます。

[OK]を押下します。



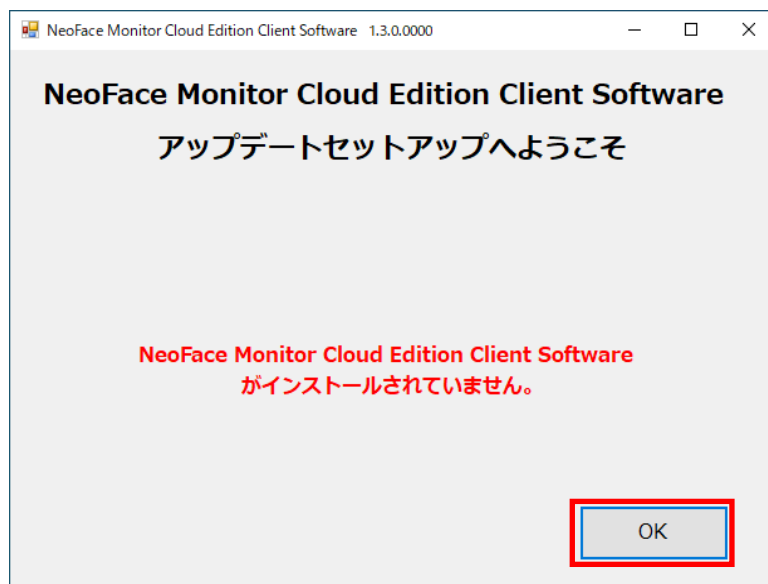
- ※ インストール済みの NFM クラウド版クライアントソフトがアップデート非対応な場合は、下記画面が表示されます。

[OK]を押下します。

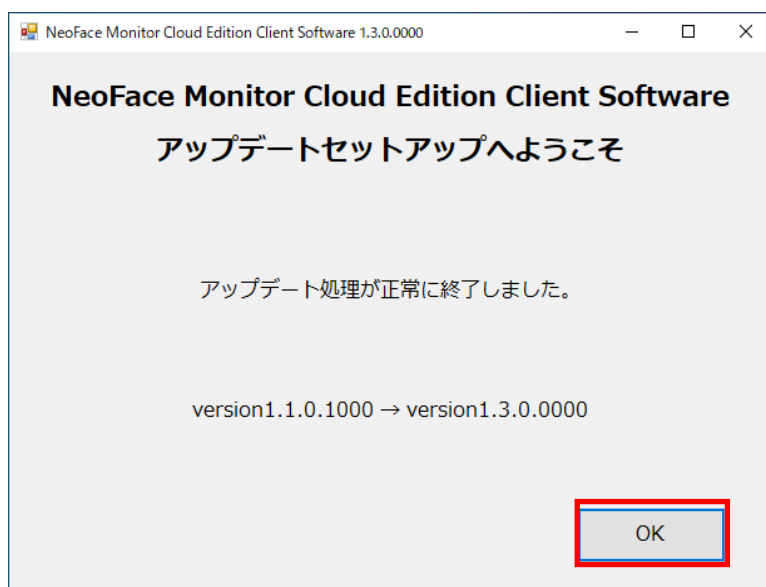


※ NFM クラウド版クライアントソフトがインストールされていない場合は、下記画面が表示されます。「4. 2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順」を参照し、インストールを行ってください。

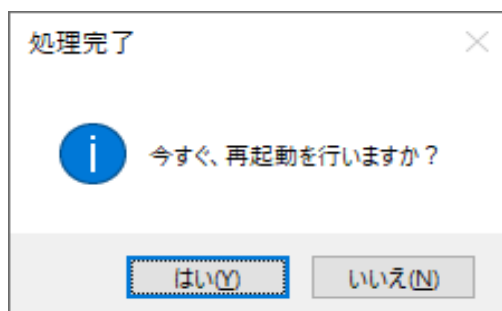
[OK]を押下します。



5. 下記画面が表示されたらアップデートは終了です。[OK]を押下します。



6. [はい]を押下して、OS を再起動します。



アップデート手順は以上です。



「付録 2. NFM クラウド版クライアントのバージョン確認」を参照して、バージョンが「最新バージョン」に更新されたことを確認してください。



「6. 2. クライアントソフトの手動アップデート手順」実施後に、NeoFace Monitor のバージョンが「最新バージョン」でない場合は、トラブルシューティング「13. 1 クライアントソフトのアップデートに失敗」を参照してください。

6.3. クライアントソフトのサイレントアップデート手順

アップデートインストーラを利用してサイレントインストールを実施します。



インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、NFM クラウド版クライアントソフトのインストールの前に、必ず「2.2. プロキシの設定」を実施してください。



ウイルスバスタークラウドをお使いの場合、NFM クラウド版クライアントのインストール中、誤って不正なファイルと検知する場合があります。NFM クラウド版クライアントのインストール開始前から完了するまで、ウイルスバスタークラウドのリアルタイムスキャンの設定を無効化してください。



ディスクの容量が 200MB 以上確保できていることを確認してから実行してください。



アップデート実行中に PC を再起動またはシャットダウンしないでください。



Windows がロック中の状態、またはログオフ中の状態の時にサイレントアップデートを実行しないでください。



サイレントアップデートではない、通常の NFM クライアントのアップデートを実施される場合には、「6.2. クライアントソフトの手動アップデート手順」をご参照ください。



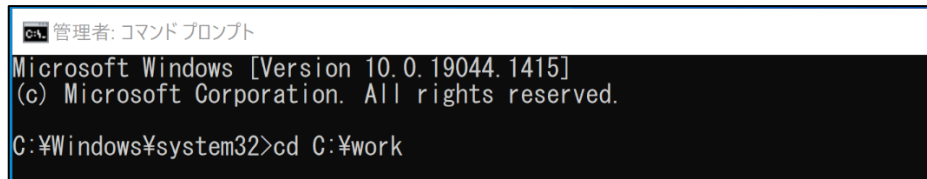
サイレントアップデートでは、事前に応答ファイルの作成を行う必要はありません。

1. Windows アカウント (Administrators 権限 または Domain Admins 権限) で、対象の Windows に OS ログオンします。
また、他のアプリケーションが動作している場合は、終了します。

2. ダウンロードした update_x64_cl.exe をローカルに保存します。
ここでは、例として、両ファイルとも、C:¥work 配下に保存します。
3. 管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドで、手順 2 のフォルダに移動します。

cd△C:¥work

(△は半角スペースを表します)



```

C:\>管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1415]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows¥system32>cd C:¥work

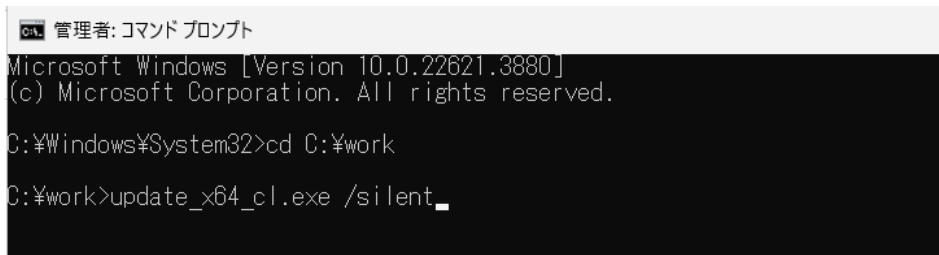
```

コマンドプロンプトは Windows 10 ではスタートメニューから [Windows システムツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

Windows 11 では、スタートメニューから [すべてのアプリ]-[Windows ツール]-[コマンド プロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] を押下して起動します。

4. 以下のコマンドを実行します。
update_x64_cl.exe△/silent

(△は半角スペースを表します)



```

C:\>管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22621.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows¥System32>cd C:¥work
C:\work>update_x64_cl.exe /silent_

```

5. update_cl_x64.exe のプロセスの終了後に、OS を再起動してください。

アップデート手順は以上です。

6.4. クライアントソフトの自動アップデート手順

自動アップデート機能を利用してクライアントソフトのアップデートを実施します。



自動アップデートを実行する際に、ユーザへの通知はありません。

1. 自動アップデート機能を利用するためには、システム管理者によって管理ポータルの[クライアントソフト設定]で自動アップデート機能が有効になっている必要があります。
2. アップデートモジュールを検出した場合、バックグラウンドでダウンロードを行い、端末のシャットダウン・再起動時にアップデートが実行されます。

アップデート手順は以上です。

7. 利用方法

7.1. 認証方法

顔認証はカメラに顔を映すだけで、Windows への Windows ログオン、画面ロック解除を実現します。

認証手段は、ログオン認証方式で設定されています。ログオン認証方式の設定については、システム管理者にお問い合わせください。Windows ログオン、画面ロック解除は、たとえば、次の動作でそれぞれ設定することが可能です。

Windows ログオン時：顔認証+パスワード認証

画面ロック解除時：顔認証

顔認証のときは下記に注意してください。

- ・ カメラに向かって正面を向いてください。
- ・ 顔をはっきり映してください。

全体が暗いか、影などで顔がはっきり映っていない場合は、明るさを調整してください。また、背後に太陽光や照明の映り込みがある場合は、光源が入り込まないようにしてください。



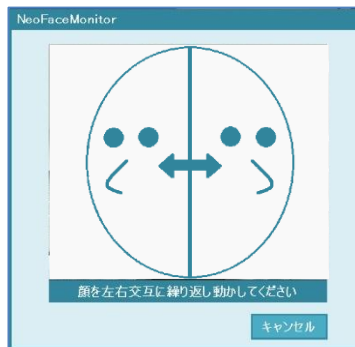
- ・ 認識枠に顔を合わせてください。
- ・ まばたきをしないでください。
- ・ サングラスをしないでください。
- ・ Windows 端末の処理状況により、まれにカメラ画像がグレースケール表示されることがありますが、そのまま認証を行うことは可能です。



認識枠

7.1.1. 顔動き検知

写真などによるなりすまし認証を抑止する目的で、顔認証時に顔の動きを要求されることがあります。顔動き検知の実行有無や指示パターンの設定は、管理ポータルにてシステム管理者が設定を行っています。



以下のいずれかの指示が表示されましたら、指示に従い顔や視線を動かしてください。指示と異なる顔の動きをした場合は検知できずエラーとなります。

検知エラーとなった場合はログオン画面に戻ります。

- ・顔を左右にゆっくり振る
- ・視線を右に動かす
- ・視線を左に動かす
- ・まばたきをする

7.1.2. MFA デバイス

認証手段に設定している認証方式に加えて、MFA デバイスでの認証を行うことができます。MFA デバイスの設定については、システム管理者にお問い合わせください。

MFA デバイスを利用するためには Authenticator のセットアップが必要になります。認証方式の MFA デバイスで [Microsoft Authenticator] が設定されていて、Authenticator のセットアップが行われていない場合には、Windows ログオン、画面ロック解除の際にセットアップ画面が表示されます。

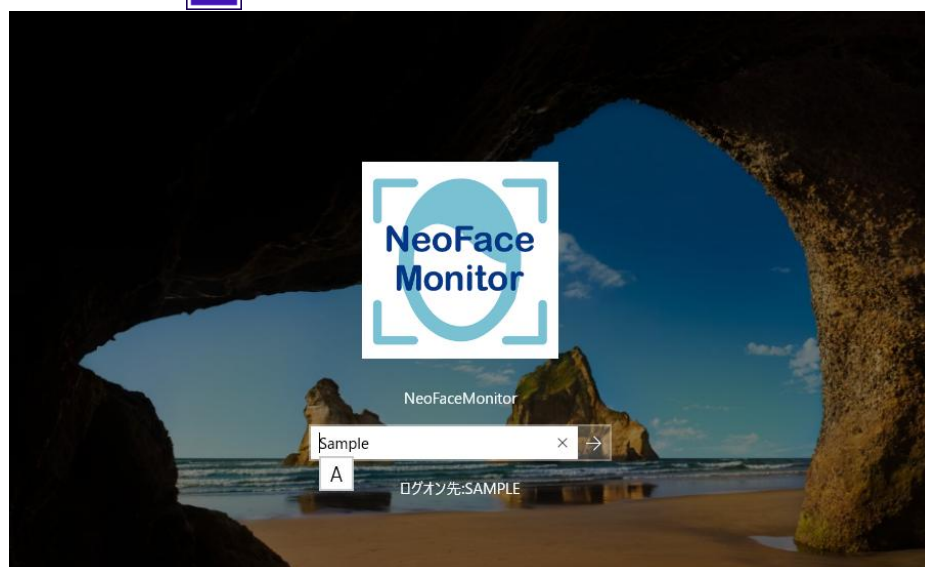
Windows ログオンを行う際の Authenticator セットアップの例を以下に示します。



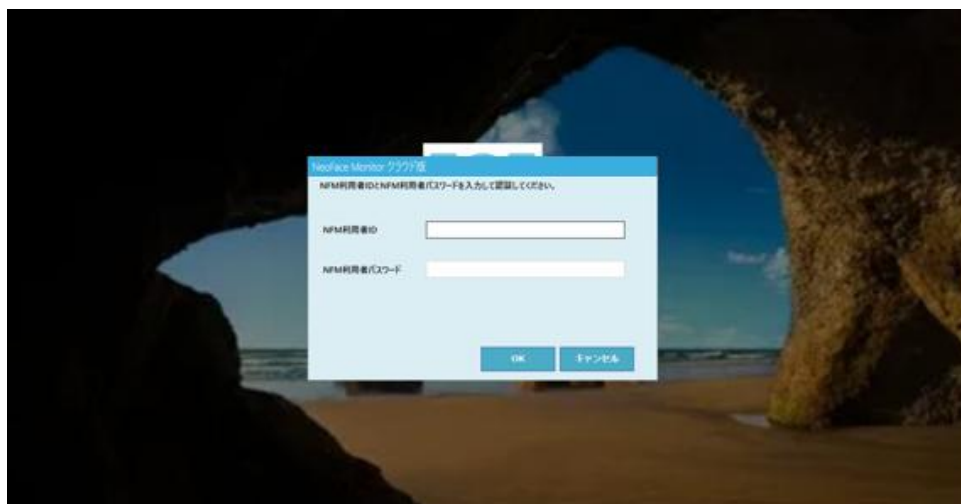
Authenticator アプリは Microsoft Authenticator の利用を前提としています。

動作確認済みバージョン Microsoft Authenticator 6.8.40

1. ログオン画面で  を押下、または [Enter] キーを押下します。



2. Authenticator のセットアップが完了していない場合、下記画面が表示されます。
NFM 利用者 ID、NFM 利用者パスワードを入力してください。



NFM 利用者の紐付け有無が表示されます。[OK]を押下してください。

Windowsアカウントとの紐付け | NeoFace Monitor クラウド版

WindowsアカウントはNFM利用者と紐付けします。OKボタンを押下してください。

NFM利用者ID	client@example.com
Windowsアカウント名	NEC
Windowsパスワード	●●●
Windowsアカウント種別	☒ ローカル ☐ ドメイン ☐ Entra ID
コンピュータ名	DESKTOP-OHMIGCE

OK キャンセル

3. Authenticator のセットアップ画面が表示されます。

QR コードを Authenticator アプリで読み込み、表示されたワンタイム パスワード コードを入力してください。

Authenticatorセットアップ | NeoFace Monitor クラウド版

Authenticatorへのセットアップが完了していません。
下記のQRコードをAuthenticatorアプリで読み込み
表示された6桁のワンタイム パスワード コードを入力してください。



QRコードのスキャンができない場合は下記のシークレットキーを
Microsoft Authenticatorに入力してください。

●●●●●●●●

☐ シークレットキーを表示

Authenticatorアプリを開き
表示されているワンタイム パスワード コード(6桁)を入力してください

OK キャンセル

7.1.3. 管理ポータルからの MFA デバイスの設定

管理ポータルから MFA デバイスの設定を行うことができます。

MFA デバイスの初回設定

サブメニューエリアから「MFA デバイスの設定」を押下し、MFA デバイスの設定画面を表示します。

MFA デバイスの設定を行います。

Microsoft Authenticator アプリで、画面の QR コードまたはシークレットキーを使用して、アカウント追加してください。

Microsoft Authenticator アプリに表示されているワンタイム パスワード コードを画面のワンタイム パスワード コードの入力欄に入力してください。

画面の「保存する」ボタンを押下してください。

MFA デバイスの設定画面

NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル

NeoFace Monitor 管理ポータル ポータル ドットコム ログアウト

MFA デバイスの設定

Microsoft Authenticator とデバイスのカメラを使用して QR コードをスキャンしてください

QR コード

シークレットキー

QR コードのスキャンが出来ない場合は、Microsoft Authenticator にシークレットキーを入力してください

シークレットキー

Microsoft Authenticator に表示されているワンタイム パスワード コードを入力してください(必須)

ワンタイム パスワード コード

保存する

項目レイアウト

項目名	説明
QR コード	Microsoft Authenticator へのアカウント追加時に使用する QR コードです。
シークレットキー	Microsoft Authenticator へのアカウント追加時に使用するシークレットキーです。
ワンタイム パスワード コード	Microsoft Authenticator に表示されているワンタイム パスワード コードを入力してください。

保存する	ワンタイム パスワード コードの検証を行います。
------	--------------------------

入力にエラーがあるとメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認のうえ入力内容を修正し、「保存する」ボタンを押下してください。

MFA デバイスの設定画面（エラーの例）

各項目について入力のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

設定項目の入力値チェック

項目名	入力値	説明
ワンタイム パスワード コード	空	ワンタイム パスワード コードが入力されていません。
	6 桁半角数字の形式以外	ワンタイム パスワード コードの形式が正しくありません。
	不正な 6 桁半角数字	ワンタイム パスワード コードが間違っています。

MFA デバイスの再設定

MFA デバイスの再設定を行う場合は、「MFA デバイスを再設定する」ボタンを押下してください。



項目レイアウト

項目名	説明
MFA デバイスを再設定する	MFA デバイスの設定画面に遷移します。

7.2. Windows ログオン方法

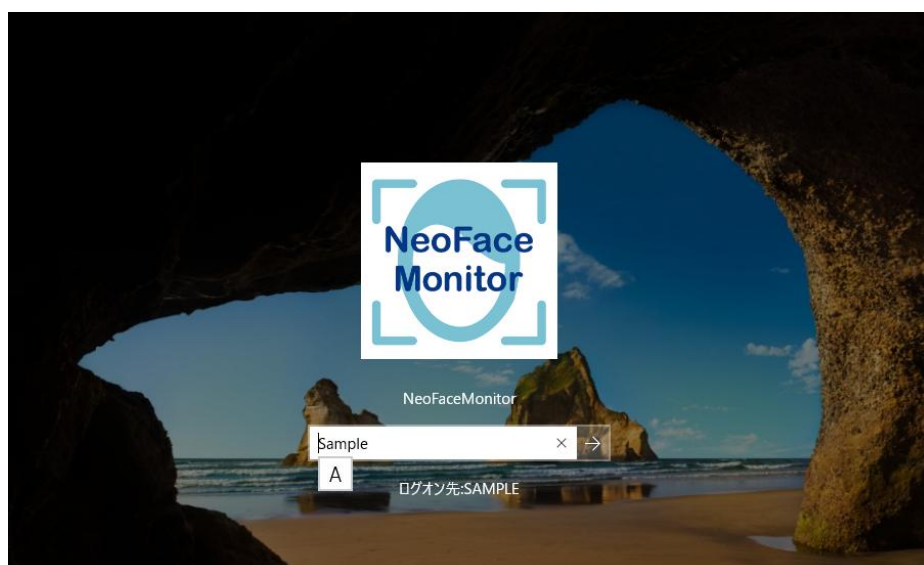
顔認証による Windows ログオンを行うには、顔情報と NFM 利用 ID、およびそれらと Windows アカウントとの紐付け情報が事前に登録されている必要があります。

NFM 利用者 ID の登録、Windows アカウントとの紐付け状況についてはシステム管理者にお問い合わせください。

1. Windows 端末を起動し下記画面が表示されたら、いずれかのキーを押下し、ログオン画面に進みます。



2. [アカウント]入力欄に前回 Windows ログオンしたユーザの Windows アカウント名が表示されます。別のユーザでログオンする場合は、Windows アカウント名を変更してください。



Windows OS のセキュリティオプションの設定によっては、[アカウント]入力欄に前回 Windows ログオンしたユーザの Windows アカウント名が表示されない場合があります。

Windows アカウント名を変更する場合はご利用のアカウント種別により入力内容が異なります。アカウント種別ごとの入力内容については以下をご参照ください。

アカウント種別	入力内容
ローカルアカウント	ローカルアカウント名
ドメインアカウント	参加しているドメインのアカウント名 ※「アカウント名」または「ドメイン名¥アカウント名」の形式で入力してください。"¥"は半角¥記号です。
Entra ID アカウント	Entra ID のユーザプリンシパル名 ※メールアドレス形式で入力してください。



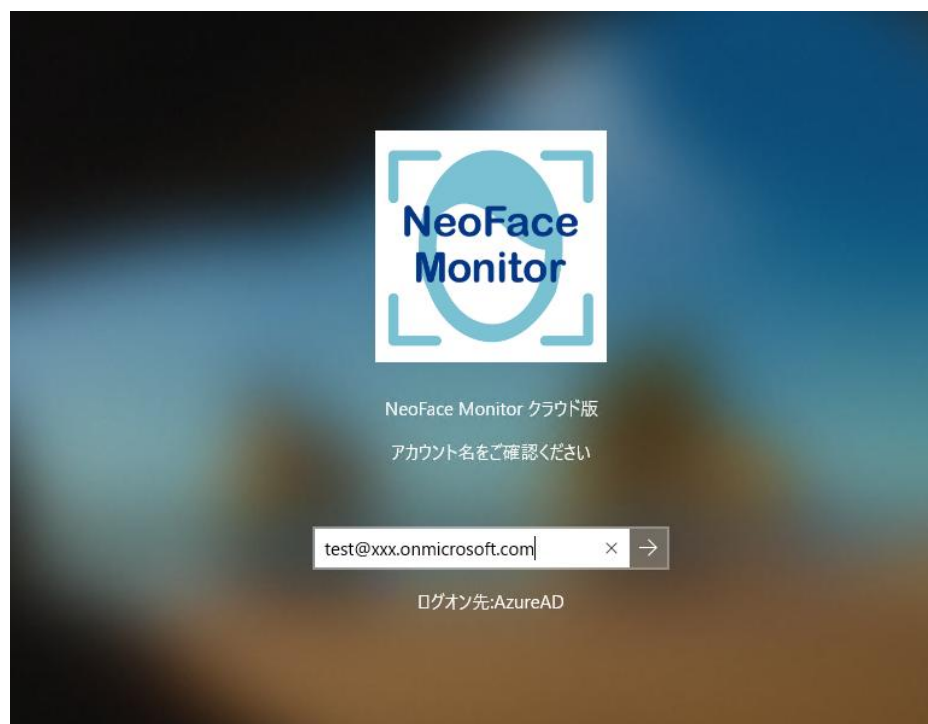
[アカウント]入力欄には NFM 利用者 ID ではなく Windows アカウント名を入力してください。

ログオンするには  を押下、または[Enter]キーを押下します。

管理ポータル上に顔画像や Windows パスワードが登録されている場合、または Windows アカウントと NFM 利用者 ID の紐付けがされている場合は手順 3 に進んでください。

管理ポータル上に顔画像や Windows パスワードが登録されていない場合、または Windows アカウントと NFM 利用者 ID の紐付けがされていない場合には以下の 3 つの画面のうち、1 つ以上が表示されることがあります。表示された画面の説明に従って対応してください。

※ 管理ポータル上に顔画像が登録されていない場合や Entra ID アカウントと NFM 利用者 ID の紐付けがされていない場合に[アカウント]入力欄に Entra ID のユーザプリンシパル名を入力すると、下記画面が表示されますので、[アカウント]入力欄に Entra ID の表示名を入力してください。



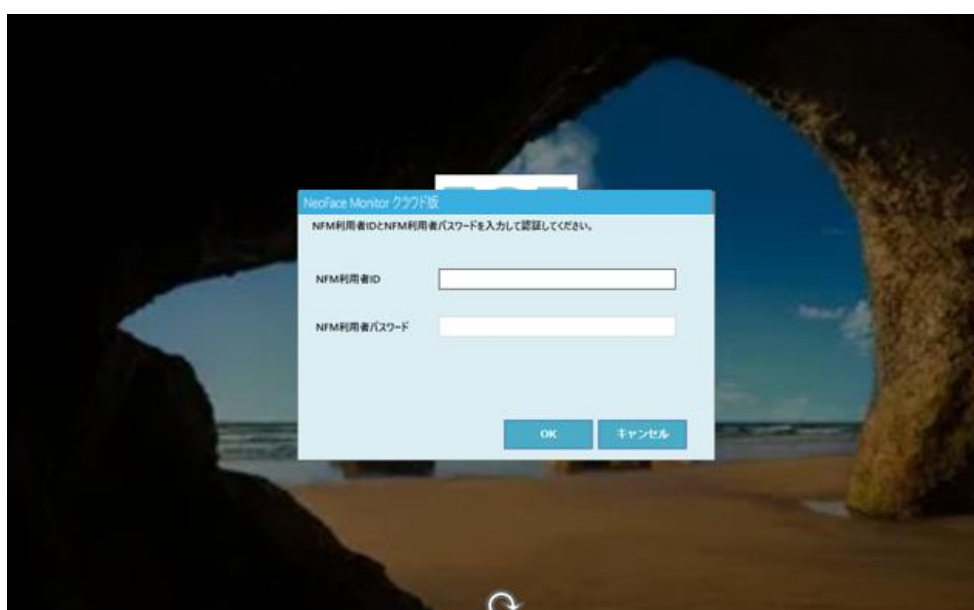
Entra ID には「表示名」と「ユーザプリンシパル名」があります。これらは別の情報であり、同じ値とは限りません。

- ※ 管理ポータル上に顔画像が登録されていない場合や Windows アカウントと NFM 利用者 ID の紐付けがされていない場合、下記画面が表示されます。「4. 2. NFM クラウド版クライアントソフトのインストール手順」の手順 8. 以降を参照し、顔画像登録や紐付けを行ってください。

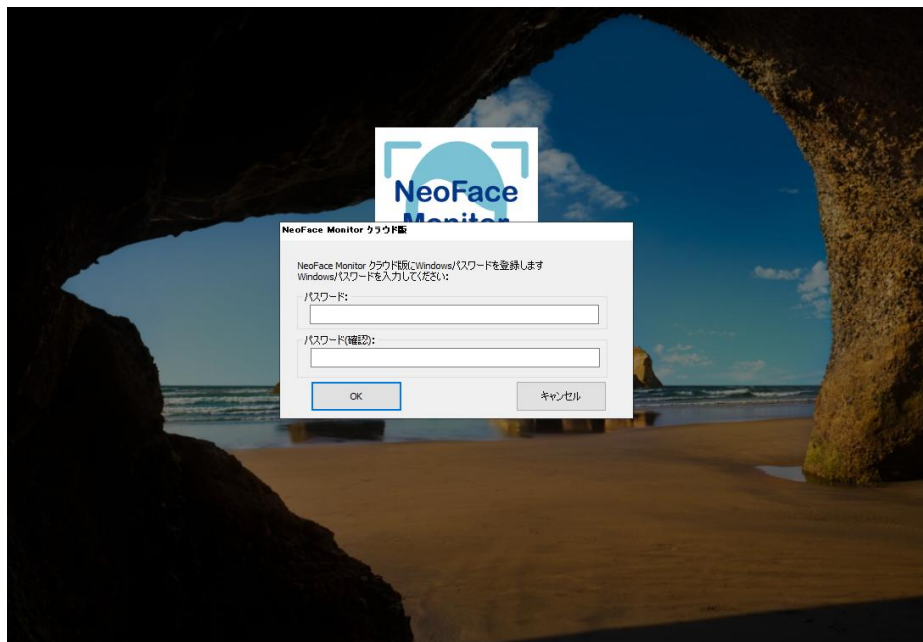


Microsoft Entra Hybrid Join 環境で使用する場合、端末ログオンに使うドメインアカウントの登録が必要です。

顔画像登録や紐付けを行う際、ログオン画面のアカウント入力欄に参加しているドメインのアカウント名を入力してください。



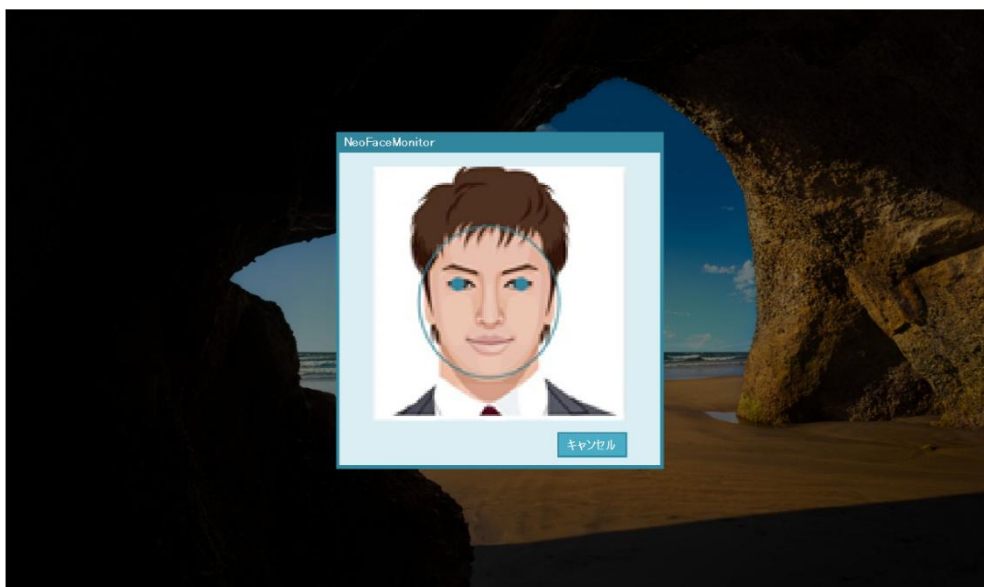
- ※ 管理ポータル上に Windows パスワードが登録されていない場合、下記画面が表示されます。ローカルアカウント、ドメインアカウントまたは、Entra ID アカウントのパスワードを入力してください。



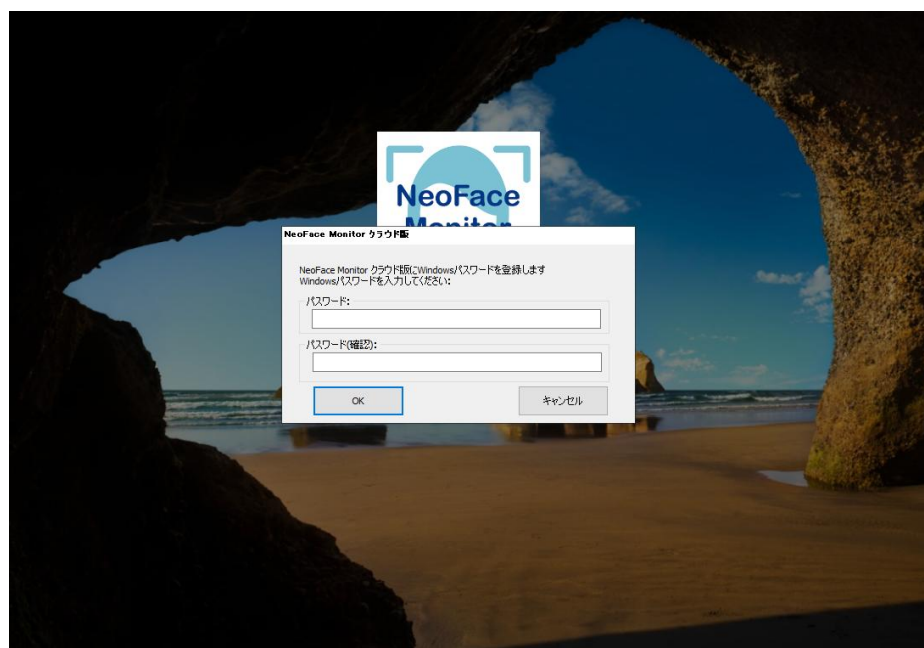
3. 認証を開始します。

<顔認証の場合>

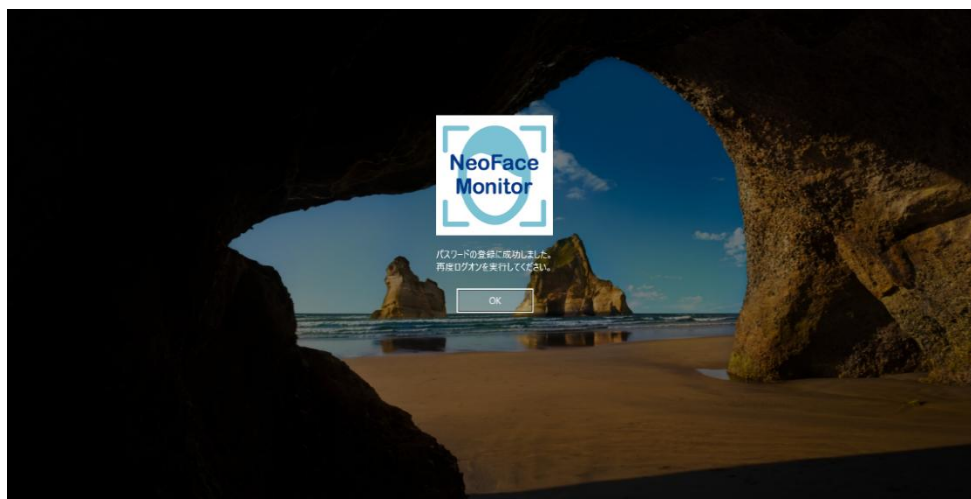
顔認証を開始します。認証ウィンドウが表示されたら顔をカメラに向けてください。



※ NFM 管理ツールのパスワード変更機能以外で Windows パスワードを変更し、管理ポータル上の Windows パスワードと異なっている場合、下記画面が表示されます。変更後の Windows パスワードを入力してください。



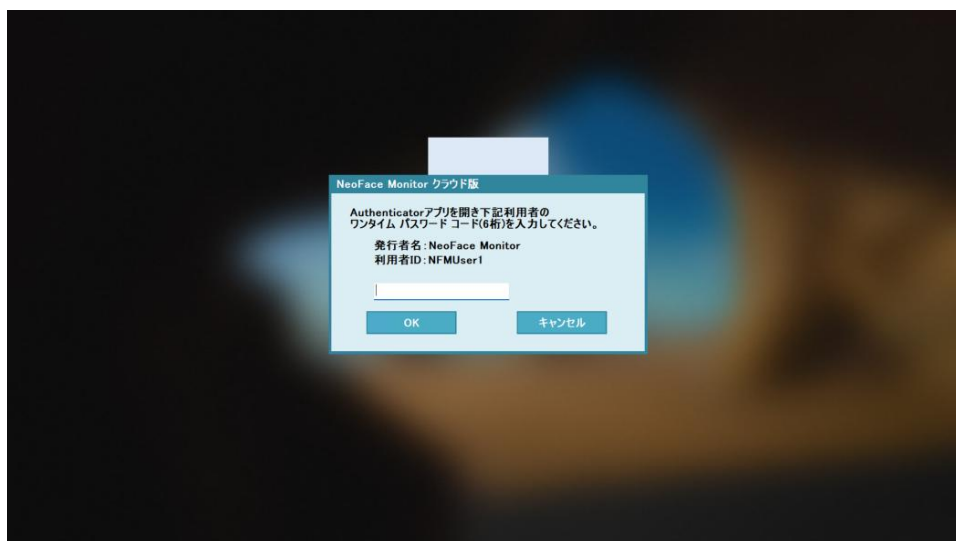
※ Windows パスワード入力後に下記画面が表示されます。[OK]を押下して表示された画面に従って、処理を続けてください。



<MFA デバイスの設定が有効の場合>

Microsoft Authenticator の認証を行います。

Authenticator アプリを開き、ワンタイム パスワード コードを入力してください。



4. 認証に成功すると Windows ログオンが実行されます。

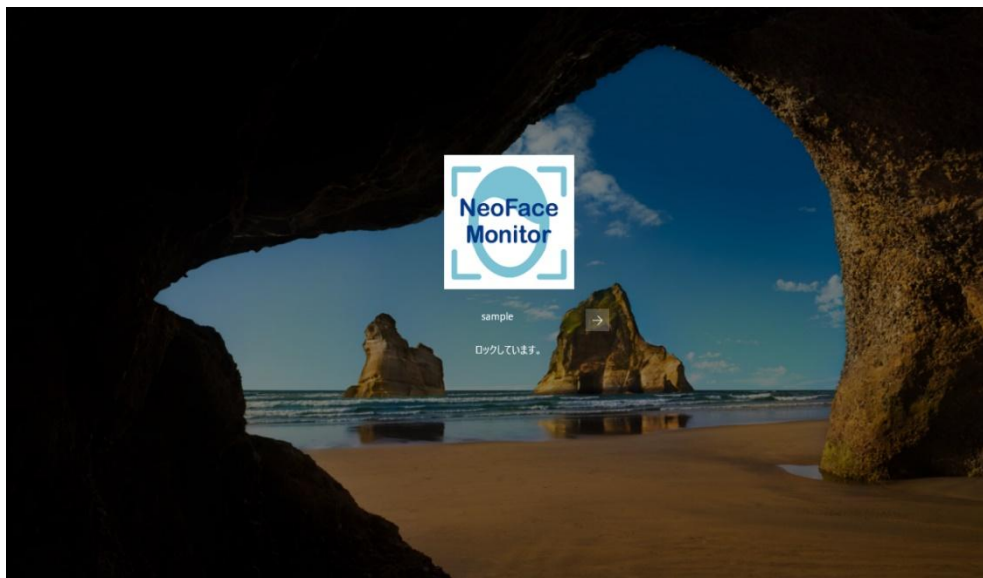


7.3. 画面ロック解除方法

1. ここでは顔認証を例に説明します。

ロック画面でいずれかのキーを押下し、画面ロック解除画面に進みます。

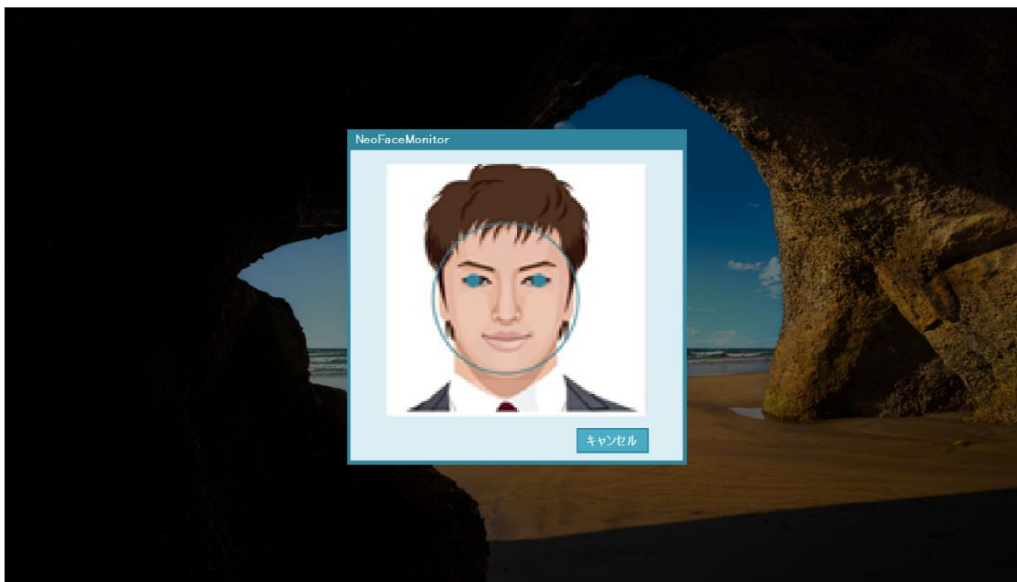
を押下、または[Enter]キーを押下します。



2. 認証を開始します。

<顔認証の場合>

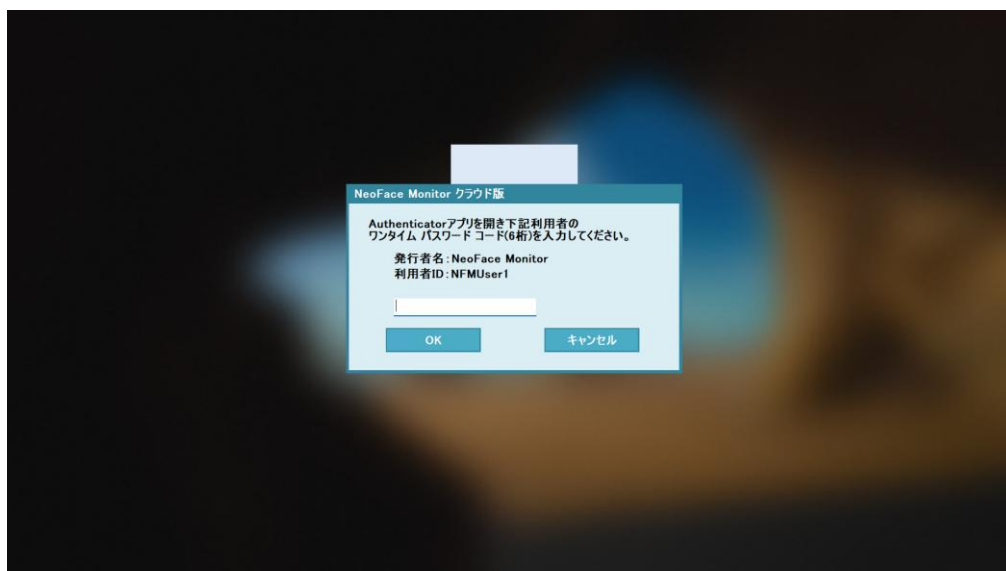
顔認証を開始します。認証ウィンドウが表示されたら顔をカメラに向けてください。



<MFA デバイスの設定が有効の場合>

Microsoft Authenticator の認証を行います。

Authenticator アプリを開き、ワンタイム パスワード コードを入力してください。



3. 認証に成功すると画面ロックが解除されます。

7.4. 代替認証

何らかの原因で顔認証が出来なくなった場合に Windows パスワード、ワンタイムパスワードまたは NFM 利用者パスワードで認証を行うための方法です。

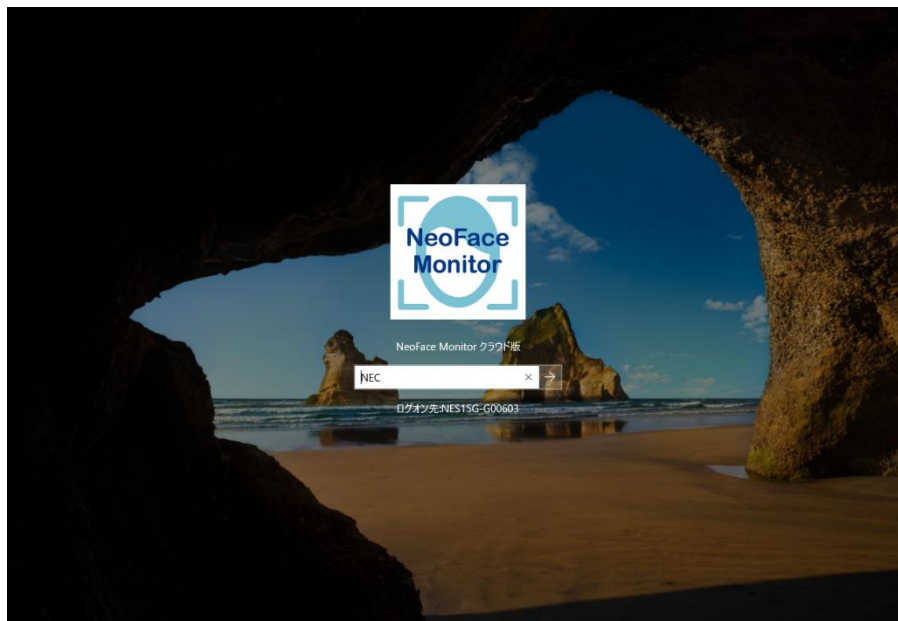
システム管理者が許可している場合、切替えコマンドを用いて Windows パスワード、ワンタイムパスワードまたは NFM 利用者パスワードで認証を行うことが可能です。

代替認証の許可、切替えコマンド、ワンタイムパスワードの入手についてはシステム管理者にお問い合わせください。

各代替認証時の[アカウント]入力欄には前回 Windows ログオンしたユーザの Windows アカウント名が表示されます。別のユーザでログオンする場合は、Windows アカウント名を変更してください。

ドメインアカウントを使用する場合は「アカウント名」または「ドメイン名¥アカウント名」の形式で入力してください。” ¥ ” は半角¥記号です。

1. Windows ログオン画面またはロック画面で切替えコマンドを入力します。
(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)



Windows パスワードの場合は、手順 2 へ進んでください。

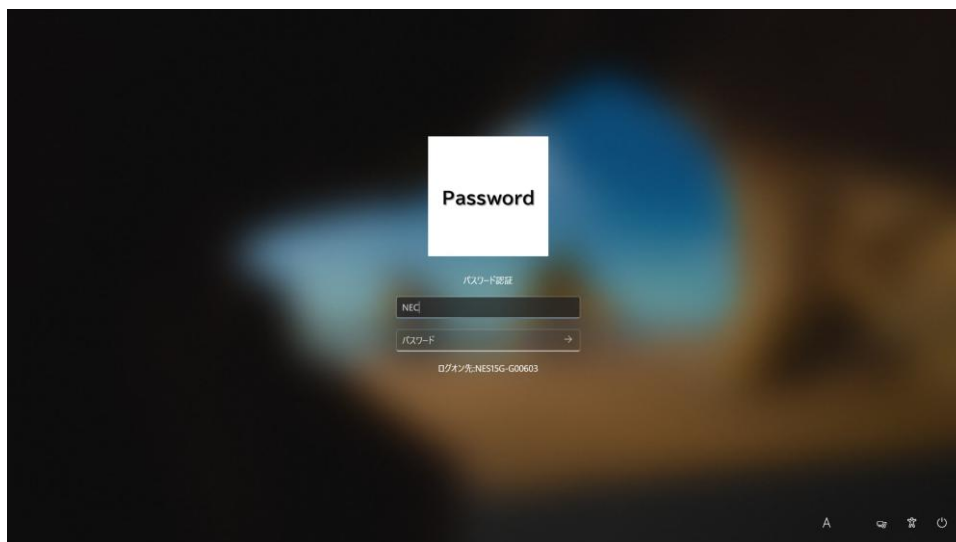
ワンタイムパスワードの場合は、手順 4 へ進んでください。

NFM 利用者パスワードの場合は、手順 6 へ進んでください。

Microsoft Authenticator の場合は、手順 8 へ進んでください。

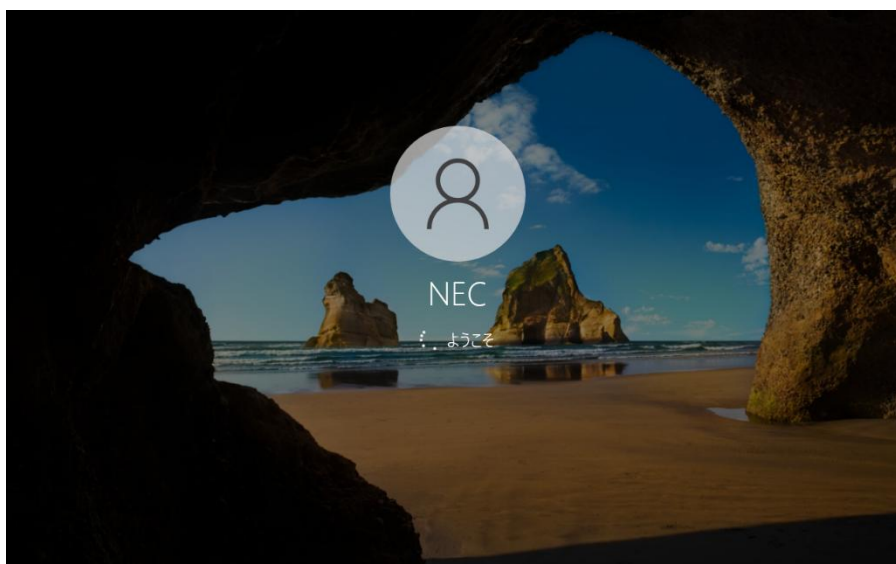
2. Windows パスワードの場合、パスワード認証画面が表示されます。Windows パスワードを入力してください。

(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)

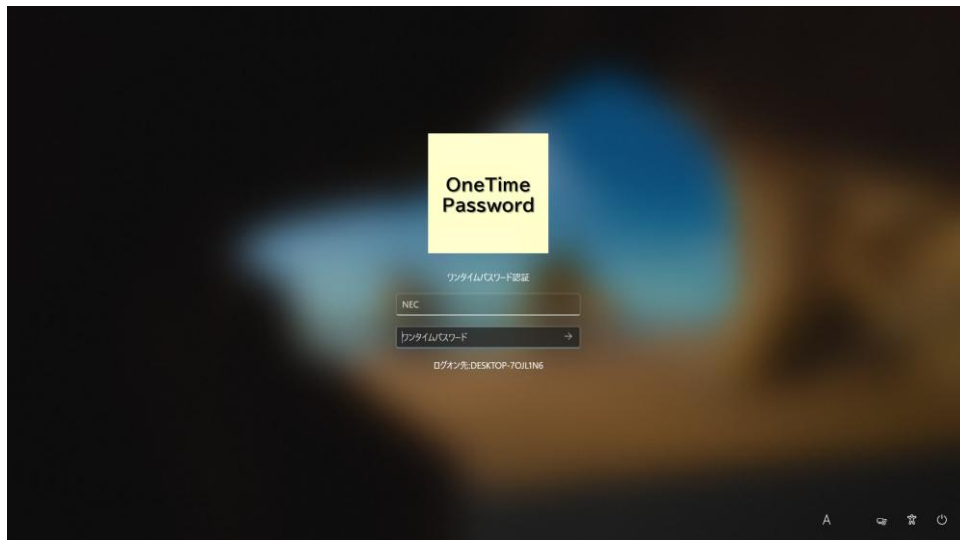


3. 認証に成功すると Windows ログオンが実行、または画面ロックが解除されます。

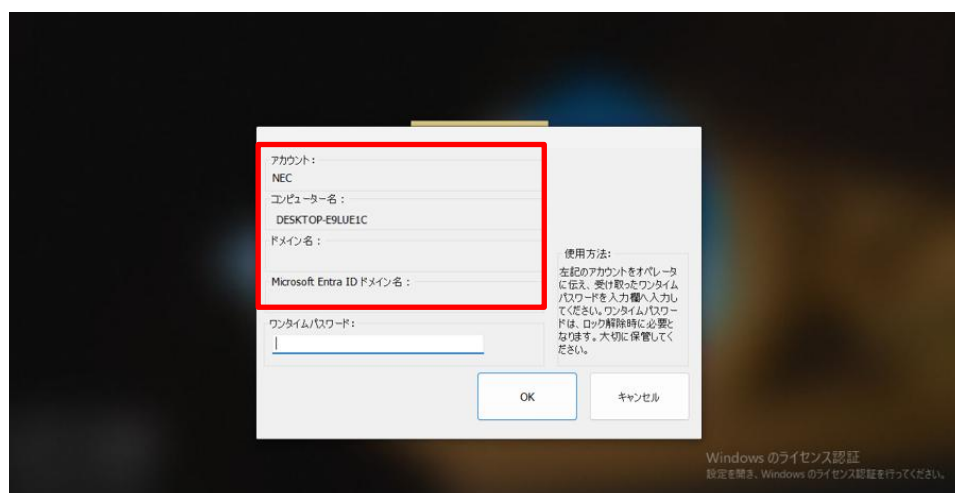
(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)



4. ワンタイムパスワードの場合、ワンタイムパスワード認証画面が表示されます。ワンタイムパスワード入手済みの場合にはワンタイムパスワードを入力してください。
(以下の画像は Windows ログオン画面の場合です。)



ワンタイムパスワードの申請を行う場合にはワンタイムパスワード認証の画面で、入力欄を空欄状態で右矢印マークを押下、または[Enter]キーを押下してください。ワンタイムパスワード申請画面が表示されます。

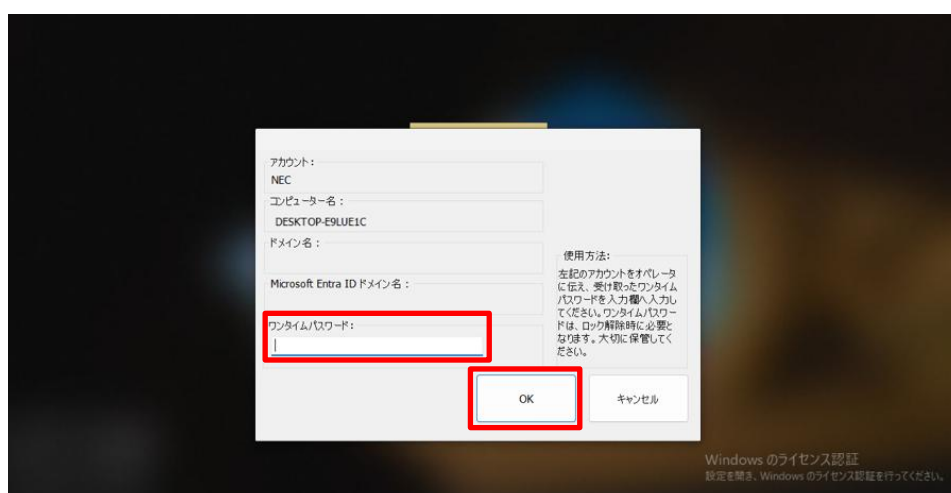


システム管理者にワンタイムパスワードの発行を依頼します。その際にアカウント、Windows アカウント種別（ローカル、ドメイン、Entra ID）および「コンピュータ名」、「ドメイン名」または「Microsoft Entra ID ドメイン名」を伝えてください。
システム管理者がワンタイムパスワードを発行したら、ワンタイムパスワードと有効期限の情報を入手してください。

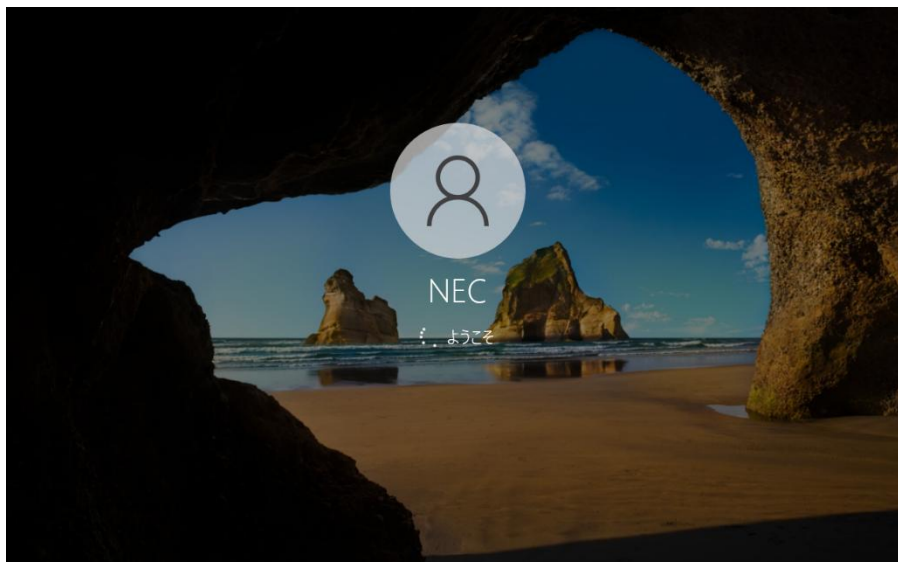
表示名/ボタン名	内容
アカウント	Windows ログオン対象の Windows アカウント名が表示されます。
コンピュータ名	ローカルアカウントを使用している場合は、コンピュータ名が記載されます。ドメインアカウントを使用している場合は何も表示されません。
ドメイン名	ドメインアカウントを使用している場合は、ドメイン名が記載されます。ローカルアカウントを使用している場合は何も表示されません。
Microsoft Entra ID ドメイン名	Entra ID を使用している場合は、Entra ID ドメイン名が記載されます。ローカルアカウントを使用している場合は何も表示されません。
ワンタイムパスワード	システム管理者側で発行したワンタイムパスワードを入力します。
[OK] ボタン	ワンタイムパスワード認証を実行します。
[キャンセル] ボタン	ワンタイムパスワード入力画面を閉じます。

※Windows ログオン中は、画面ロック解除時にも必要になりますので大切に保管してください。

システム管理者より発行されたワンタイムパスワードを入力し、[OK]を押下してください。

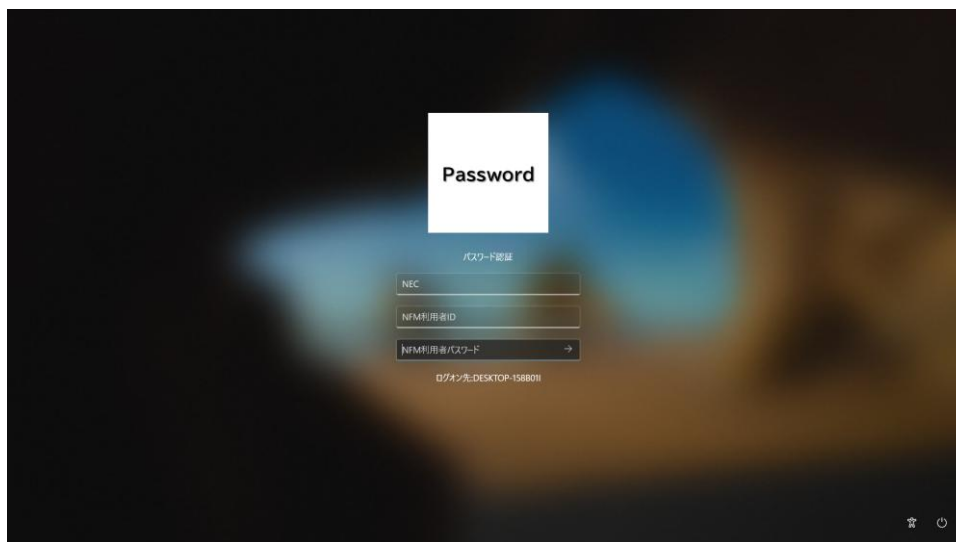


5. 認証に成功すると Windows ログオンが実行、または画面ロックが解除されます。
(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)



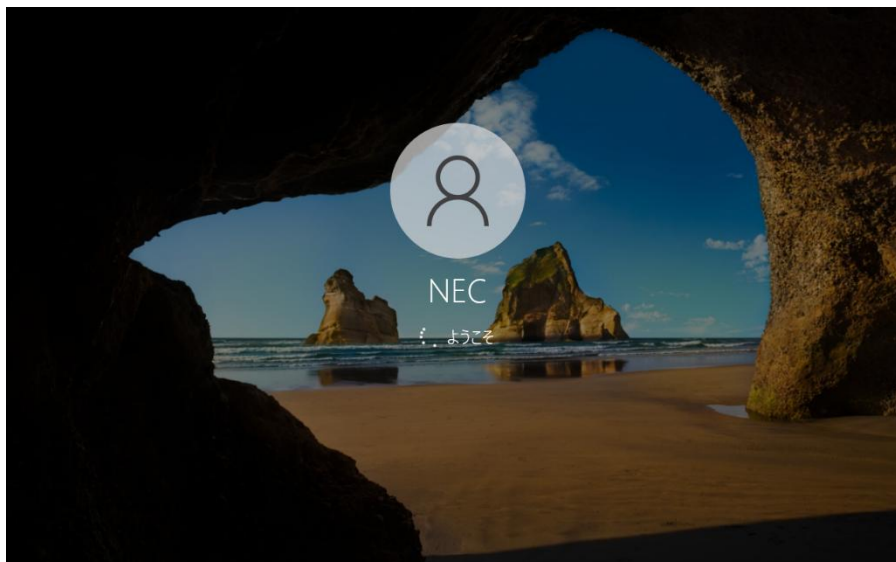
6. NFM 利用者パスワードの場合、パスワード認証画面が表示されます。NFM 利用者 ID とパスワードを入力してください。

(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)

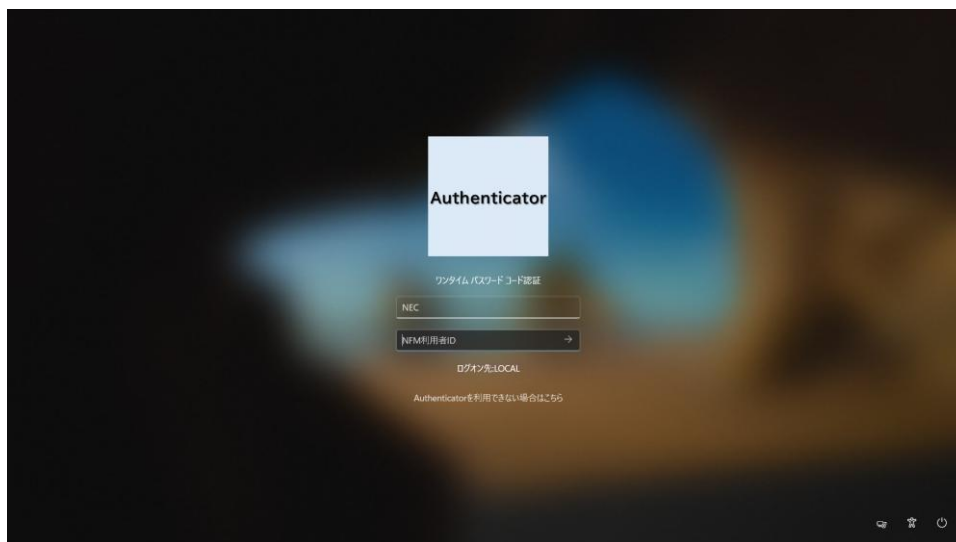


7. 認証に成功すると Windows ログオンが実行、または画面ロックが解除されます。

(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)

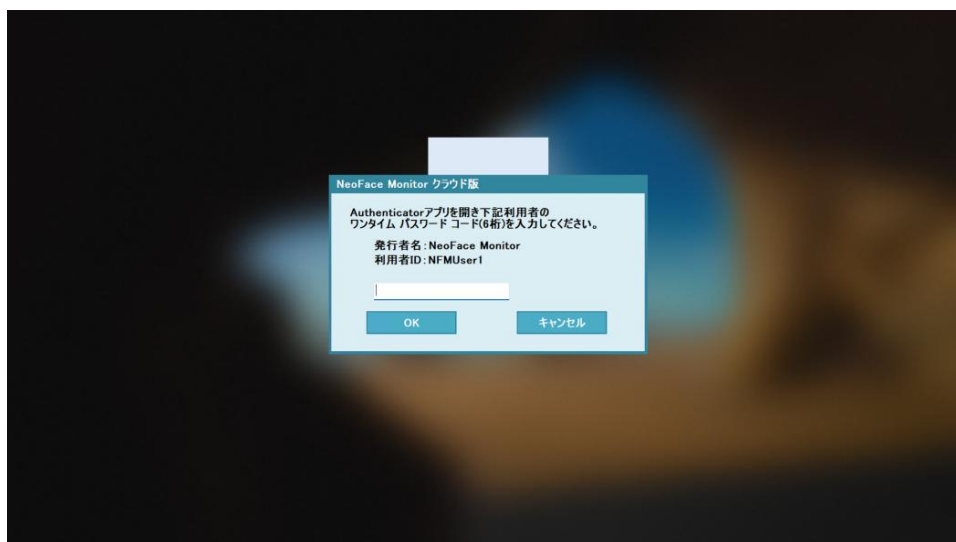


8. Microsoft Authenticator の場合、ワンタイム パスワード コード認証画面が表示されます。NFM 利用者 ID を入力して  を押下、または[Enter]キーを押下してください。
(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)

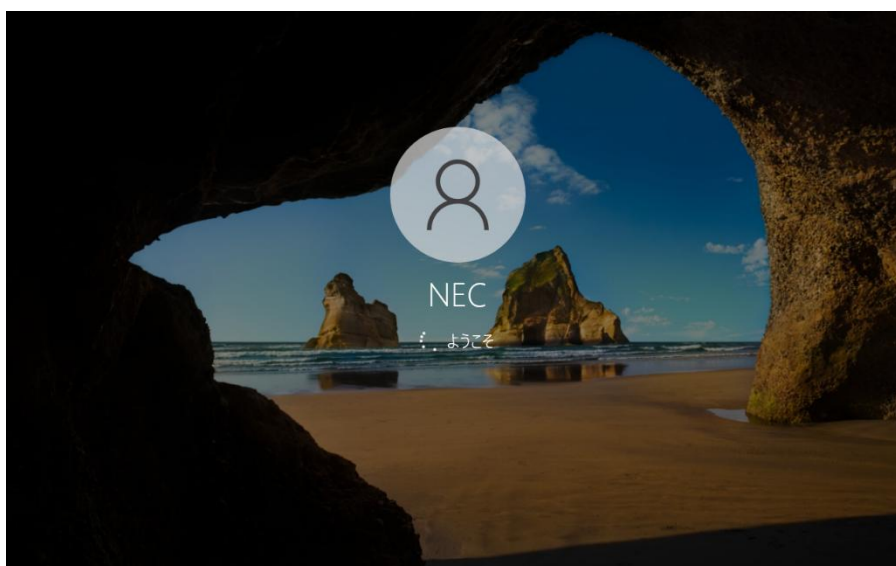


Authenticator を利用できない環境で使用する場合、画面下部の[Authenticator
を利用できない場合はこちら]のリンクをクリックしてください。
ワンタイムパスワードを利用することができます。

9. Authenticator アプリを開き、ワンタイム パスワード コードを入力してください。



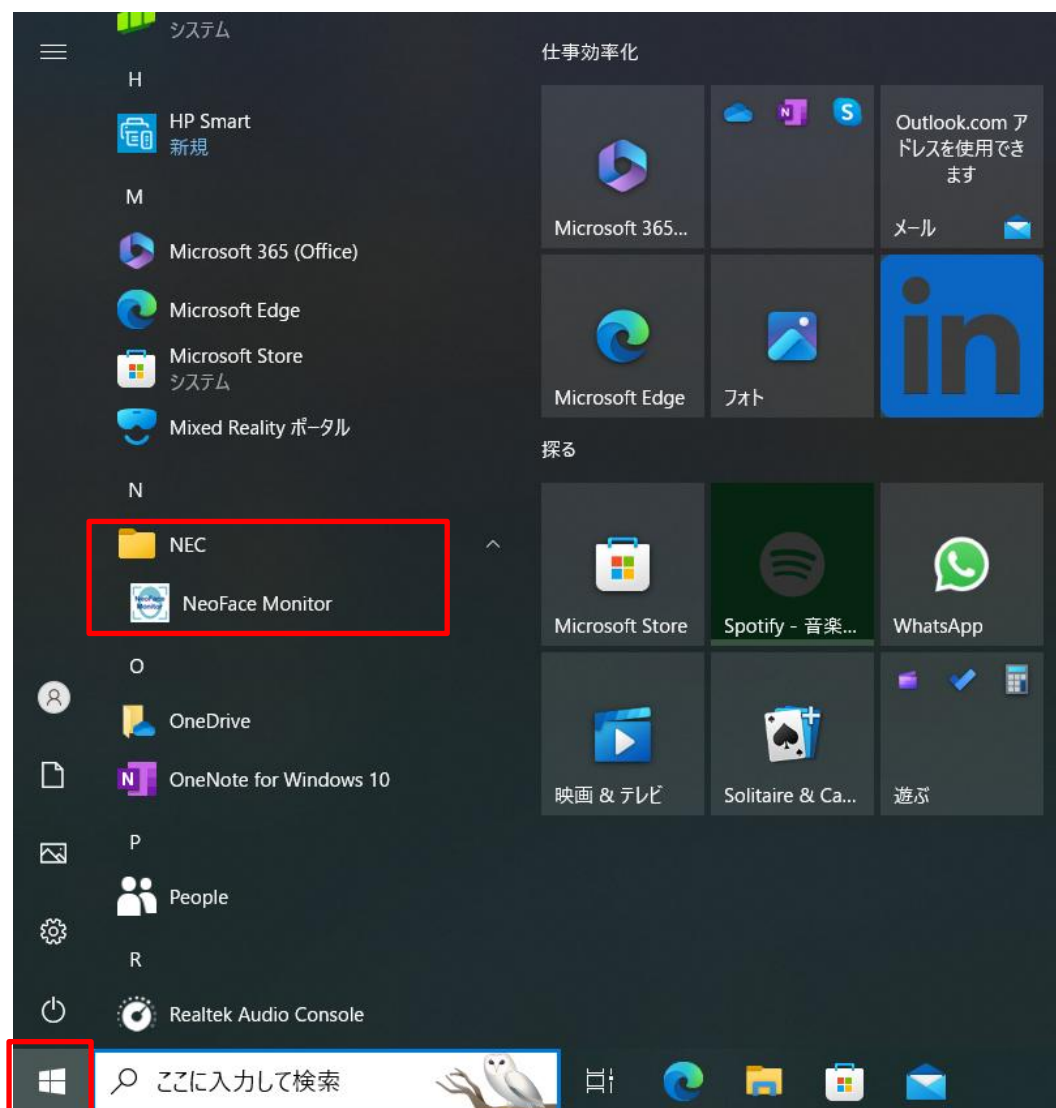
10. 認証に成功すると Windows ログオンが実行、または画面ロックが解除されます。
(以下の画像は Windows ログオンの場合です。)



7.5. 顔画像の撮影（顔画像の更新）

登録済みの顔画像を更新したい場合に、NFM 管理ツールから顔画像の撮影をします。

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
(下の画面は一例です。画面の構成はお使いの端末によって異なります。)



2. 認証ダイアログが表示されます。

顔画像登録する利用者の[NFM 利用者 ID]と[NFM 利用者パスワード]を入力し、[OK]を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

NFM利用者IDとNFM利用者パスワードを入力して認証してください。

NFM利用者ID: client@example.com

NFM利用者パスワード: ●●●●●●●●

OK キャンセル

3. [顔画像撮影]を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

顔画像撮影
(左のボタンを押下して写真撮影を始めてください)

障害調査用ログのアップロード
(管理者から指示を受けた場合に、左のボタンを押下して障害調査用ログをアップロードしてください)

Windowsパスワードの変更
(左のボタンを押下してパスワードの変更をしてください)

アプリログイン代行認証
(左のボタンを押下してアプリログイン代行認証の登録/変更/削除をしてください)

4. Windows 端末で「個人情報の取り扱い」に同意していない場合、個人情報の同意確認ダイアログが表示されます。

[個人情報の取扱いについて(告知文へリンク)]を押下し表示される内容を確認し、同意される場合は、[上記の個人情報の取扱いに同意します。]をチェックして[画像登録]を押下します。



5. [撮影]を押下します。

顔画像撮影 | NeoFace Monitor クラウド版

撮影ボタンを押下してください。



登録済み顔画像

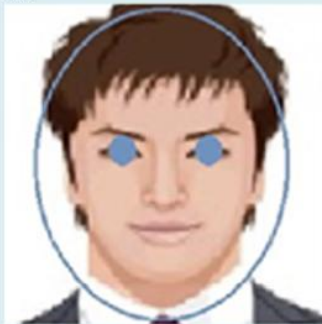
NFM利用者ID :	client@example.com
姓 :	クライアント
ミドルネーム :	アットマーク
名 :	イグザンプル
認証情報 :	未登録

撮影準備

確認

枠の中に顔が入るようにして撮影ボタンを押してください。





撮影時は他の人が映らないようにしてください。

撮影完了

閉じる



[姓]、[ミドルネーム]、[名]はそれぞれ 80 文字まで登録可能ですが、顔画像撮影画面には 20 文字までしか表示されません。



顔撮影のときは下記に注意してください。

- ・ カメラに向かって正面を向いてください。
- ・ 顔をはっきり映してください。
全体が暗いか、影などで顔がはっきり映っていない場合は、明るさを調整してください。また、背後に太陽光や照明の映り込みがある場合は、光源が入り込まないようにしてください。
- ・ 認識枠に顔を合わせてください。
- ・ まばたきをしないでください。
- ・ サングラスやマスクをしないでください。
- ・ 他の人が映らないようにしてください。



認識枠

【撮影に失敗した場合】

顔画像の撮影に失敗した場合は、画像が赤い枠で表示され、以下のメッセージが表示されます。

顔の位置やカメラの接続などを確認して[撮り直し]を押下し、手順 3. からやり直してください。また、何度も失敗する場合は、システム管理者にお問い合わせください。

このエリアに撮影のヒントが表示されます。
撮影がうまくできないときは、参考にしてください。



6. 撮影された顔画像が表示されます。
撮影を終了する場合は、[撮影完了]を押下します。

顔画像撮影 | NeoFace Monitor クラウド版



登録済み顔画像

NFM利用者ID : client@example.com
姓 : クライアント
ミドルネーム : アットマーク
名 : イグザンプル
認証情報 : 未登録

撮影準備

確認

撮影直しをしたい場合は、「撮影直し」ボタンを押してください。
画像を保存し、撮影を完了する場合は、「撮影完了」ボタン押してください。



撮影完了

閉じる

7. 以下のメッセージが表示されますので、[はい]を押下します。

顔画像撮影 | NeoFace Monitor クラウド版

顔画像の撮影を完了します。
よろしいですか？

はい

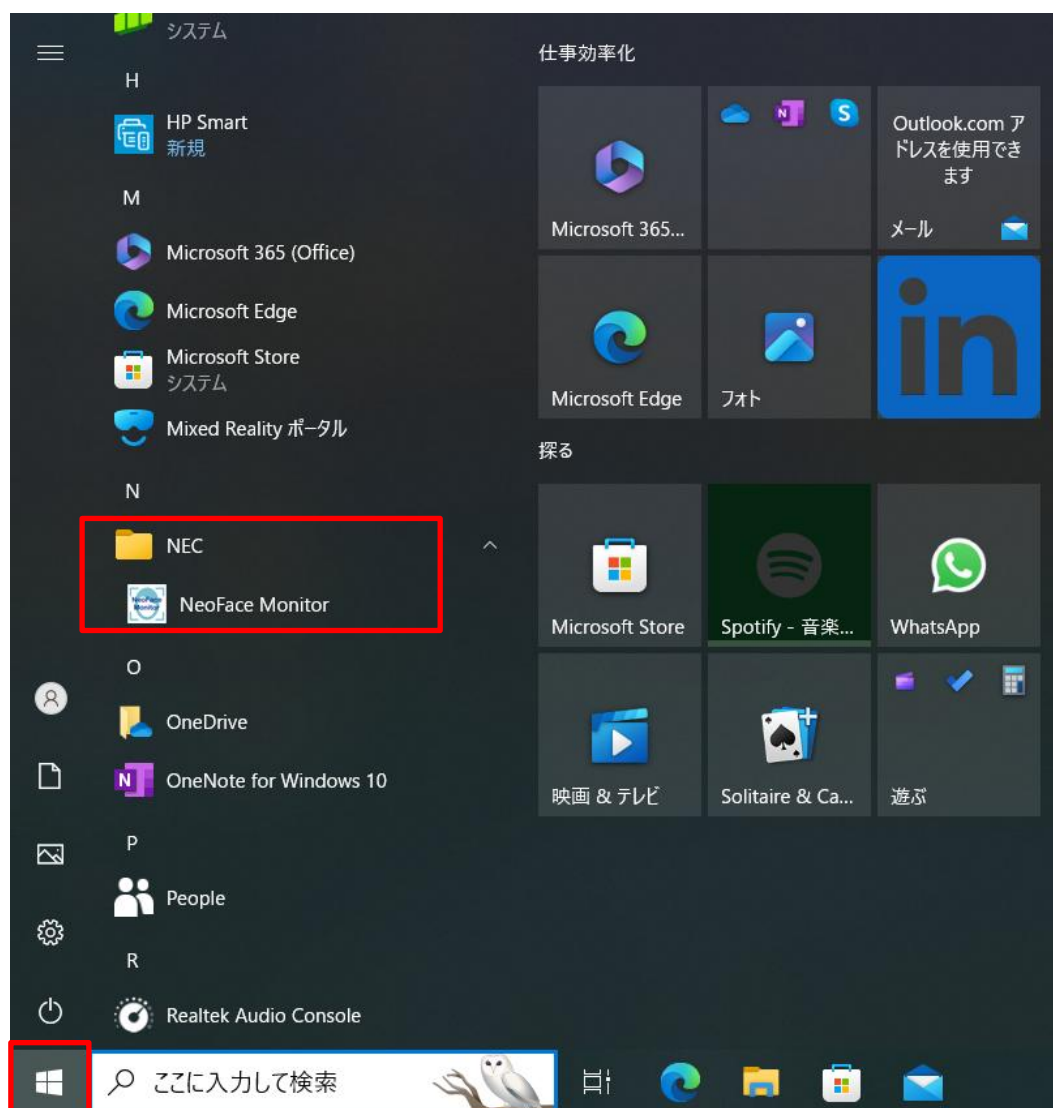
いいえ

撮影された顔画像が管理ポータルへ保存され、これで顔画像の登録が完了します。

7.6. 障害調査用ログのアップロード

システム管理者から指示を受けた場合に、障害調査用ログをアップロードします。

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
(下の画面は一例です。画面の構成はお使いの端末によって異なります。)



2. 認証ダイアログが表示されます。

[NFM 利用者 ID] と [NFM 利用者パスワード] を入力し、[OK] を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

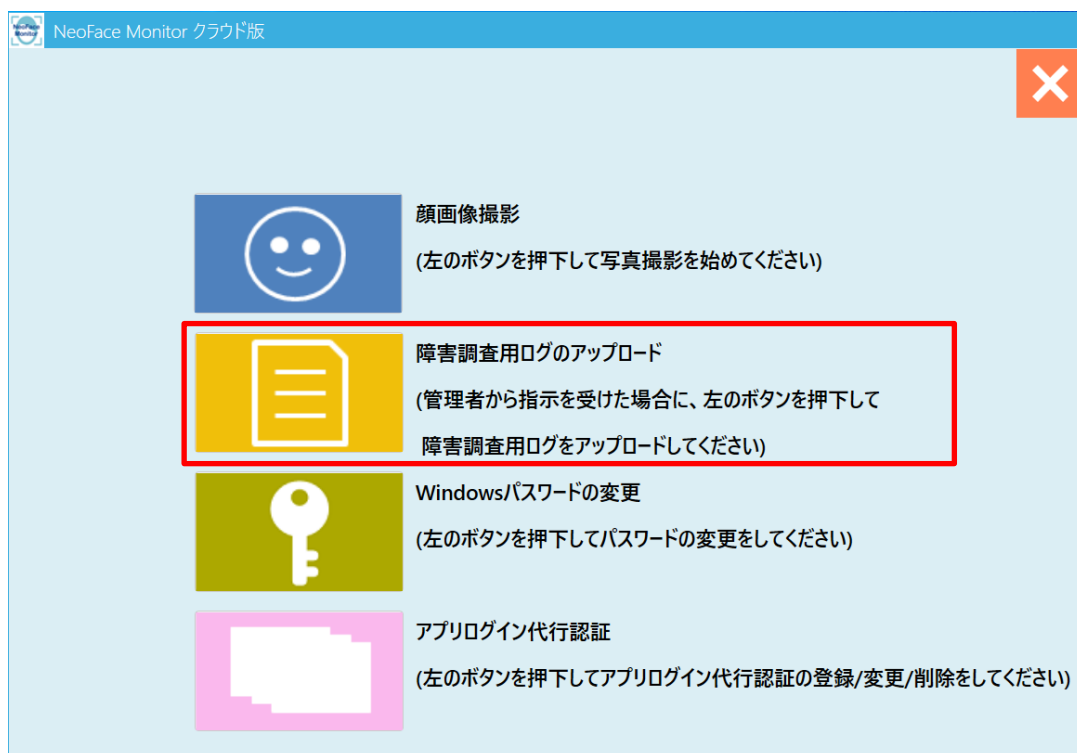
NFM利用者IDとNFM利用者パスワードを入力して認証してください。

NFM利用者ID: client@example.com

NFM利用者パスワード: ●●●●●●●●

OK キャンセル

3. [障害調査用ログのアップロード] を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

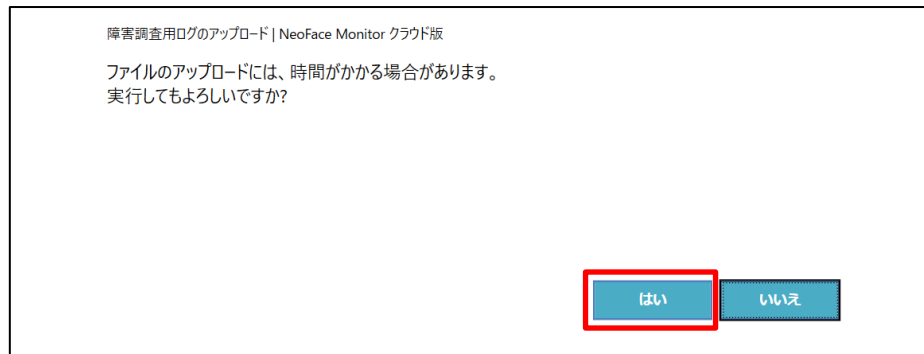
顔画像撮影
(左のボタンを押下して写真撮影を始めてください)

障害調査用ログのアップロード
(管理者から指示を受けた場合に、左のボタンを押下して障害調査用ログをアップロードしてください)

Windowsパスワードの変更
(左のボタンを押下してパスワードの変更をしてください)

アプリログイン代行認証
(左のボタンを押下してアプリログイン代行認証の登録/変更/削除をしてください)

4. 以下のメッセージが表示されますので、[はい]を押下します。



5. [障害調査用ログのアップロード]が正常に完了すると、以下のメッセージが表示されます。



障害調査用のログファイルは以下のフォルダーに格納されています。

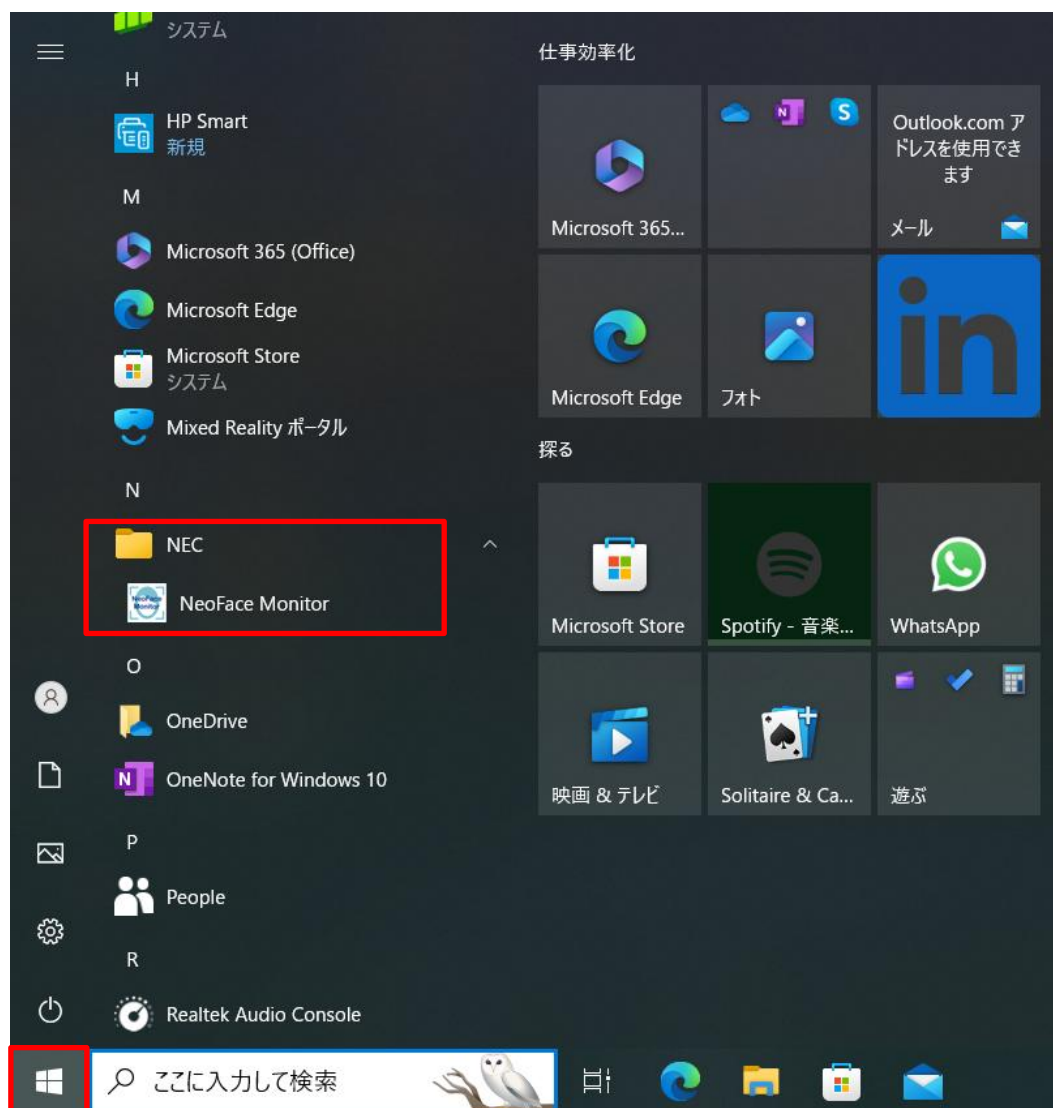
C:\¥NEC¥Logs

障害発生時の調査に必要なため、ファイルを削除したり、余計なファイルを格納したりしないでください。

7.7. Windows パスワード変更

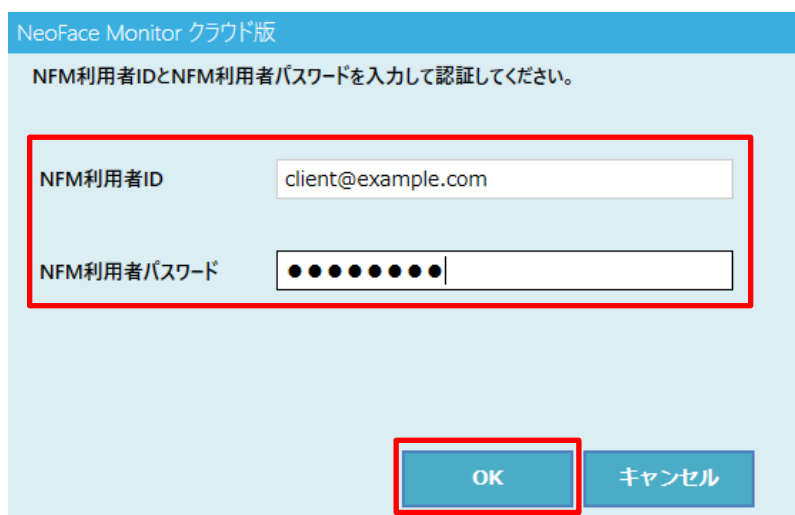
ご自身が利用している Windows アカウントのパスワードを変更します。

1. [スタート] – [NEC] – [NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
(下の画面は一例です。画面の構成はお使いの端末によって異なります。)



2. 認証ダイアログが表示されます。

[NFM 利用者 ID] と [NFM 利用者パスワード] を入力し、[OK] を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

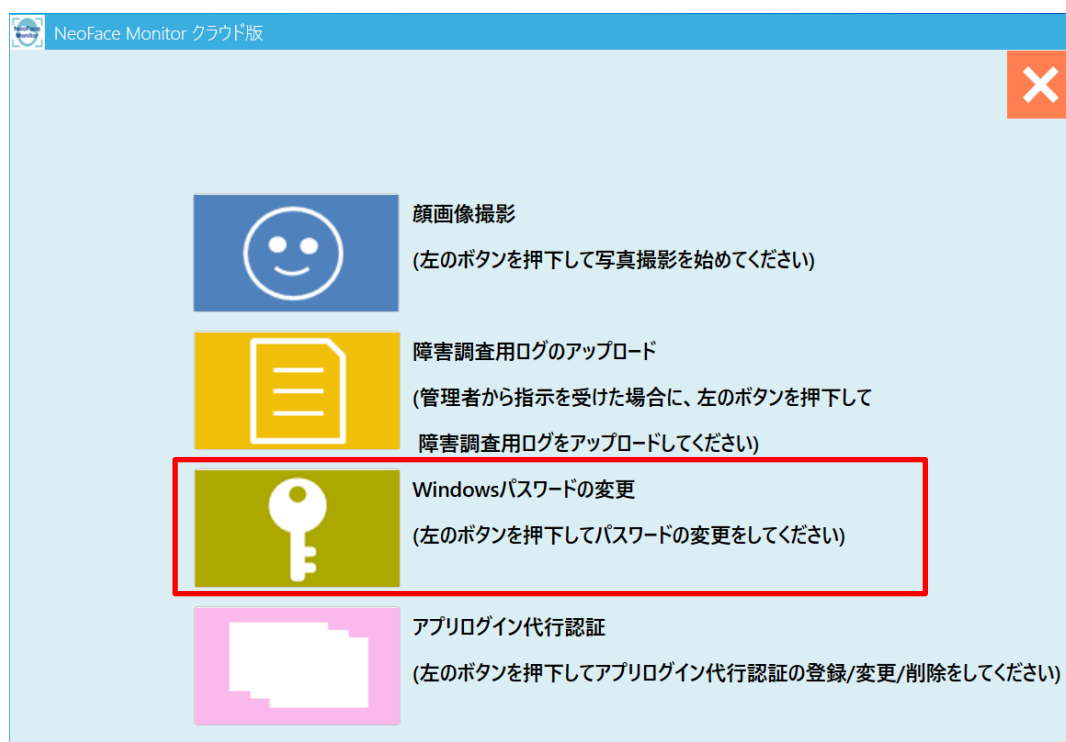
NFM利用者IDとNFM利用者パスワードを入力して認証してください。

NFM利用者ID: client@example.com

NFM利用者パスワード: ●●●●●●●●

OK キャンセル

3. [Windows パスワードの変更] を押下します。



NeoFace Monitor クラウド版

顔画像撮影
(左のボタンを押下して写真撮影を始めてください)

障害調査用ログのアップロード
(管理者から指示を受けた場合に、左のボタンを押下して障害調査用ログをアップロードしてください)

Windowsパスワードの変更
(左のボタンを押下してパスワードの変更をしてください)

アプリログイン代行認証
(左のボタンを押下してアプリログイン代行認証の登録/変更/削除をしてください)

4. [パスワード]と[新しいパスワード]と[新しいパスワード(確認用)]の入力をし、[OK]を押下します。

なお、[Windows アカウント名]入力欄にはあらかじめ現在 Windows へログオン中の Windows アカウント名の情報が入力されています。

Windowsパスワードの変更 | NeoFace Monitor クラウド版

Windowsパスワードを変更します。
現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード(確認用)を入力してください。

Windowsアカウント

パスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

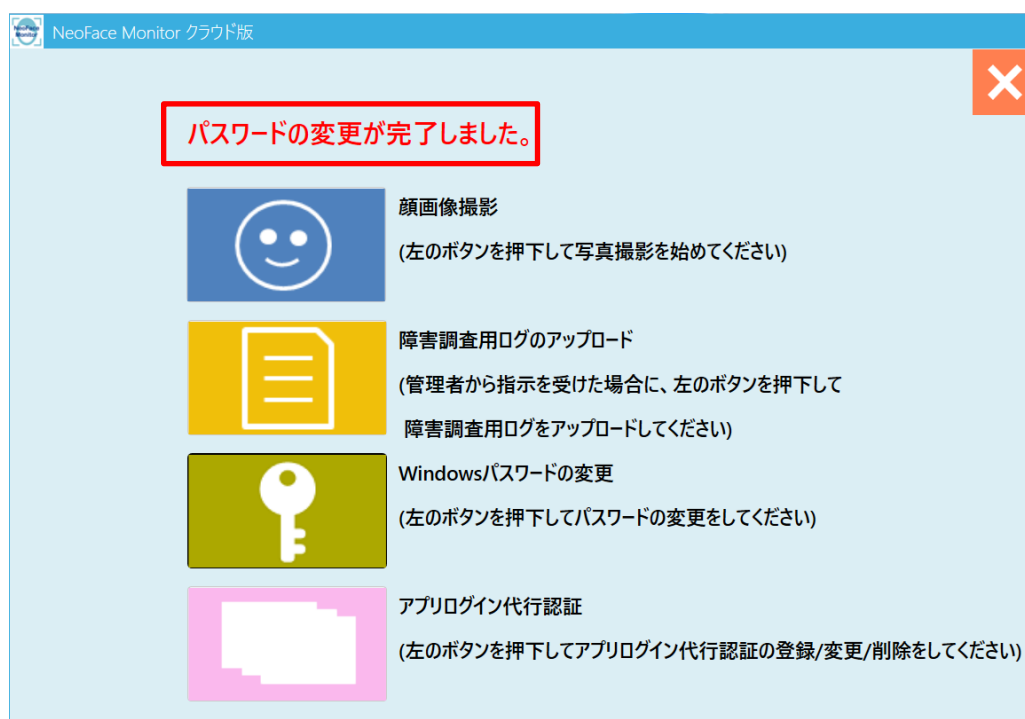
OK

キャンセル



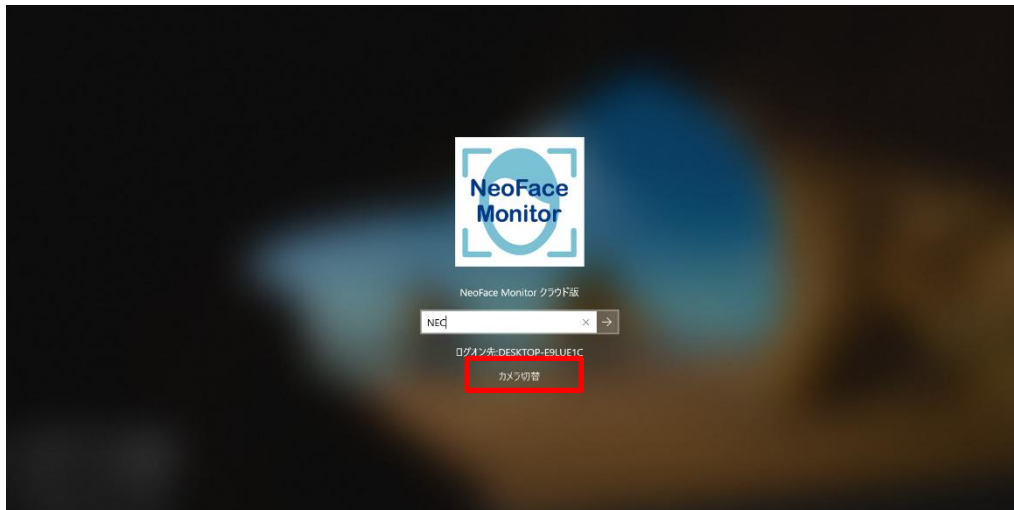
現在ログオン中ではない Windows アカウントのパスワードを変更する場合は、現在の Windows アカウントをログオフした後に、変更したい Windows アカウントでログオンして手順 1. からご利用ください。

5. [Windows パスワードの変更]が正常に完了すると、以下のメッセージが表示されます。

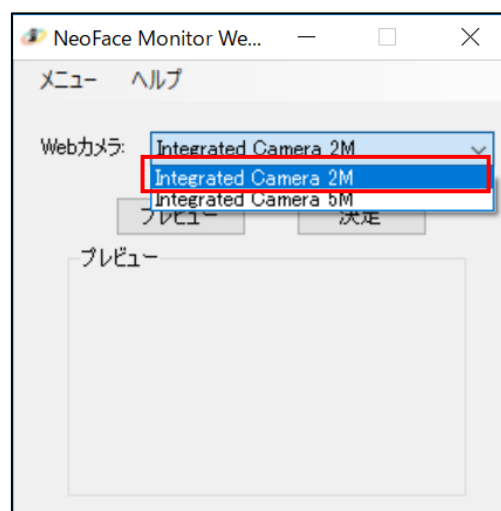


7.8. カメラの切替えについて

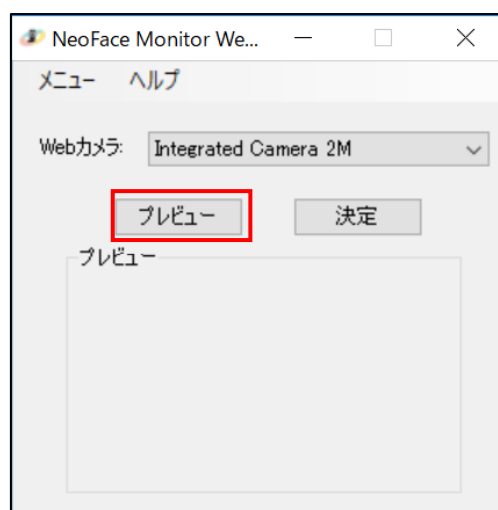
Windows 端末に2台以上のカメラが接続されている場合は、ログオン画面、ロック解除画面から「カメラ切替」のリンクを押下することで NFM クラウド版クライアントが使用するカメラを設定することが可能です。



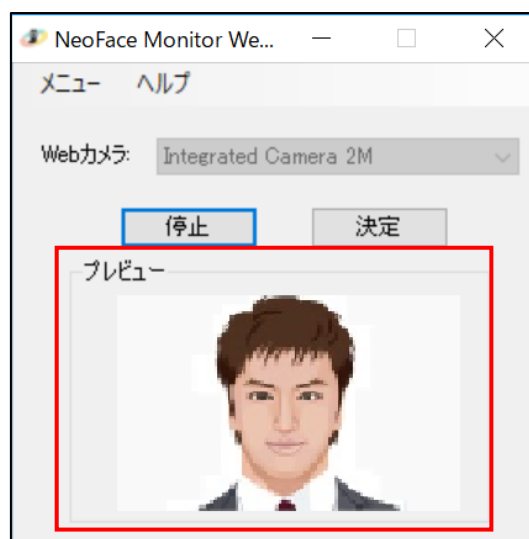
1. 「カメラ切替」のリンクを押下することで「Web カメラ切り替えツール」が起動しますので、[Web カメラ]のプルダウンリストからカメラを選択します。



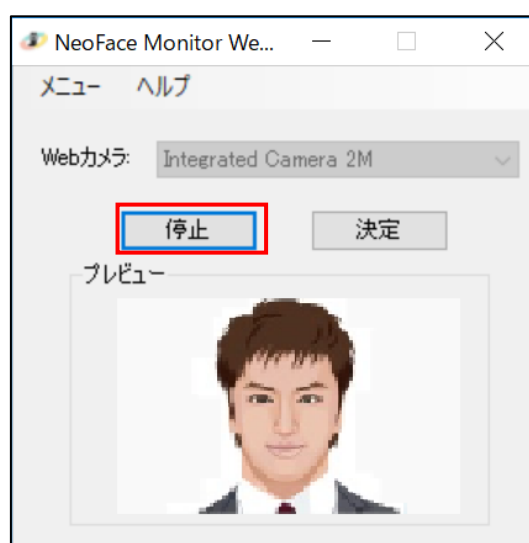
2. [プレビュー]を押下します。



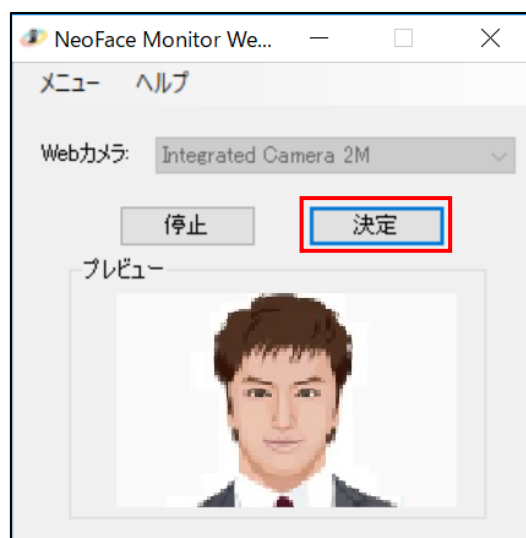
選択したカメラの映像が表示されますので、画面を見て自分の顔が写っていることを確認してください。



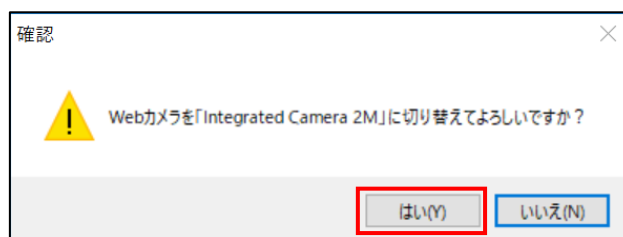
カメラを切替える際は[停止]を押下後、再度、手順1からご実施ください。



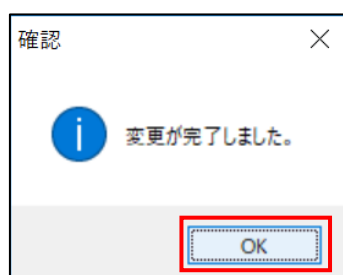
3. [決定]を押下します。



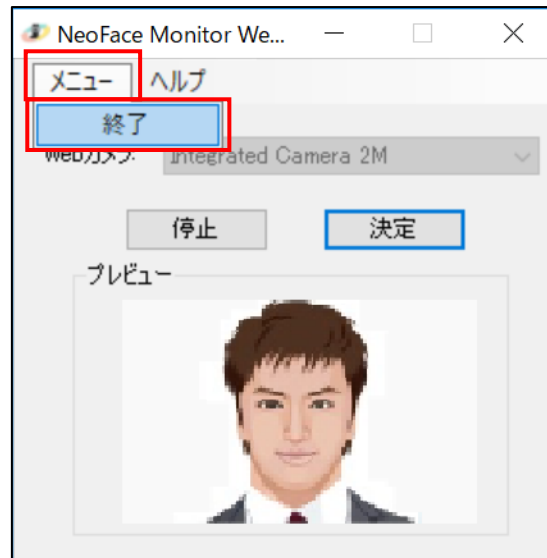
4. 利用する Web カメラが正しく選択されているかを確認のうえ[はい(Y)]を押下します。



5. 変更完了の確認画面にて[OK]を押下します。



6. [メニュー]を押下し、[終了]を選択します。
「Web カメラ切り替えツール」が終了します。



以上で、カメラの切替えは完了です。



以下の設定が行われている場合、Web カメラ切り替えツールの[プレビュー]をクリックするとエラーが発生してプレビューが表示されません。

- ・ [スタート]－[設定]－[プライバシー]にて[アプリがカメラにアクセスできるようにする]が[オフ]の場合

7.9. NFM 以外のアプリケーションのカメラ使用時の注意

NFM クラウド版クライアント以外のアプリケーションがカメラを使用していると、NFM クラウド版クライアントは顔認証を行うことができません。この間、ユーザが手動で Windows 端末の画面ロックを行うと、顔認証による画面ロック解除ができない状態となります。

本章では、上記のケースで自動的にロックを解除することで、顔認証不可状態でのロックを抑止する方法について説明します。ローカルグループポリシー※¹を、以下の組み合わせに設定すると、自動画面ロック解除が有効となります。

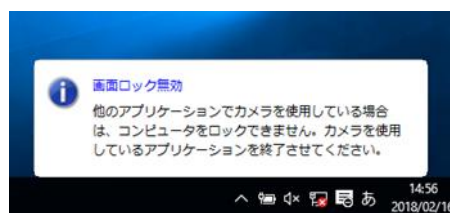
ローカルグループポリシー	コンピューターの構成>管理用テンプレート>Windows コンポーネント>Windows ログオンのオプション:「ソフトウェアの Secure Attention Sequence を無効または有効にする」
設定値	「有効」に設定し、オプション[Secure Attention Sequence の生成が許可されるソフトウェアを設定する]にて「サービス」または「サービスとコンピューターの簡単操作アプリケーション」を選択

以下の条件をすべて満たした場合、自動的にロックを解除します。



- ・ NFM クラウド版クライアント以外のアプリケーションがカメラを使用している
- ・ Windows 端末の画面ロックが実行される

自動画面ロック解除時は、「認証手段：自動画面ロック解除」の認証ログを記録します。また、自動画面ロック解除時に、以下のメッセージがユーザーに通知されます。



※¹ ローカルグループポリシーの起動については、「12.Windows 10 でのご利用について」末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

8. アプリログイン代行認証

8.1. アプリログイン代行認証について

WEB アプリケーションや Windows アプリケーションのユーザ ID 、パスワードの入力が必要なアプリケーションやインターネット画面に対し、指定の認証方法にて、ログインする機能です。アプリログイン代行認証を行う WEB アプリケーションや Windows アプリケーションの ID・パスワード認証画面を表示した時、登録した情報（ユーザ ID、パスワード）によって、ログイン処理を行います。認証方法としては認証なし（シングルサインオン）、顔認証、顔認証＋パスワード認証の 3 種類の認証方法を選択可能です。

本機能は、システム管理者がアプリログイン代行認証の登録を許可している場合に限り、使用することが可能です。また、認証方法の設定もシステム管理者にて行います。システム管理者の指示に従い、実際に端末をお使いになる環境で登録してください。

※システム管理者が登録したアプリログイン代行認証情報については、本書の「8.7. 登録情報の参照」の手順 3 を参照してください。

この章では WEB アプリケーションでのアプリログイン代行認証を例に説明します。

8.2. 動作確認済み WEB ブラウザおよび Windows アプリケーション

アプリログイン代行認証の動作確認済み WEB ブラウザおよび Windows アプリケーションは以下の通りです。

ただし、アプリケーション側の仕様変更により動作できなくなる可能性があります。

最新の動作確認状況については下記製品ホームページをご確認ください。

<https://jpn.nec.com/products/bizpc/promotion/nfm-cloud/environments.html>

	アプリ名称
WEB ブラウザ	Microsoft Edge (以下 Edge)
WEB アプリケーション (Edge)	Office 365 サイボウズ Office (クラウド版) サイボウズ ガルーン (クラウド版) 弥生会計 (クラウド版) Kintone
Windows アプリケーション	Citrix Workspace 2309 ver23.9.1.104 VMWare Horizon ver8.11.1.41306 Acrobat Reader DC リモートデスクトップ接続 AVD 接続

- ・ Web アプリケーションおよび Windows アプリケーションによっては、ご利用できない場合があります。
- ・ フレーム分割を行っている認証画面や JavaScript、Flash Player などを利用した認証画面には対応しておりません。
- ・ Web アプリケーションの場合、URL 内に “?” がある場合は、“?” 以降は削除されて登録されます。
- ・ アプリケーションのつくりによって、ご利用が困難な場合があります。
対象アプリケーションでの十分な動作評価を実施のうえ、ご利用をお願いします。

＜Web アプリケーションでの利用困難なケース例＞

Web アプリケーションへのアプリログイン代行認証では、登録済の URL へのアクセスを認識した後に、自動入力を実行します。

このため、ログアウト時にログイン画面に遷移する仕様の Web アプリケーションでは再度アプリログイン代行認証が行われますのでご注意ください。

また、アクセスする度に、ログイン画面の URL が変更される仕様の Web アプリケーションでは、ご利用いただけない場合があります。

8.3. 注意事項

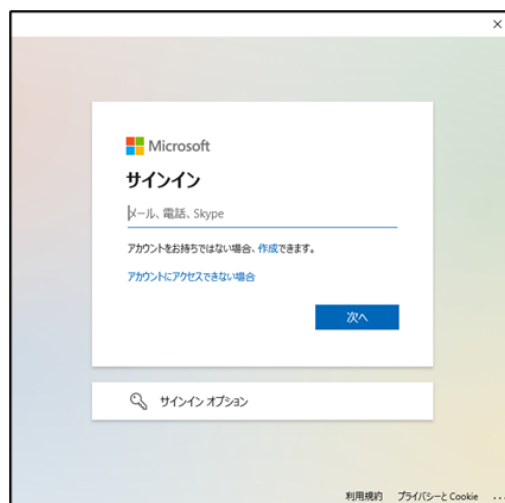
- Windows パスワード、ワンタイムパスワード（代替認証含む）で OS ログオンした場合、NFM 利用者が特定できないためアプリログイン代行認証を使用できません。
ただし、OS ログオン後、常時認証を手動で実施した場合や Windows アカウントに紐づく NFM 利用者が 1 名のみの場合はアプリログイン代行認証を使用することが可能です。
- アプリログイン代行認証機能では、顔動き検知に対応していません。



マルチディスプレイの環境によっては、稀に認証画面がメインディスプレイ以外に表示される可能性がありますので、ご了承ください。



AVD 接続を使用する際、Microsoft のサインイン画面が表示されることがありますが、Microsoft のサインイン画面をアプリログイン代行認証に登録することはできません。



8.4. アプリログイン代行認証の登録名

アプリログイン代行認証の[登録名]欄には任意の文字列を設定することが可能です。

管理者	登録名	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名
	SAMPLE LOGIN	msedge.exe	SAMPLE LOGIN

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄 パスワード対象

1. ☐

2. ☐

3. ☐

4. ☐

5. ☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

[登録名]の入力規則について

- ・ 初期値として、登録対象の画面名称（タイトル／ダイアログ名）が表示されます。
- ・ 入力可能な最大文字数は 256 文字です。
- ・ 空欄にすることはできません。最低でも 1 文字を入力してください。
- ・ 複数画面の場合、画面数 1 で設定した[登録名]が画面数 2 以降でも表示され、画面数 2 以降では編集を行うことはできません。編集を行う場合には、キャンセルを行い画面数 1 の[登録名]の編集を行ってください。
- ・ 絵文字や一部の特殊な文字は使用できません。

※Unicode 番号が 16 進数かつ 10000 以上の文字（U+10000～U+10FFFF：サロゲートペア）

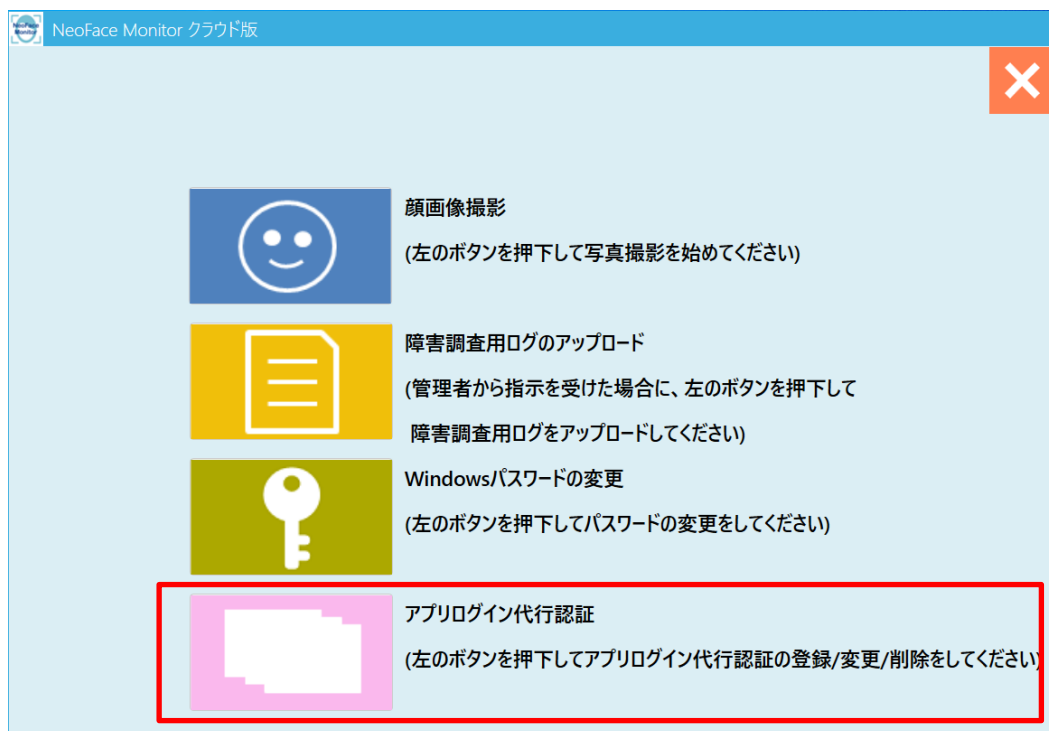
特殊な文字の例： 叱 吉

8.5. アプリログイン代行認証の登録

アプリログイン代行認証情報は、下記の方法で登録します。

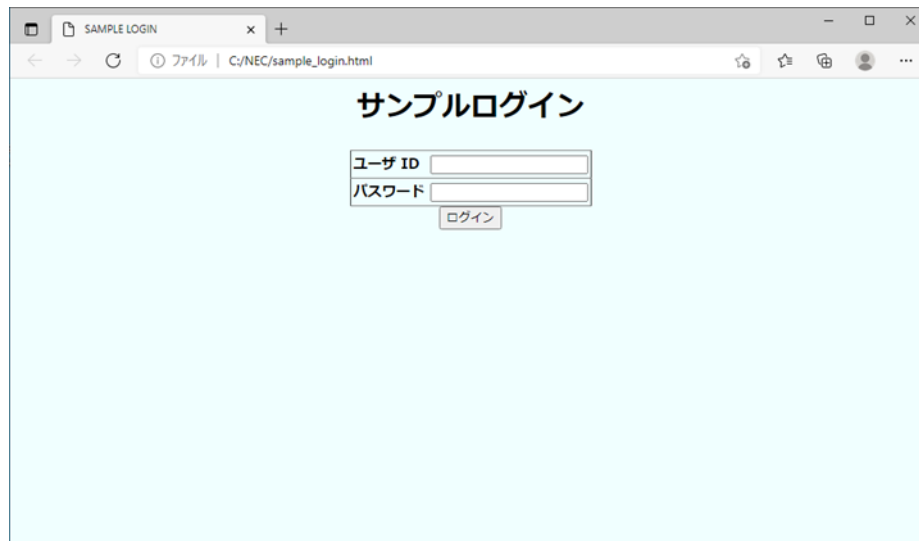
8.5.1. 登録画面が1画面の場合

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
2. [アプリログイン代行認証]を押下します。
(画面の例では、NFM 利用者 ID が「01234567890123456789」の場合です。)
※ NFM 利用者 ID が取得できない場合は、[Windows キー+L]で画面ロック解除を行ってから、再度お試しください。



3. Edgeにてアプリログイン代行認証機能に登録する画面を前面にします。

※ ここではEdgeで[サンプルログイン]画面を例に記載します。



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying 'C:/NEC/sample_login.html'. The page content is centered and features the title 'サンプルログイン'. Below the title, there are two text input fields: the first is labeled 'ユーザ ID' and the second is labeled 'パスワード'. A 'ログイン' button is positioned directly below the password field.

4. [登録]ボタンを押下します。



The screenshot displays the 'アプリログイン代行認証登録情報一覧 | NeoFace Monitor クラウド版' interface. At the top, a red message states 'この利用者の情報はありません。' Below this, the text '利用者ID : 01234567890123456789の登録情報一覧' is shown. A table with the following headers is present: '管理者', '登録名', 'アプリケーション名', and 'タイトル/ダイアログ名'. The table body is currently empty. At the bottom of the interface, there are four buttons: '登録' (Register), '詳細' (Details), '削除' (Delete), and '閉じる' (Close). The '登録' button is highlighted with a red rectangular box.

5. 登録する画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



6. 画面情報の取得が完了すると、[アプリログイン代行認証登録] 画面が表示されます。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名	入力欄	パスワード対象
1.		☐
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

「アプリ情報の取得に失敗しました。」と表示された場合は、登録する画面を再度前面に表示させ、[アプリログイン代行認証]の[登録]ボタンを押下してください。

7. Edge が前面に表示され、入力エリアに番号が表記されます。

この番号は、[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄の番号と関連します。

パスワード箇所は伏せ字で表示されますので、文字数でご確認ください。

Edge の入力エリアへの表記	入力欄の番号
1	1.
22	2.
333	3.
4444	4.
55555	5.

The screenshot shows two side-by-side windows. The left window, titled 'サンプルログイン' (Sample Login), displays a 'ユーザー ID' (User ID) field with the value '1' and a 'パスワード' (Password) field with masked characters. A red box highlights these fields, and red arrows point from them to the right window. The right window, titled 'アプリログイン代行認証登録 | Neoface Monitor クラウド版' (Application Login Proxy Authentication Registration | Neoface Monitor Cloud Edition), shows a registration form. It includes a '登録名' (Registration Name) field, a list of five '入力欄' (Input Fields) numbered 1 to 5, and a 'パスワード対象' (Password Target) checkbox. The '自動クリック' (Auto Click) option is set to 'する' (Do), and the '対象ボタン' (Target Button) is set to 'ログイン' (Login). Buttons for 'テスト' (Test), '次へ' (Next), '確定' (Confirm), and 'キャンセル' (Cancel) are at the bottom.

8. Edge の入力エリアに表記された番号の通り、[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄へ情報を入力します。

パスワードに該当する箇所は、右側の[パスワード対象]にチェックを入れると入力欄の内容が伏せ字で表示されます。チェックを外すと、入力文字で表示されます。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄

1.	00010005	パスワード対象 ☐
2.	●●●●●●●●	☒
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

9. 自動クリック設定を行います。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.	●●●●●●●●	☒
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

自動クリックを行う項目の内容は以下となります。

項目	内容
する	入力欄に登録した情報をアプリケーションのログイン画面に代行入力した後、ボタンを自動で押下します。
しない	入力欄に登録した情報をアプリケーションのログイン画面に代行入力までを実施します。ボタンの押下はご自身で行ってください。

[する]を選択した場合、手順 10 に進んでください。

[しない]を選択した場合、手順 11 に進んでください。

10. [する]を選択した場合、対象ボタンが選択可能になります。

アプリログイン代行認証時に、押下するボタン名をプルダウンメニューから選択します。

※ [対象ボタン]の選択肢に、「名称取得できないボタン」が存在する場合は、手順 12 で対象ボタンの確認を行った上で、登録を行ってください。

※ ログイン画面表示後、ログイン済になります。



11. [しない]を選択した場合は、対象ボタンは選択できません。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.		☒
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☐ する ☒ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

※ ログイン画面表示後、[アプリログイン代行認証登録]画面で入力した文字が入力されます。

SAMPLE LOGIN x +

← → ↺ ファイル | C:/NEC/sample_login.html ☆ ☆ 🔍

サンプルログイン

ユーザ ID

パスワード

12. [テスト]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名

	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.	●●●●●●●●	☒
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☐ する ☒ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

入力されない場合は、[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄を見直してください。

13. テストを行う画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



※ 画面情報の取得が完了した後、自動クリック設定で[する]を選択した場合、Edge 画面にてログイン可能であることを確認します。[しない]を選択した場合、Edge に入力欄の情報が入力されていることを確認します。

14. 手順 12 で、アプリログイン代行認証によって、自動入力する情報に問題ないことを確認した上で、[確定] ボタンを押下します。

入力したアプリログイン代行認証情報が保存され、登録が完了します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. 00010005	☐
2. ●●●●●●●●	☒
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☐ する ☒ しない

対象ボタン

テスト 次へ **確定** キャンセル

- キャンセルする場合

入力した情報を登録しない場合は、[キャンセル] ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. 00010005	☐
2. ●●●●●●●●	☒
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☐ する ☒ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 **キャンセル**

以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

この画面を閉じます。
よろしいですか？

はい

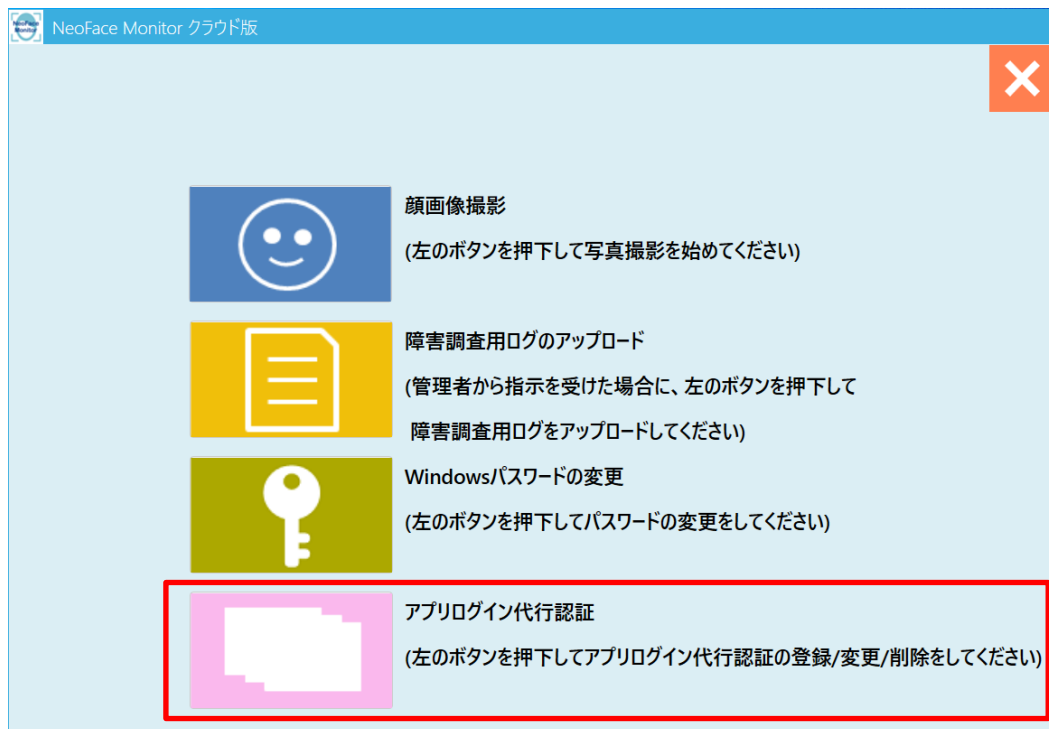
いいえ

8.5.2. 登録画面が複数画面の場合

同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]で複数認証画面が存在するアプリケーションにアプリログイン代行認証機能を利用する場合は、本章をご参照ください。

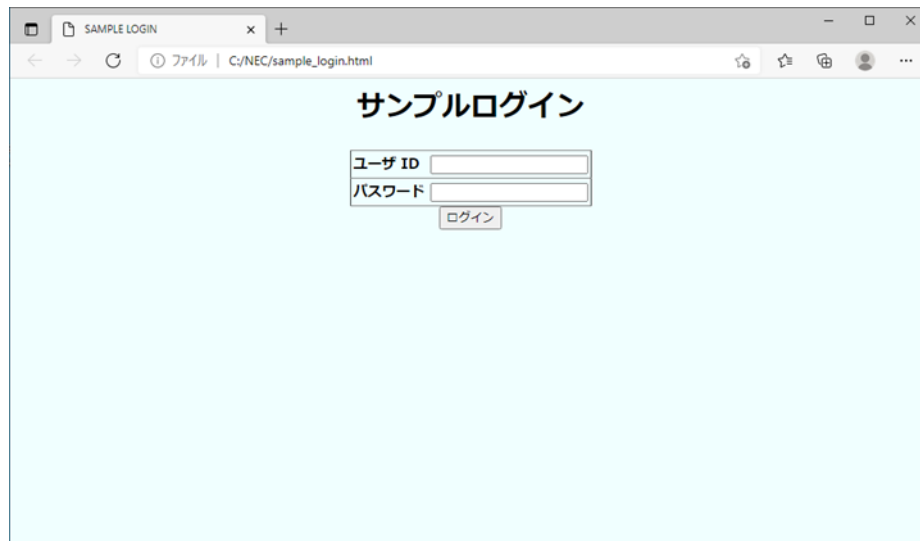
本章では、同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]のユーザ ID の入力画面とパスワードの入力画面が異なる Web アプリケーションを例として、説明します。

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
2. [アプリログイン代行認証]を押下します。
(画面の例では、NFM 利用者 ID が「01234567890123456789」の場合です。)
※ NFM 利用者 ID が取得できない場合は、[Windows キー+L]で画面ロック解除を行ってから、再度お試しください。



3. Edgeにてアプリログイン代行認証機能に登録する画面を前面にします。

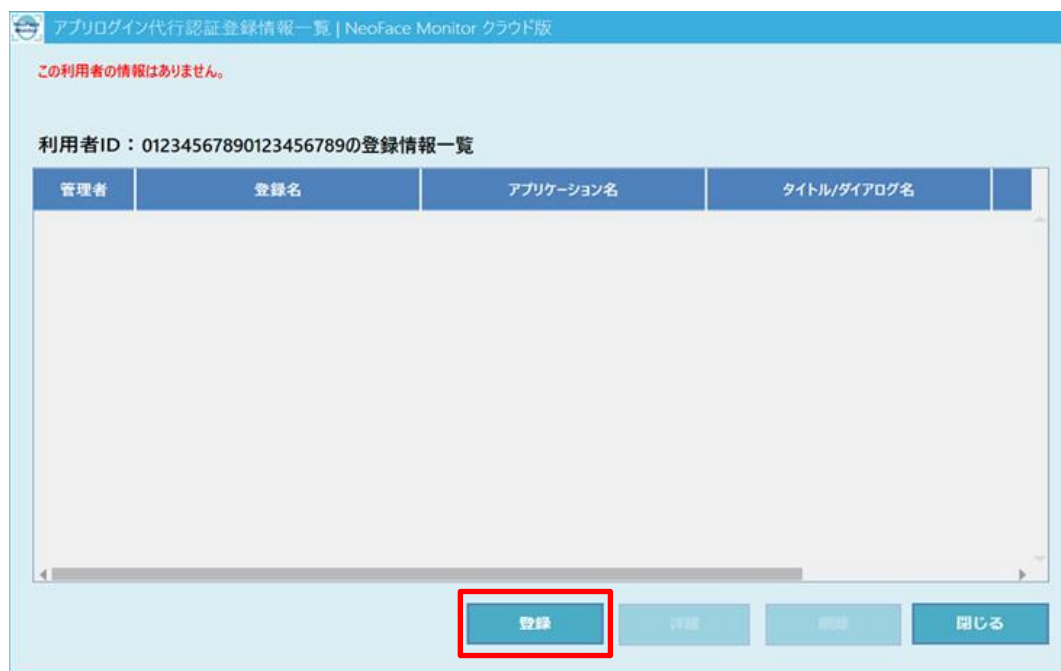
※ ここではEdgeで[サンプルログイン]画面を例に記載します。



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying 'C:/NEC/sample_login.html'. The page title is 'サンプルログイン'. The main content area has a light blue background and contains the following elements:

- ユーザ ID (User ID) input field
- パスワード (Password) input field
- ログイン (Login) button

4. [登録]ボタンを押下します。



The screenshot shows the 'アプリログイン代行認証登録情報一覧 | Neoface Monitor クラウド版' (Application Login Proxy Authentication Registration Information List | Neoface Monitor Cloud Edition) page. The page displays a message: 'この利用者の情報はありません。' (There is no information for this user.). Below this, it shows the '利用者ID : 01234567890123456789の登録情報一覧' (Registration information list for user ID: 01234567890123456789). The table has the following columns: 管理者 (Administrator), 登録名 (Registration Name), アプリケーション名 (Application Name), and タイトル/ダイアログ名 (Title/Dialog Name). The '登録' (Register) button is highlighted with a red box.

管理者	登録名	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名
-----	-----	-----------	-------------

5. 登録する画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



6. 画面情報の取得が完了すると、[アプリログイン代行認証登録]画面が表示されます。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名	入力欄	パスワード対象
1.		☐
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

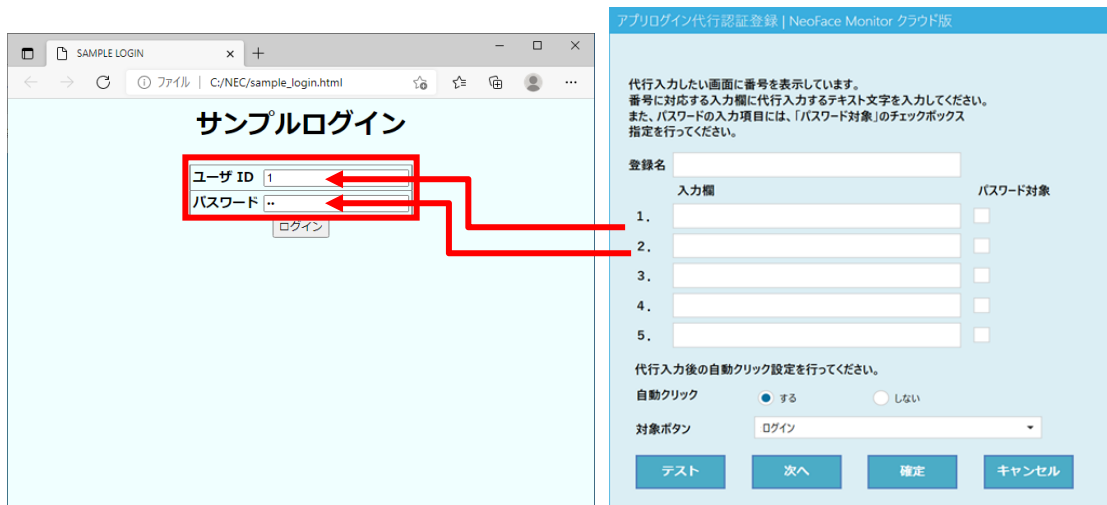
「アプリ情報の取得に失敗しました。」と表示された場合は、登録する画面を再度前面に表示させ、[アプリログイン代行認証]の[登録]ボタンを押下してください

7. Edge が前面に表示され、入力エリアに番号が表記されます。

この番号は、[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄の番号と関連します。

パスワード箇所は伏せ字で表示されますので、文字数でご確認ください。

Edge の入力エリアへの表記	入力欄の番号
1	1.
22	2.
333	3.
4444	4.
55555	5.



8. Edge の入力エリアに表記された番号の通りに、[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄に 1 画面目の入力情報を入力します。

(本章の例では、ユーザ ID[00010005]を入力します。)

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄 パスワード対象 ☐

1.

2.

3.

4.

5.

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

9. 2画面目に遷移させるための自動クリック設定を行います。

※ 登録画面が2画面の場合は、1画面目の自動クリック設定は、[する]を選択する必要があります。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. 00010005	☐
2.	☐
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

10. 2画面目に遷移するためのボタン名をプルダウンメニューから選択します。

(本章の例では、[サンプルログイン]画面の[次へ]を選択しています。)

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. 00010005	☐
2.	☐
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

SAMPLE LOGIN

サンプルログイン

ユーザ ID

※[対象ボタン]の選択肢に、「名称取得できないボタン」が存在する場合は、本書の「登録画面が1画面の場合」の手順12を参照し、対象ボタンの確認を行ってください。

11. [テスト]ボタンを押下し、Edge を 2 画面目に遷移させます。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名

	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

※ ここでは Edge で[サンプルログイン 2]画面を 2 画面目の例として記載します。

SAMPLE LOGIN x +

← → ① ファイル | C:/NEC/sample_login.html ☆ ☆ ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

サンプルログイン2

パスワード

ログイン

12. 2 画面目に遷移させましたら、[次へ]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄

	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン



自動クリック設定にて、「しない」を選択し、「次へ」ボタンを押下した際に、エラーメッセージが表示され、次画面の「アプリログイン代行認証登録」画面に進むことはできません。

13. 2 画面目の画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



14. 手順 7 と同様に、Edge が前面に表示され、入力エリアに番号が表示されます。
パスワード箇所は伏せ字で表示されますので、文字数でご確認ください。

15. 該当の[アプリログイン代行認証登録]画面の入力欄の 2 画面目の入力情報を入力します。パスワードに該当する箇所は、右側の[パスワード対象]にチェックを入れると入力欄の内容が伏せ字で表示されます。チェックを外すと、入力文字で表示されます。

16. 2 画面目の自動クリック設定を行います。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. ●●●●●●●●	☒
2.	☐
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

自動クリックを行う項目の内容は以下となります。

項目	内容
する	入力欄に登録した情報をアプリケーションのログイン画面に代行入力した後、ボタンを自動で押下します。
しない	入力欄に登録した情報をアプリケーションのログイン画面に代行入力までを実施します。ボタンの押下はご自身で行ってください。

[する]を選択した場合、手順 17 に進んでください。

[しない]を選択した場合、手順 18 に進んでください。

17. [する]を選択した場合、対象ボタンが選択可能になります。

アプリログイン代行認証時に、押下するボタン名をプルダウンメニューから選択します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

	入力欄	パスワード対象
1.	●●●●●●●●	☒
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

※ [対象ボタン]の選択肢に、「名称取得できないボタン」が存在する場合は、本書の「8.4.1. 登録画面が1画面の場合」の手順12を参照し、対象ボタンの確認を行ってください。

※ ログイン画面表示後、ログイン済になります。



18. [しない]を選択した場合は、対象ボタンは選択できません。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名

入力欄	パスワード対象
1. ●●●●●●●●	☒
2.	☐
3.	☐
4.	☐
5.	☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☐ する ☒ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 キャンセル

- ※ ログイン画面表示後、[アプリログイン代行認証登録]画面で入力した文字が入力されます。

SAMPLE LOGIN

ファイル | C:/NEC/sample_login_2.html

サンプルログイン2

パスワード

ログイン

19. 2画面目の入力情報に問題ないことを確認した上で、[確定]ボタンを押下します。
入力したアプリログイン代行認証情報が保存され、登録が完了します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名

入力欄

	入力欄	パスワード対象
1.	●●●●●●●●	☒
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ **確定** キャンセル

- キャンセルする場合

入力した情報を登録しない場合は、[キャンセル]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名

入力欄

	入力欄	パスワード対象
1.	●●●●●●●●	☒
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

テスト 次へ 確定 **キャンセル**

以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

この画面を閉じます。
よろしいですか？

はい

いいえ

8.6. アプリログイン代行認証の使用方法

以下の手順で、顔認証およびシングルサインオンによるアプリログイン代行認証を行います。
また、アプリログイン代行認証を使用する場合、アプリログイン代行認証情報および NFM 利用者情報が事前に登録されており、それらと Windows アカウントとの紐付けをされている必要があります。アプリログイン代行認証情報の登録方法については、本書の「8.5 アプリログイン代行認証の登録」をご参照ください。

ここでは、アプリログイン代行認証の設定が以下となっている場合を例とします。

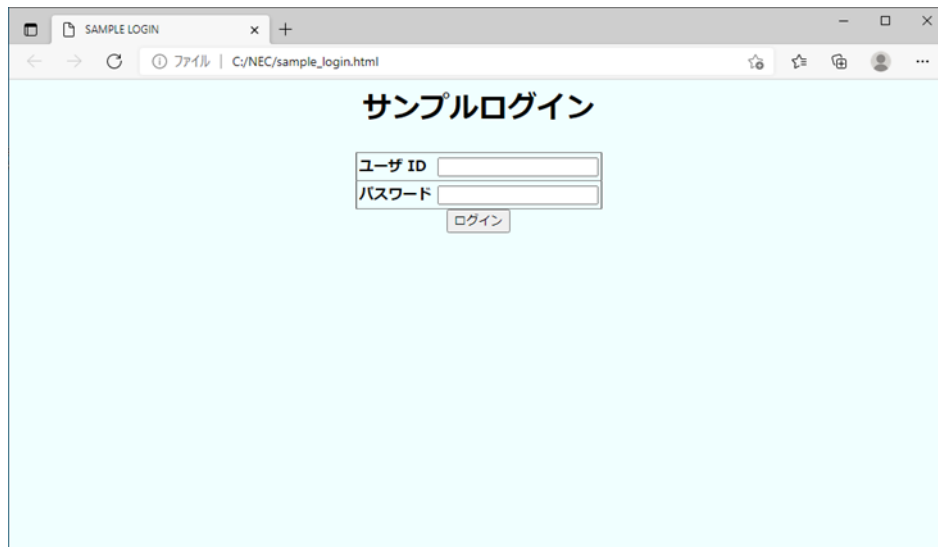
認証方法：顔

認証失敗時の動作：アプリログイン画面表示

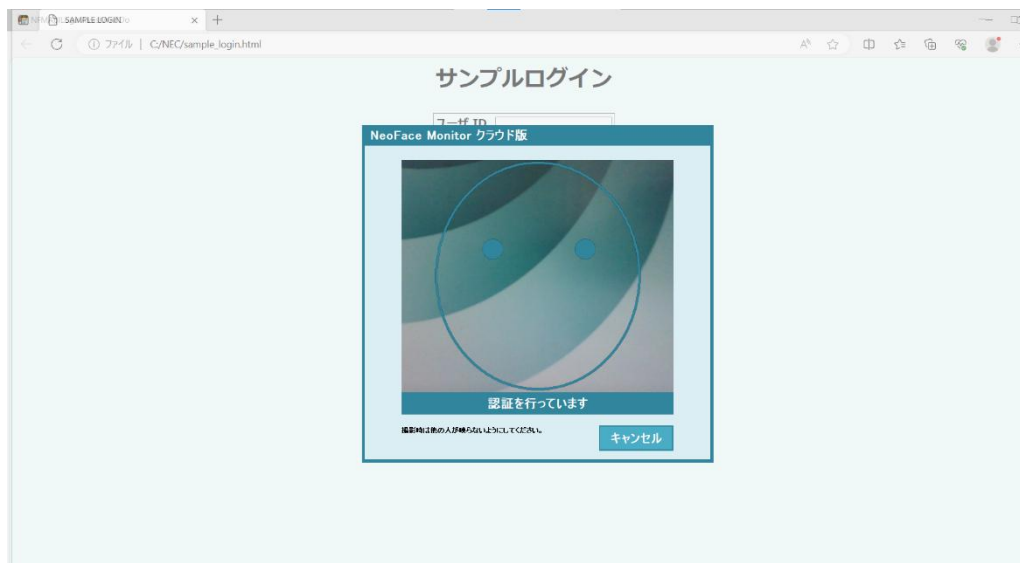
使用アプリケーション：Edge

8.6.1. 認証画面が 1 画面の場合

1. アプリログイン代行認証を実施する画面を表示させます。



2. 画面に半透明のパネルが表示され、そのパネルの前に NFM の顔認証画面が表示されます。



- ※ 認証方法が「認証無し（シングルサインオン）」に設定されている場合、顔認証画面は表示されません。
- ※ 認証方法が「顔＋パスワード」に設定されている場合、表示されたパスワード画面に Windows パスワードを入力した後に、顔認証画面が表示されます。

3. 認証に成功すると、画面情報の取得が行われます。

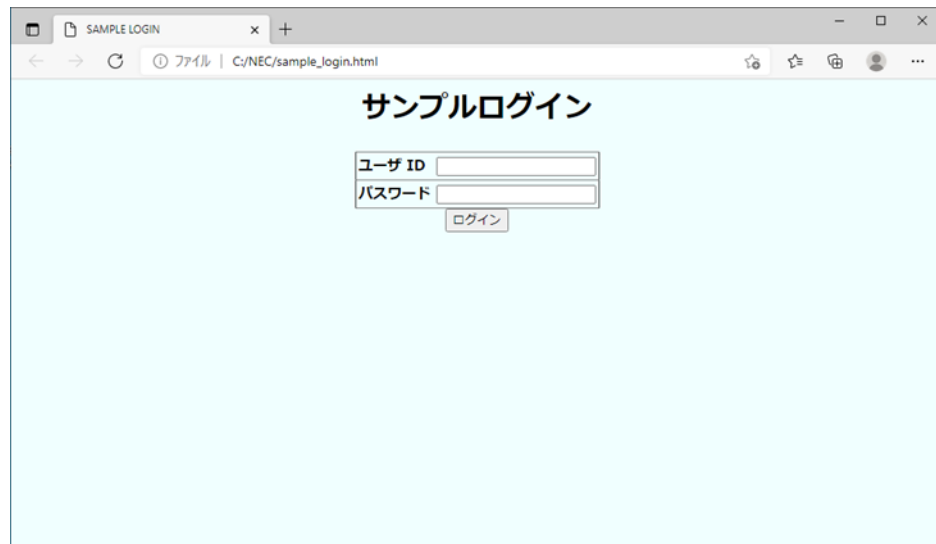
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



4. 画面情報の取得が完了しますと、アプリケーションへのログインが行われます。



5. 認証に失敗した場合は、ログイン前の画面が表示されます。



※ 認証失敗した場合は、アプリログイン代行認証や NFM 利用者情報の登録内容に間違いがないか確認をしてください。

- 認証失敗時の動作について

設定	動作
アプリログイン画面表示	アプリケーションのログイン画面に戻ります。
再認証	アプリケーションのログイン画面を閉じます。 Edgeの場合は表示しているすべてのタブを閉じます。 認証を再度実行する場合は、アプリケーションのログイン画面を表示させてください。

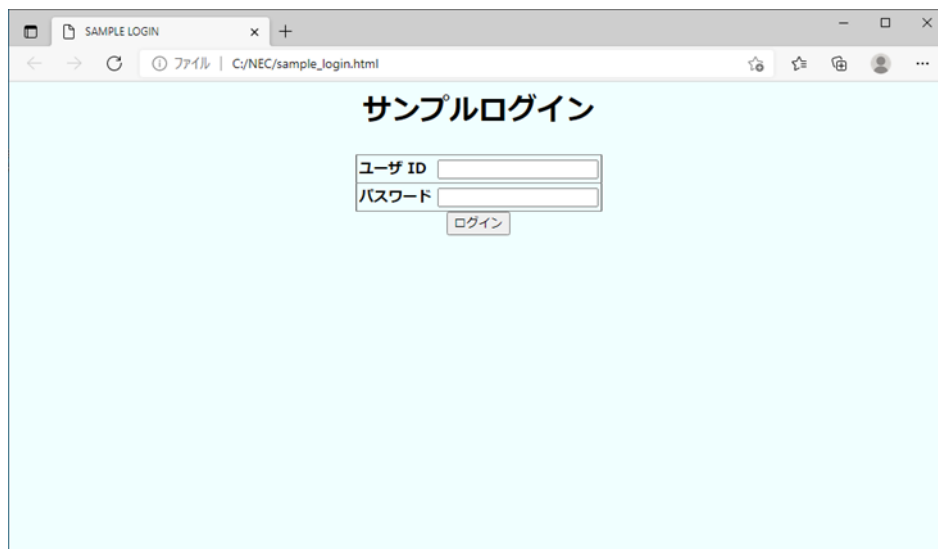
「認証失敗時の動作」の設定方法については、『NeoFace Monitor 運用管理マニュアル』の「6. 4. アプリログイン代行認証」をご参照ください。

8.6.2. 認証画面が複数画面の場合

同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]で複数認証画面が存在するアプリケーションにアプリログイン代行認証機能を利用する場合は、本章をご参照ください。

本章では、同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]のユーザ ID の入力画面とパスワードの入力画面が異なる Web アプリケーションを例として、説明します。

1. アプリログイン代行認証を実施する画面を表示させます。



2. 画面に半透明のパネルが表示され、そのパネルの前に NFM の顔認証画面が表示されます。



- ※ 認証方法が「認証無し（シングルサインオン）」に設定されている場合、顔認証画面は表示されません。
 - ※ 認証方法が「顔＋パスワード」に設定されている場合、表示されたパスワード画面に Windows パスワードを入力した後に、顔認証画面が表示されます。
3. 認証に成功すると、1 画面目の画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



4. 1画面目の画面情報の取得が完了しますと、1画面目の登録情報を入力し、2画面目に遷移します。



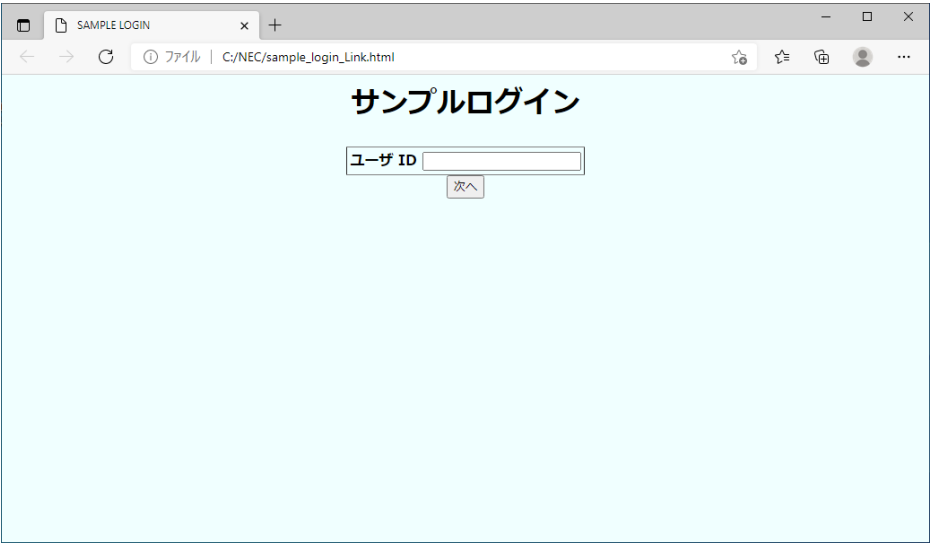
5. 2画面目が表示されると2画面目の画面情報の取得が行われます。
画面情報の取得中は以下の画面が表示されます。



6. 2画面目の画面情報の取得が完了しますと、2画面目の登録情報を入力し、アプリケーションへのログインが行われます。



7. 認証に失敗した場合は、ログイン前の画面が表示されます。



※ 認証失敗した場合は、アプリログイン代行認証や NFM 利用者情報の登録内容に間違いがないか確認をしてください。修正方法は、本書の「8. 9. 登録情報の変更」または、『NeoFace Monitor 運用管理マニュアル』の「6. 4. アプリログイン代行認証」をご参照ください。

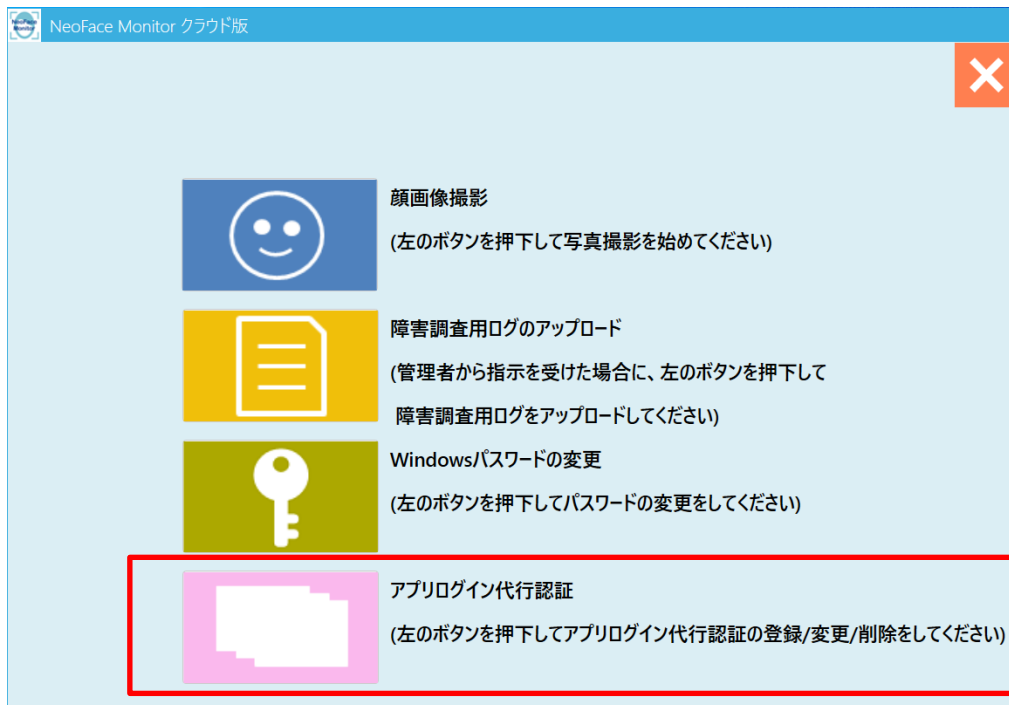
● 認証失敗時の動作について

設定	動作
アプリログイン画面表示	アプリケーションのログイン画面に戻ります。
再認証	アプリケーションのログイン画面を閉じます。 Edgeの場合は表示しているすべてのタブを閉じます。 認証を再度実行する場合は、アプリケーションのログイン画面を表示させてください。

8.7. 登録情報の参照

登録したアプリログイン代行認証情報は、下記の方法で確認可能です。

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
2. [アプリログイン代行認証]を押下します。



3. 参照したい登録情報を選択し、[詳細]ボタンを押下します。



※システム管理者が登録したアプリログイン代行認証情報は管理者にはチェックマークが付きます。管理者にチェックマークがある行を選択した場合、「詳細」、「削除」ボタンを選択することはできません。



4. 登録情報が表示されます。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名	app1		
	入力欄		パスワード対象
1.	00010005		☐
2.	●●●●●●●●		☒
3.			☐
4.			☐
5.			☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン : ログイン

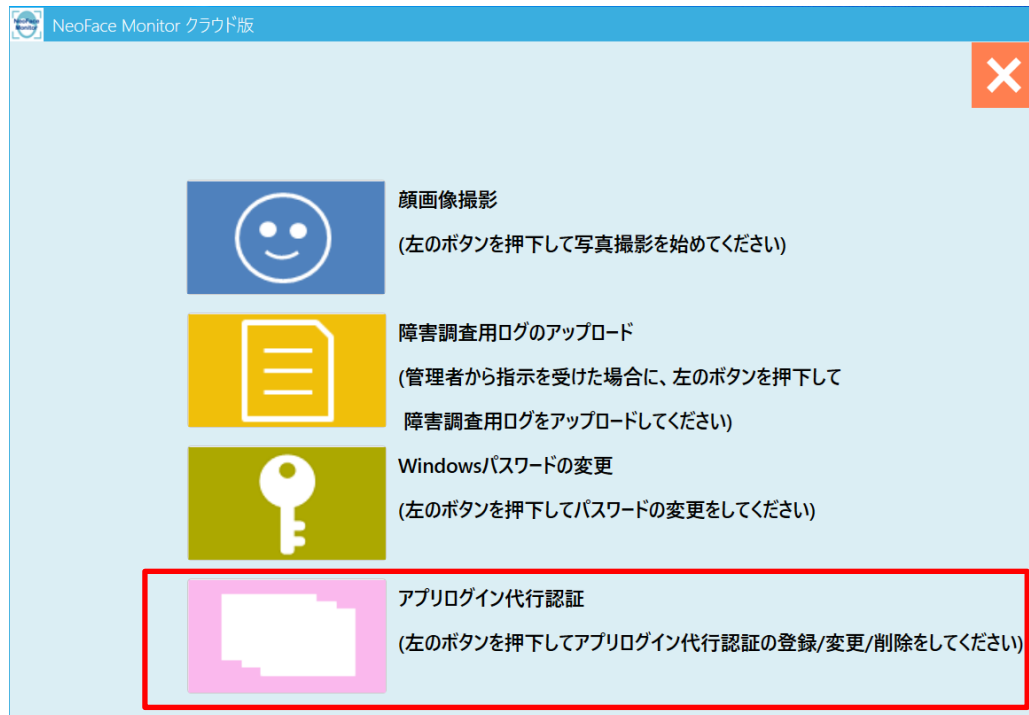
確定 キャンセル

登録情報の更新・削除が可能です。詳細は、本書の「8.8. 登録情報の削除」「8.9. 登録情報の変更」をご参照ください。

8.8. 登録情報の削除

登録したアプリログイン代行認証情報は、下記の方法で削除可能です。

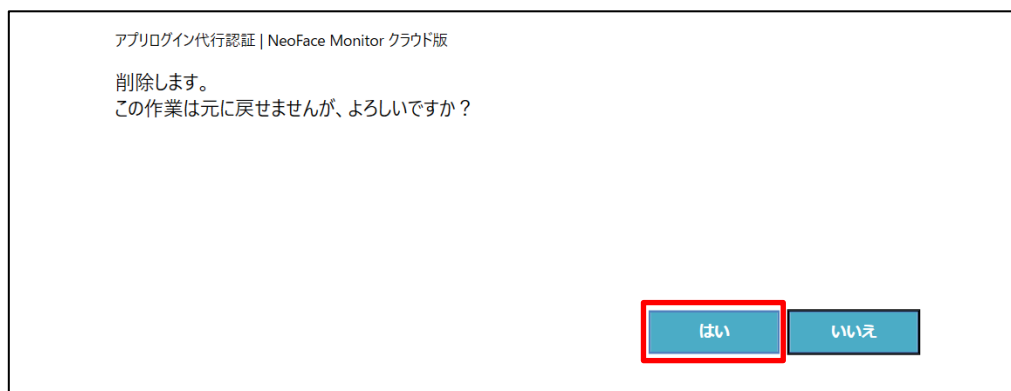
1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
2. [アプリログイン代行認証]を押下します。



3. 登録情報一覧が表示されます。
削除したい登録情報を選択し、[削除]ボタンを押下します。



4. 以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。



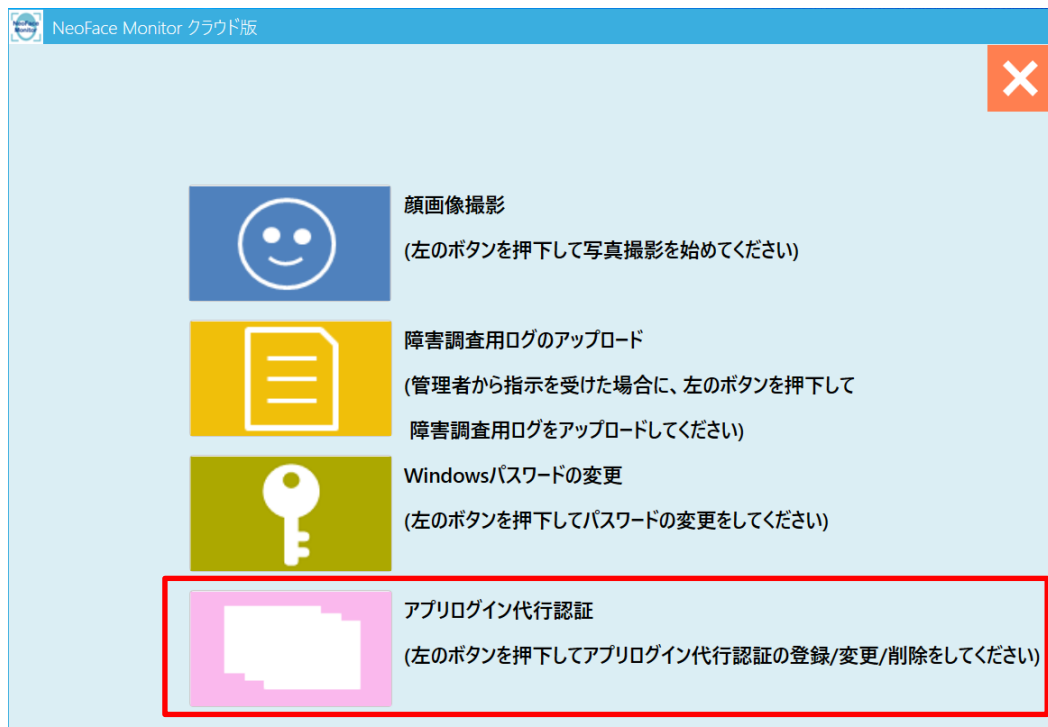
登録情報が削除されます。

8.9. 登録情報の変更

登録したアプリログイン代行認証情報は、下記の方法で更新可能です。

8.9.1. 登録画面が1画面の場合

1. [スタート]－[NEC]－[NeoFace Monitor]を押下して、NFM 管理ツールを起動します。
2. [アプリログイン代行認証]を押下します。



3. 登録情報一覧が表示されます。
更新したい登録情報を選択し、[詳細]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録情報一覧 | NeoFace Monitor クラウド版

利用者ID：01234567890123456789の登録情報一覧

管理者	登録名	アプリケーション名	タイトル/ダイアログ名
	SAMPLE LOGIN	msedge.exe	SAMPLE LOGIN

登録 詳細 削除 閉じる

4. 以下の[アプリログイン代行認証修正]画面が表示されますので、登録情報を修正し、[確定]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名 app1

入力欄

1. 00010005

2. ●●●●●●●●

3.

4.

5.

パスワード対象

☐

☒

☐

☐

☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン ログイン

確定 キャンセル

5. 以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証修正 | NeoFace Monitor クラウド版

対象のアプリに関する代行認証情報はすでに登録されています。
登録済みの情報を更新しますか？

登録情報が変更されます。

- キャンセルする場合

入力情報を破棄する場合は、[キャンセル]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名	app1	
	入力欄	パスワード対象
1.	00010005	☐
2.	●●●●●●●●	☒
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン

以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

この画面を閉じます。
よろしいですか？

はい

いいえ

入力情報が破棄され、登録情報の変更がキャンセルされます。



「パスワード対象」による伏字指定は解除することができません。「パスワード対象」を変更したい場合は登録情報の削除後、再度登録してください。入力欄の更新は伏字のまま更新可能です。

8.9.2. 登録画面が複数画面の場合

同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]で複数認証画面が存在するアプリケーションにアプリログイン代行認証機能を利用する場合は、本章をご参照ください。本章では、同一の[タイトル名]、[アプリケーション名]、[URL/ファイルパス]のユーザ ID の入力画面とパスワードの入力画面が異なる Web アプリケーションを例として、説明します。

手順 1～3 までは、「登録画面が 1 画面の場合」と同様の手順となりますので、本書の「登録画面が 1 画面の場合」をご参照ください。

4. 「登録画面が 1 画面の場合」の手順 1～3 と同様の手順を実施すると、以下の 1 画面目に対する[アプリログイン代行認証修正]画面が表示されますので、2 画面目の登録情報を修正する場合は、[次へ]ボタンを押下し手順 5 へ進んでください。1 画面目のみ登録情報を修正する場合は、[確定]ボタンを押下し、手順 6 へ進んでください。

次画面の登録情報が存在し、自動クリック設定にて、[しない]を選択した場合のその後の処理は以下の通りです。

- ・ [次へ]ボタンを押下した場合
エラーメッセージが表示され、次画面に対する[アプリログイン代行認証修正]画面に進むことはできません。
- ・ [確定]ボタンを押下した場合
エラーメッセージが表示され、登録情報の変更ができません。



5. 以下の2画面目に対する[アプリログイン代行認証修正]画面が表示されますので、登録情報を修正し、[確定]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス指定を行ってください。

登録名	app1	
	入力欄	パスワード対象
1.	●●●●●●●●	☒
2.		☐
3.		☐
4.		☐
5.		☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン button1

確定 キャンセル

6. 以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証修正 | NeoFace Monitor クラウド版

対象のアプリに関する代行認証情報はすでに登録されています。
登録済みの情報を更新しますか？

はい いいえ

登録情報が変更されます。

- キャンセルする場合

入力情報を破棄する場合は、[キャンセル]ボタンを押下します。

<1 画面目>

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名	app1		パスワード対象
1.	00010005		☐
2.			☐
3.			☐
4.			☐
5.			☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン button1

次へ 確定 キャンセル

<2 画面目>

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

代行入力したい画面に番号を表示しています。
番号に対応する入力欄に代行入力するテキスト文字を入力してください。
また、パスワードの入力項目には、「パスワード対象」のチェックボックス
指定を行ってください。

登録名	app1		パスワード対象
1.	●●●●●●●●		☒
2.			☐
3.			☐
4.			☐
5.			☐

代行入力後の自動クリック設定を行ってください。

自動クリック ☒ する ☐ しない

対象ボタン button1

確定 キャンセル



[キャンセル]ボタンを押下した場合、登録情報を修正済みの画面においても、入力情報は全て破棄され、登録情報の変更は実施されませんのでご注意ください。

以下のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押下します。

アプリログイン代行認証登録 | NeoFace Monitor クラウド版

この画面を閉じます。
よろしいですか？

はい

いいえ

入力情報が破棄され、登録情報の変更がキャンセルされます。



「パスワード対象」による伏字指定は解除することができません。「パスワード対象」を変更したい場合は登録情報の削除後、再度登録してください。入力欄の更新は伏字のまま更新可能です。

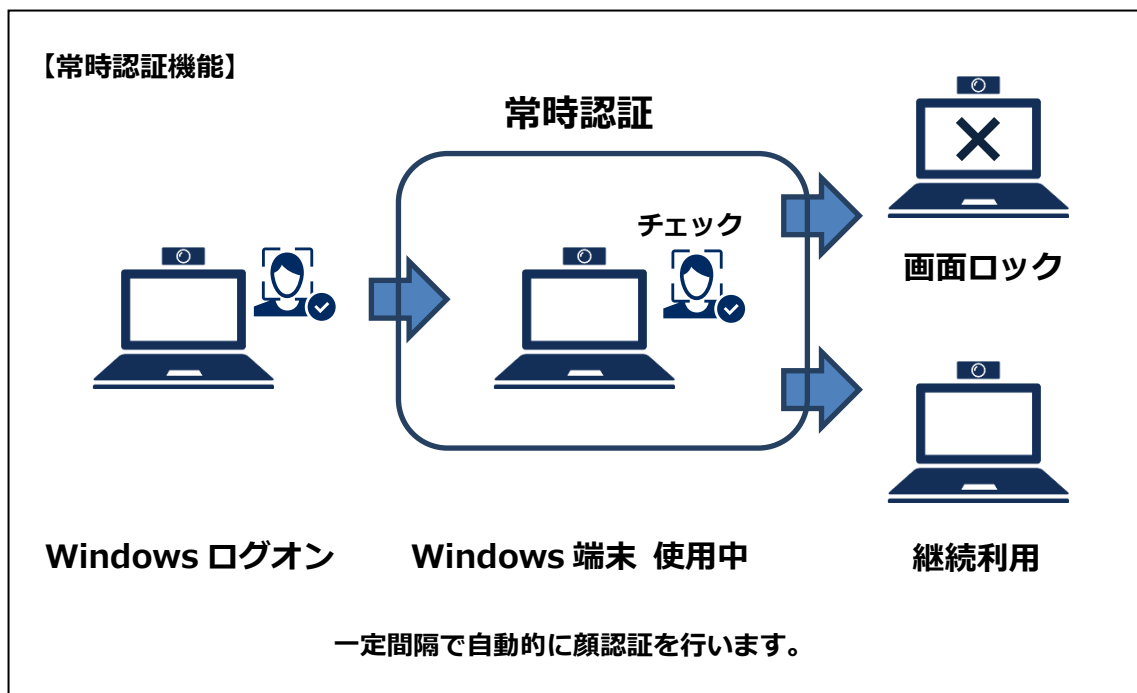
9. 常時認証機能

9.1. 常時認証機能について

管理ポータルでシステム管理者が常時認証を有効にしている場合、有効になる機能です。顔認証による Windows ログオン、画面ロック解除に加え、顔認証による常時認証機能を備えています。

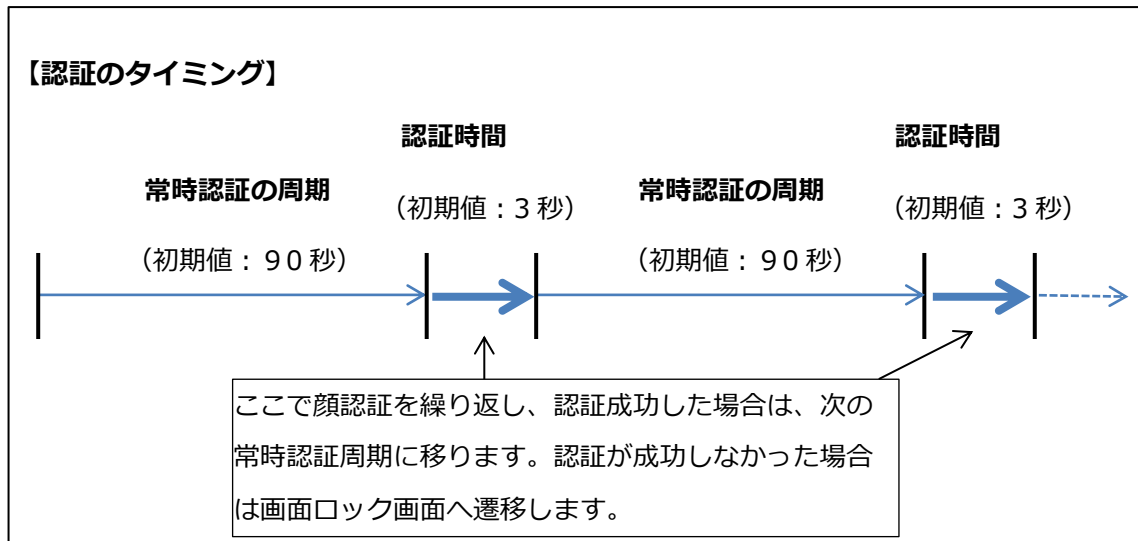
9.1.1. 常時認証とは

常時認証機能とは、Windows ログオン後、一定間隔で顔認証を行い、認証が成功しなかった場合にロック画面へ遷移させる機能です。



9.1.2. 認証のタイミング

認証は以下のタイミングで行います。



9.1.3. 常時認証の注意事項

- ・ 常時認証機能の実施有無は、下表のとおり顔認証によるログオン機能との組合せにより変わります。

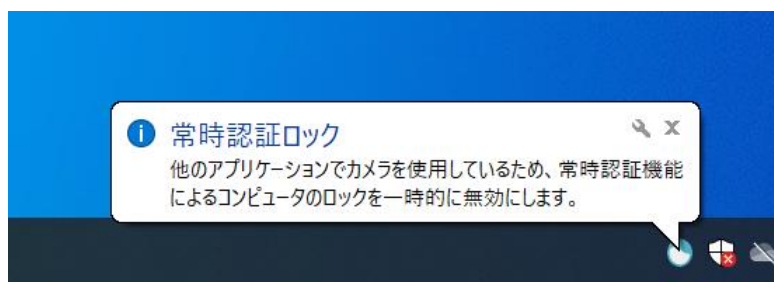
【常時認証機能の実施有無】

Windows ログオン認証	常時認証の実施
顔認証	○
パスワード認証	×
顔認証＋パスワード認証	○
パスワード認証（代替認証の場合）	×

- ・ 常時認証がカメラを使用している間は、他のアプリケーションがカメラを使用できません。
- ・ 常時認証中に複数人の顔が写った場合、そのうちに認証が通る NFM 利用者がいる場合でも、画面ロックがかかることがあります。
- ・ 他のアプリケーションがカメラを使用している間は、常時認証がカメラを使用できないため、常時認証による画面ロックを一時的に無効とします。
画面ロックの無効化開始時は、「認証結果：無効」の認証ログを記録します。

また、以下のタイミングで、ユーザーへメッセージを通知することが可能です。

- ・ 画面ロックの無効化を開始するとき（無効化開始時 1 回のみ）

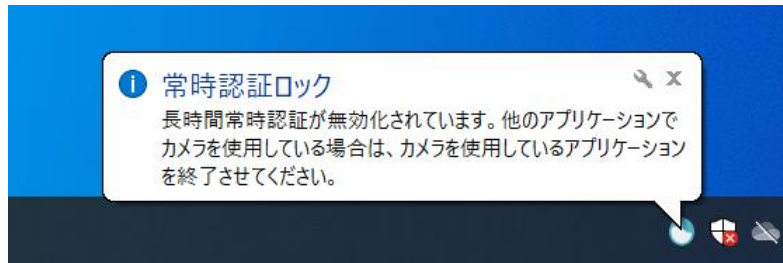


無効化開始時とは他のアプリケーションがカメラを使用しているときに、はじめて常時認証を行おうとしたときのことになります。



ユーザー切り替え後の Windows アカウントでは画面ロックの無効化は行われますが、メッセージの通知は行われません。

- ・画面ロックの無効化状態が3時間を超えたとき（3時間経過時1回のみ）



メッセージ通知を行うには、Windows 端末のローカルグループポリシー※¹を、以下のように設定してください。

＜ローカルグループポリシー＞

ユーザーの構成＞管理用テンプレート＞タスクバーと[スタート]メニューポリシー

- ・「バルーン通知をオフにする」：無効
- ・「トースト通知を無効にしてバルーン通知を使用する」：有効

※¹ ローカルグループポリシーの起動については、「12. Windows 10 でのご利用について」末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

9.2. 常時認証ポリシーの設定

常時認証ポリシーの設定は、システム管理者が管理ポータルにて行います。常時認証の有効、無効を含め設定内容についてはシステム管理者にお問い合わせください。

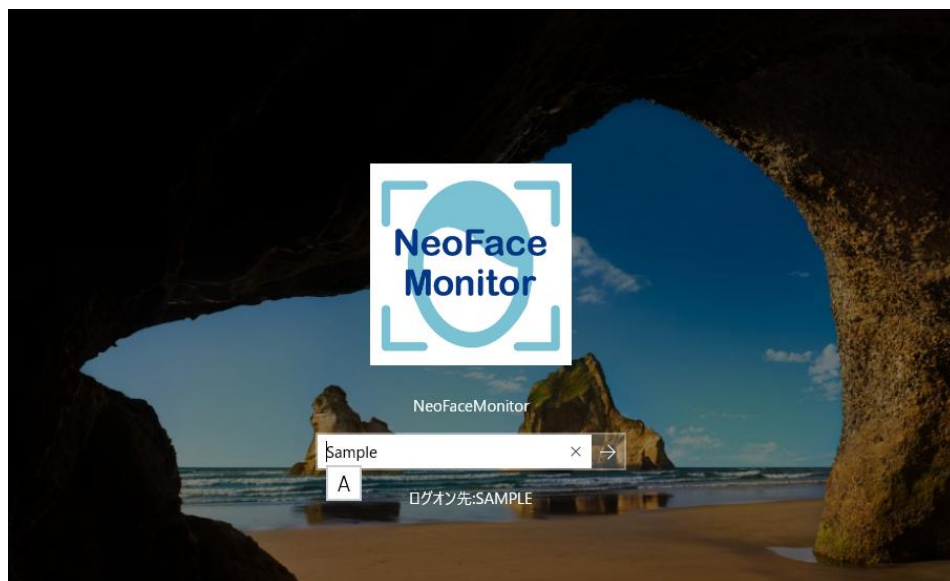
9.3. 常時認証機能を使用する

9.3.1. 常時認証機能の開始

1. 常時認証を行うには

- ・システム管理者が管理ポータルで常時認証を有効にしている。
- ・本書の「9.1.3. 常時認証の注意事項」の表【常時認証機能の実施有無】にて、
常時認証の実施が可能な認証方法で Windows ログオンを行う。

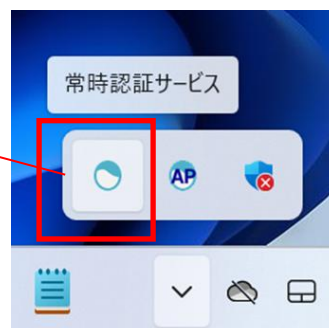
必要があります。



2. Windows の画面が表示され、常時認証が始まります。

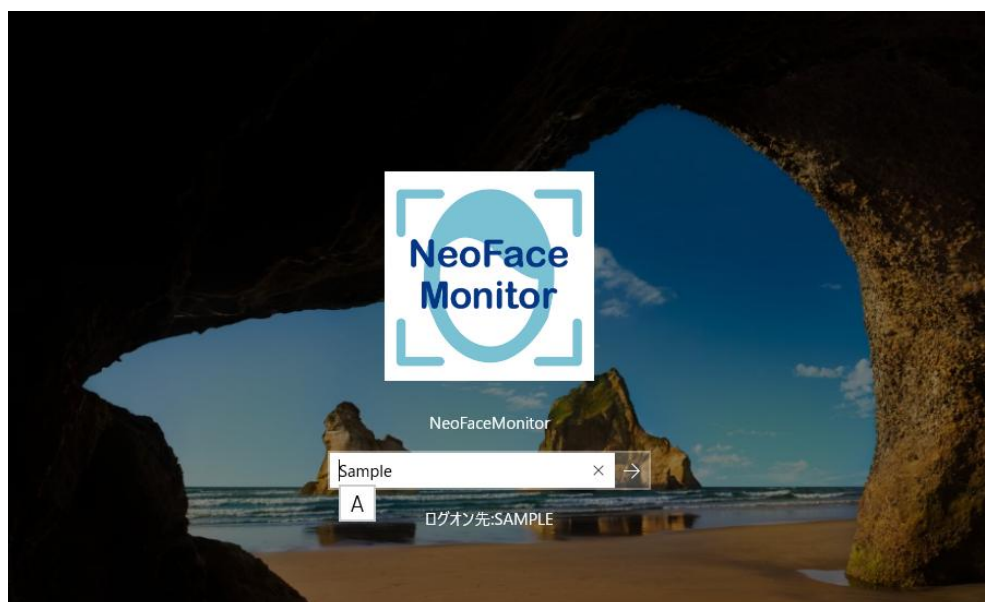
常時認証機能が起動中は画面右下のタスクバー内に NeoFace アイコンが表示されます。指定された周期の間隔で顔認証が行われます。認証が行われている間は画面上に変化はありません。

NeoFace アイコン
「常時認証サービス」



3. 認証時間内に顔認証が成功しなかった場合、ロック画面へ遷移します。

本書の「9. 1. 3. 常時認証の注意事項」の表【常時認証機能の実施有無】にて、常時認証の実施が可能な認証方法で、ロックを解除してください。



9.3.2. 常時認証機能の一時停止

OS ログオン後でも、常時認証の一時停止の操作が可能です。但し、一時停止操作は、システム管理者によって、管理ポータル「常時認証機能」が有効かつ「利用者に常時認証機能の一時停止を許可する」が有効になっている必要があります。

ここでは、OS ログオン後に手動で常時認証を一時停止する手順を説明します。

1. 常時認証を一時停止する場合は以下の操作を行います。

Windows 画面で、タスクバー内の「常時認証」アイコンを右クリックします。

2. メニューが表示されますので、[一時停止(180分)]を押下します。



管理ポータルの「利用者に常時認証機能の一時停止を許可する」が無効になっている場合、メニューの選択は行えません。



9.3.3. 手動での常時認証機能の再開

OS ログオン後でも、常時認証の開始の操作が可能です。但し、開始の操作は、システム管理者によって、管理ポータル「常時認証機能」が有効かつ「利用者に常時認証の一時停止を許可する」が有効になっている必要があります。

ここでは、OS ログオン後に手動で常時認証を開始する手順を説明します。

1. OS ログオン後の Windows 画面で画面右下のタスクバー内を開き、「常時認証」アイコンを右クリックします。
2. メニューが表示されますので、[再開]を押下すると、常時認証が開始されます。



10. パスワード再発行

管理ポータルへログインするパスワードを忘れてしまった場合、管理ポータルのログイン画面にて「パスワードを忘れた方はこちら」のリンクを押下し、本章の手続きを行うことで、パスワードの再発行が可能です。

10.1. パスワード再発行用メールアドレスの送信先入力

管理ポータルログイン画面の「パスワードを忘れた方はこちら」のリンクを押下すると、パスワード再発行用のダイアログが表示されます。必要な項目を入力し、[送信する]ボタンを押下してください。



NFM 利用者 ID : パスワード再発行する方のメールアドレス

10.2. パスワード再発行メール受信

パスワード再発行で入力した NFM 利用者 ID（メールアドレス）にメールが届きます。
記載されているパスワード変更 URL にアクセスしてください。

＜パスワード再発行した NFM 利用者＞

＜NFM 利用者名＞ 様

パスワードの再設定依頼を受け付けました。

以下の URL から新しいパスワードを設定してください。

<https://portal.neofacemonitor.com/XXXXX>

URL 押下で、パスワード変更画面へ遷移します。

10.3. パスワード再発行

再発行メールに記載された URL にアクセスすると、パスワード変更画面が表示されます。必要な項目を入力して[パスワード変更する]ボタンを押下してください。



The screenshot shows the 'NeoFace Monitor クラウド版 管理ポータル' (NeoFace Monitor Cloud Edition Management Portal) interface. A central modal window titled 'パスワード変更' (Change Password) contains the following fields and controls:

- NFM利用者ID**: portal-nfm@example.com
- 変更パスワード**: An empty text input field.
- 変更パスワード(再入力)**: An empty text input field.
- パスワードを変更する**: A dark blue button with a white key icon and text.

- ・ NFM 利用者 ID : パスワード変更対象の NFM 利用者 ID が表示されます。
- ・ 変更パスワード : 正式なパスワードに変更してください
- ・ 変更パスワード (再入力) : 確認用の入力

各項目について入力内容のチェックを行い、入力にエラーがあると以下のメッセージが表示されます。

項目名	入力値	エラーメッセージ
変更パスワード	空	変更パスワードが入力されていません。
	8 文字未満	変更パスワードは 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	変更パスワードの形式が正しくありません。
	現在のパスワードと同じ	現在のパスワードと変更パスワードは違うものにしてください。
変更パスワード (再入力)	空	変更パスワード（再入力）が入力されていません。
	8 文字未満	変更パスワード（再入力）は 8 文字以上で入力してください。
	256 文字以上	変更パスワード（再入力）の形式が正しくありません。
	変更パスワードと異なる	変更パスワードと再入力パスワードが一致していません。

パスワードが正常に変更されると、変更完了のダイアログが表示されます。

- ・ 一般ユーザーの場合、[クライアントソフトをダウンロード]ボタンが表示されます。
ボタンを押下すると NeoFace Monitor クラウド版クライアントソフトのダウンロードに進みます。
- ・ システム管理者の場合、[NFM 利用者一覧へ]ボタンが表示されます。
ボタンを押下すると NFM 利用者一覧画面に進みます。

パスワード変更完了ダイアログ画面（一般ユーザーの場合）



11. 認証情報のキャッシュ数の変更

管理ポータル、クライアント間で通信できないときでも認証ができるように認証情報をキャッシュすることが可能です。

NeoFace Monitor クラウド版の認証情報のキャッシュは Windows アカウントのキャッシュに同期します。

Windows アカウントのキャッシュ数の変更を行いたい場合は以下を実施してください。

■ Windows アカウントのキャッシュ数を Windows 端末で管理している場合

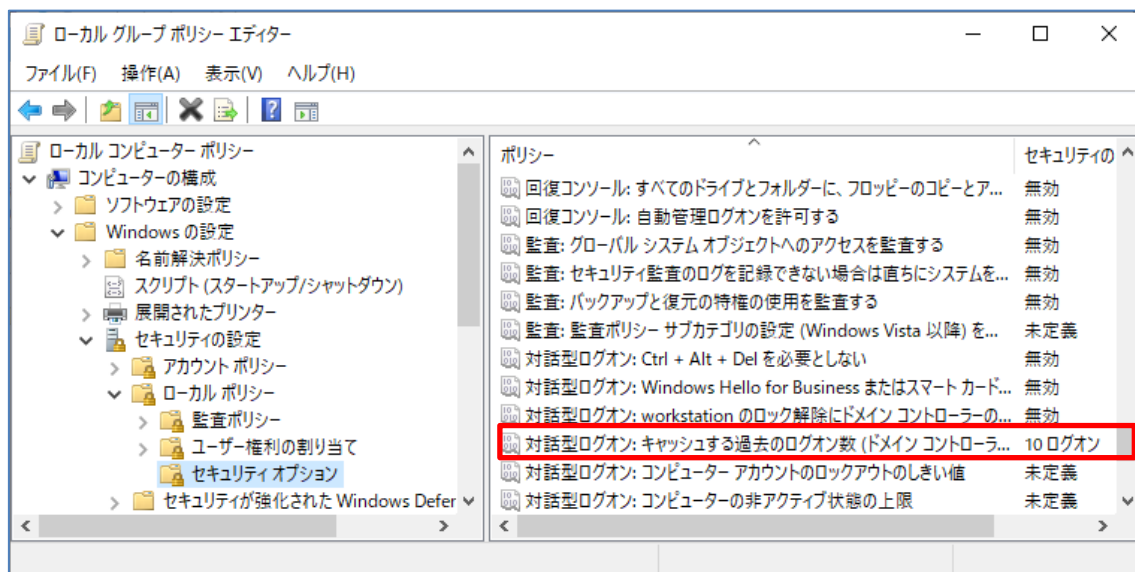
Windows 端末上のローカルグループポリシー※¹を設定します。

＜ローカルグループポリシー＞

コンピューターの構成＞Windows の設定＞セキュリティの設定＞ローカルポリシー＞セキュリティオプション

・「対話型ログオン: キャッシュする過去のログオン数 (ドメインコントローラーが使用できない場合)」: 有効にし、ログオン数を任意の数に変更

設定可能なキャッシュ数は 1～50 アカウントとなります。設定完了後、Windows 端末の再起動で設定が有効となります。



※¹ ローカルグループポリシーの起動については、「12. Windows 10 でのご利用について」末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

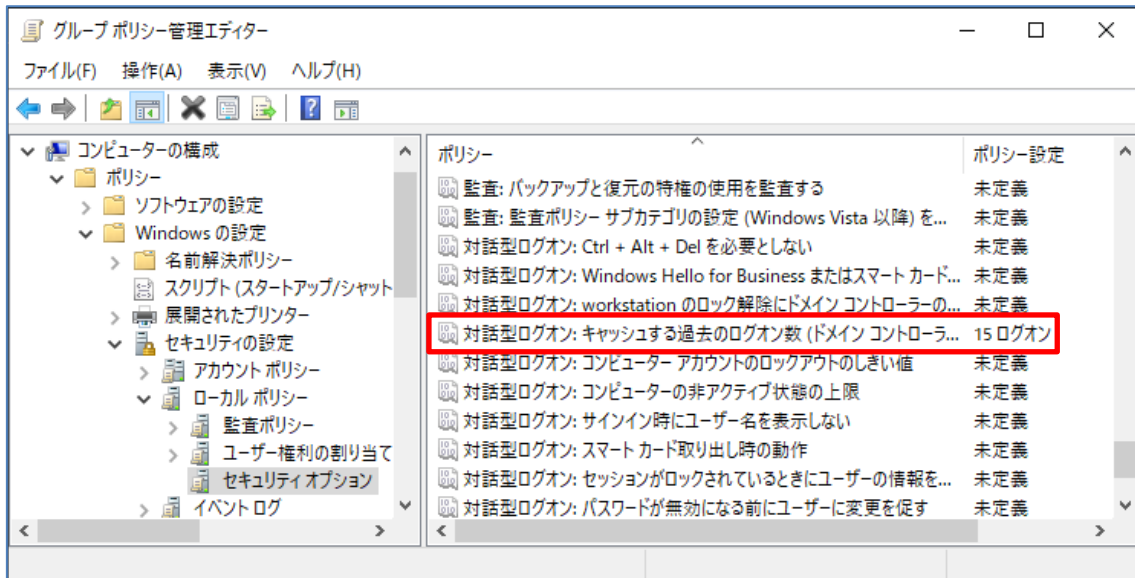
- Windows アカウントのキャッシュ数をドメインコントローラーで管理している場合
Active Directory 上のスタートメニューから [Windows 管理ツール] - [グループポリシーの管理] を起動します。任意のグループポリシーを右クリックし、[編集] を押下します。表示された「グループポリシー管理エディター」から以下を設定します。なお、本設定は、Active Directory ドメインの管理者にて行うことが可能です。

＜グループポリシー管理＞

コンピューターの構成＞ポリシー＞Windows の設定＞セキュリティの設定＞ローカルポリシー＞セキュリティオプション

- ・「対話型ログオン: キャッシュする過去のログオン数 (ドメインコントローラーが使用できない場合)」: 有効にし、ログオン数を任意の数に変更

設定可能なキャッシュ数は 1～50 アカウトとなります。設定完了後、Windows 端末の再起動で設定が有効となります。



12. Windows 10 でのご利用について

- Windows 10 における旧 OS からの仕様変更
Windows 10 での OS 仕様変更に伴い、NeoFace Monitor クラウド版動作の一部が、Windows 8.1 以前の OS から変更となります。

項番	内容	回避/緩和方法
1	タブレットモードで利用している場合、通知領域の表示が実施されないため、常時認証サービスのアイコンがタスクトレイに表示されません。	タスクバーを右クリックし、「すべての通知アイコンを表示 (N)」を押下することで、常時認証サービスのアイコンが表示されます。
2	バッテリー節約モードを有効にしていると、バッテリー残量が少ない状態（バッテリー節約モードが動作する状態）で OS を起動した場合、Windows ログオンに時間がかかるようになります。 その場合には Windows 端末で右記のいずれかの設定を変更することで、改善することが可能です。	①バッテリー節約モードを無効にする方法 バッテリー節約機能の下記チェックボックスのチェックを外し、バッテリー節約機能を無効化します。 ・バッテリー残量が次の数値を下回ったときにバッテリー節約機能を自動的にオンにする バッテリー節約機能の設定画面の表示方法については下記をご参照ください。 https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/%E3%83%90%E3%83%83%E3%83%86%E3%83%AA%E3%83%BC%E7%AF%80%E7%B4%84%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8Bwindows-a850d64d-ee8e-c8d2-6c75-8ffe6ea3ea99#Category=Windows_10 バッテリーを長持ちさせるその他の方法 ②ローカルグループポリシーおよびタスクスケジューラの設定を変更する方法 ローカルグループポリシー※¹の「コンピューターの構成>Windows の設定>スクリプト（スタートアップ/シャットダウン）>スタートアップ」に、以下のコマンドを追加します。 ・スクリプト名：

※¹ ローカルグループポリシーの起動については、本章末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

		"%SystemRoot%\system32\wscript.exe" ・ スクリプトのパラメータ : "%ProgramFiles%\NEC\NeoFaceMonitor\application\BioAuthenSv.vbs" タスクスケジューラを起動し、以下のタスクを無効化します。 ・ NEC Biometrics OnStart Task タスクスケジューラは、「ファイル名を指定して実行」から「Taskschd.msc」と入力することで起動可能です。タスクスケジューラの登録手順は、Microsoft 社が公開しているマニュアル類をご参照ください。
--	--	--

● Windows 10 におけるログオン画面一部機能の非サポート

Windows 10 のログオン画面が有する一部機能は、NeoFace Monitor クラウド版製品機能の実現のため、または Microsoft 社から実装方法が公開されないなどの理由により、非サポートとなります。

項番	内容	回避/緩和方法
1	ログオン画面にて画面左下に表示される「簡易ユーザー切り替えメニュー」から、ログオン先を切替えることはできません。	ログオン先を切替える場合は、ログオン画面の「Windows アカウント」入力欄に、対象 Windows アカウントを入力して認証を行ってください。
2	Windows ログオン後のスタートメニューに表示される「簡易ユーザー切り替えメニュー」から、対象 Windows アカウントへのログオン画面へ遷移することはできません。	・ Windows アカウントを切替える場合は、「簡易ユーザー切り替えメニュー」選択後に表示されたログオン画面の「Windows アカウント」入力欄に、対象 Windows アカウント名を入力して認証を行ってください。 ・ 「簡易ユーザー切り替えメニュー」が不要な場合は、ローカルグループポリシー※¹で「ユーザーの簡易切り替えのエントリポイントを非表示にする」ことで、Windows ログオン後のスタートメニューに「簡易ユーザー切り替えメニュー」を表示させないようにすることが可能です。
3	NeoFace Monitor クラウド版は Windows Hello との併用はできません。	NeoFace Monitor クラウド版は他の Windows ログオンソフトウェア／機能との併用はできません。NeoFace Monitor クラウド版をご利用される場合は、Windows Hello は設定しないようにしてください。

※¹ ローカルグループポリシーの起動については、本章末尾の「※ローカルグループポリシーの起動方法」をご参照ください。

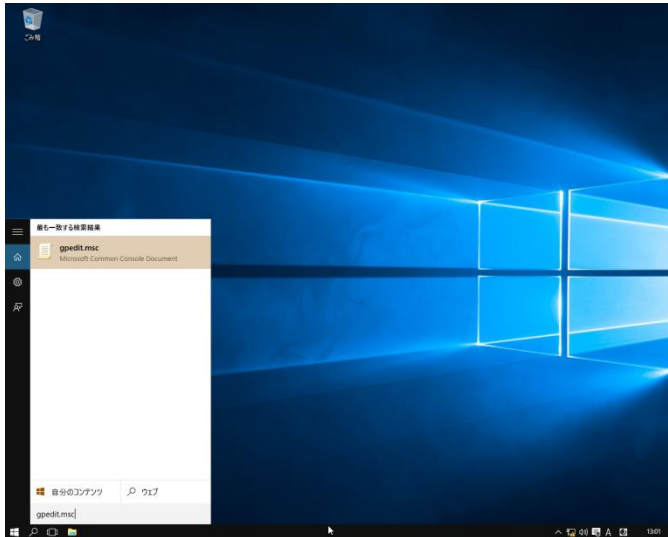
- Windows 10 における既知の事象

Windows 10 でのご利用において、以下の事象が確認されています。

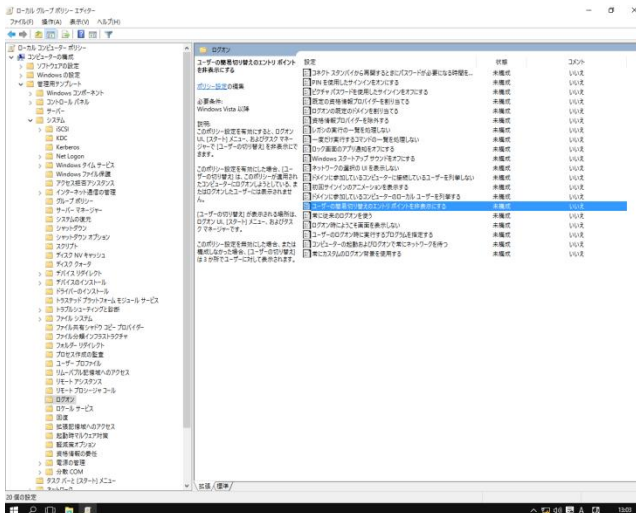
項番	内容	回避/緩和方法
1	Windows 10 Version2004 へのアップデートの途中で「Sentinel key not found」のエラーが複数回表示される場合があります。 この間、常時認証機能は正しく機能しない可能性があります。	エラーダイアログが表示されても、そのまま OS アップデートは継続され正しくアップデートが行われます。 なお、エラーダイアログの[OK]ボタンの押下の有無はアップデートに影響ございません。

※ローカルグループポリシーの起動方法(Windows 10 の場合)

1. 「Web と Windows を検索」(画面左下の虫眼鏡マーク)を押下し、「gpedit.msc」と入力して「Enter」キーを押下します。



2. 「ローカルグループポリシーエディター」が起動します。変更したい設定か所を編集します。各設定の変更方法詳細についてはMicrosoft 社の情報をご参照ください。



3. 編集したローカルグループポリシーを反映するため、OS を再起動します。

以上で、ローカルグループポリシーの変更は完了となります。

13. トラブルシューティング

13.1. クライアントソフトのアップデートに失敗

エラーによりアップデートに失敗した場合の対処法について説明しています。

Q アップデートインストーラを実行したが、バージョンが更新後のバージョンではない。

A 以下手順を実行し、前バージョンに切り戻したうえで、再度アップデートインストーラを実行してください。もし以下手順の実行が困難な場合、または実施してもうまくいかなかった場合は、システム管理者経由で製品の PP サポートサービス窓口へお問い合わせください。

1. エクスプローラで「C:\Program Files\NEC\NeoFaceMonitor\Application」を開きます。
2. ファイル名にバージョンの記載のあるファイルを確認します。

・<モジュール名>_<バージョン>.<拡張子>

【例】

BioAuthenCl_1.1.0.1000.dll

BioAuthenSv_1.1.0.0000.exe

BioAuthenSv_1.1.0.1000.exe



<バージョン>には、「1.1.0.0000」、「1.1.0.1000」の記載があります。

3. 手順 2. で確認したファイルの<バージョン>記載されていないファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、下記に沿ってすべてリネームします。

・<モジュール名>.<拡張子> → <モジュール名>_old.<拡張子>

【例】

BioAuthenCl.dll → BioAuthenCl_old.dll

BioAuthenSv.exe → BioAuthenSv_old.exe

4. <バージョン>記載のある各種ファイルにおいて更新前のバージョンのファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、下記に沿ってリネームします。

・<モジュール名>_<バージョン>.<拡張子> → <モジュール名>.<拡張子>

【例】

更新前のバージョン : 1. 1. 0. 0000

BioAuthenCl_1. 1. 0. 0000. dll → BioAuthenCl. dll

BioAuthenSv_1. 1. 0. 0000. exe → BioAuthenSv. exe

BioAuthenSv_1. 1. 0. 1000. exe → そのまま



<バージョン>は以下の順番で古いバージョンとなります。

「1. 1. 0. 0000」 → 「1. 1. 0. 1000」



更新前のバージョンは「6. 2. クライアントソフトの手動アップデート手順」の手順4. でメモしたバージョンとなります。

5. エクスプローラで「C:\Windows\System32」を開きます。
6. 以下のファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、例に沿ってリネームします。

・ NF-BSP-SC. dll

・ NF-BSP-TL. dll

【例】

NF-BSP-SC. dll → NF-BSP-SC_old. dll

NF-BSP-TL. dll → NF-BSP-TL_old. dll

※本フォルダでは上記ファイルのみリネームします。

7. <バージョン>記載のある各種ファイルにおいて更新前のバージョンのファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、下記に沿ってリネームします。

<モジュール名>_<バージョン>.dll → <モジュール名>.dll

【例】

NF-BSP-SC_1.1.0.0000.dll → NF-BSP-SC.dll

NF-BSP-TL_1.1.0.0000.dll → NF-BSP-TL.dll

NF-BSP-TL_1.1.0.1000.dll → 変更なし



<バージョン>は以下の順番で古いバージョンとなります。

「1.1.0.0000」 → 「1.1.0.1000」



更新前のバージョン「6.2. クライアントソフトの手動アップデート手順」の手順4.でメモしたバージョンとなります。

8. エクスプローラで「C:\ProgramData\NEC\NeoFaceMonitor\DataBase\SQLITE」を開きます。
9. 以下のファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、例に沿ってリネームします。

・ BioDataBase.db

【例】

BioDataBase.db → BioDataBase_old.db

※本フォルダでは上記ファイルのみリネームします。

10. <バージョン>記載のある各種ファイルにおいて更新前のバージョンのファイルを右クリックし、[名前を変更する]を押下して、下記に沿ってリネームします。

<モジュール名>_<バージョン>.db → <モジュール名>.db

【例】

BioDataBase_1.3.0.0000.db → BioDataBase.db



<バージョン>は以下の順番で古いバージョンとなります。
「1.1.0.0000」 → 「1.1.0.1000」



更新前のバージョン「6.2.クライアントソフトの手動アップデート手順」の手順4.でメモしたバージョンとなります。

11. クライアント PC を再起動します。
12. エクスプローラで「C:¥Program Files¥NEC¥NeoFaceMonitor¥Application」を開きます。
13. 手順 3.にてリネーム後の以下のファイルと<バージョン>記載のあるファイルをすべて削除します。

【例】

BioAuthenCl_old.dll
BioAuthenSv_old.exe
BioAuthenSv_1.1.0.1000.exe

14. エクスプローラで「C:¥Windows¥System32」を開きます。

15. 手順 6. にてリネーム後の以下のファイルと〈バージョン〉記載のあるファイルを削除します。

【例】

NF-BSP-SC_old.dll

NF-BSP-TL_old.dll

NF-BSP-TL_1.1.0.1000.dll

16. エクスプローラで「C:\ProgramData\NEC\NeoFaceMonitor\DataBase\SQLITE」を開きます。

17. 手順 9. にてリネーム後の以下のファイルと〈バージョン〉記載のあるファイルを削除します。

【例】

BioDataBase_old.db

切り戻し手順は以上です。

付録 1. Entra ID 登録の設定

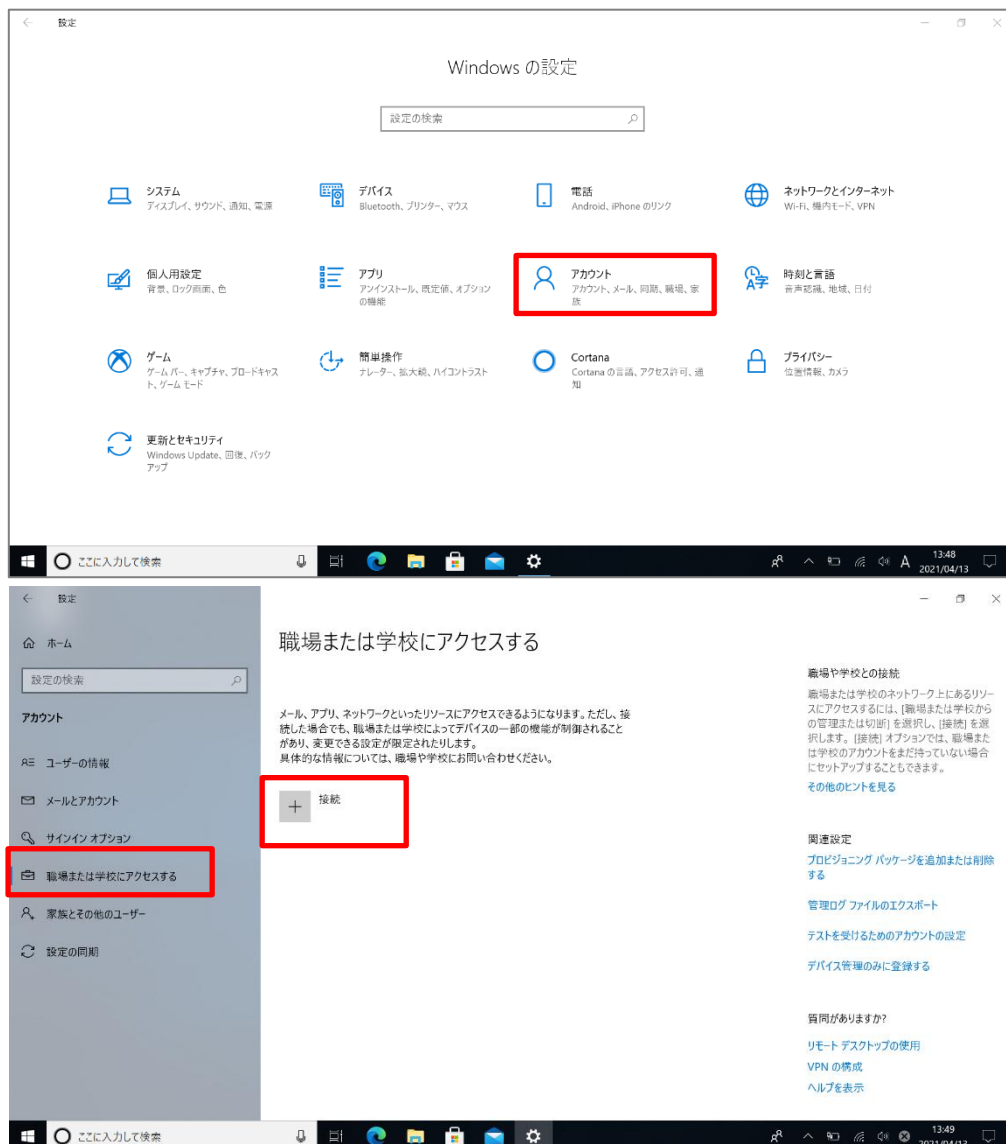
Microsoft 365 は、Entra ID 登録を設定することで SSO（シングルサインオン）を実現します。



Entra ID のセキュリティ設定により以下の入力求められることがあります。

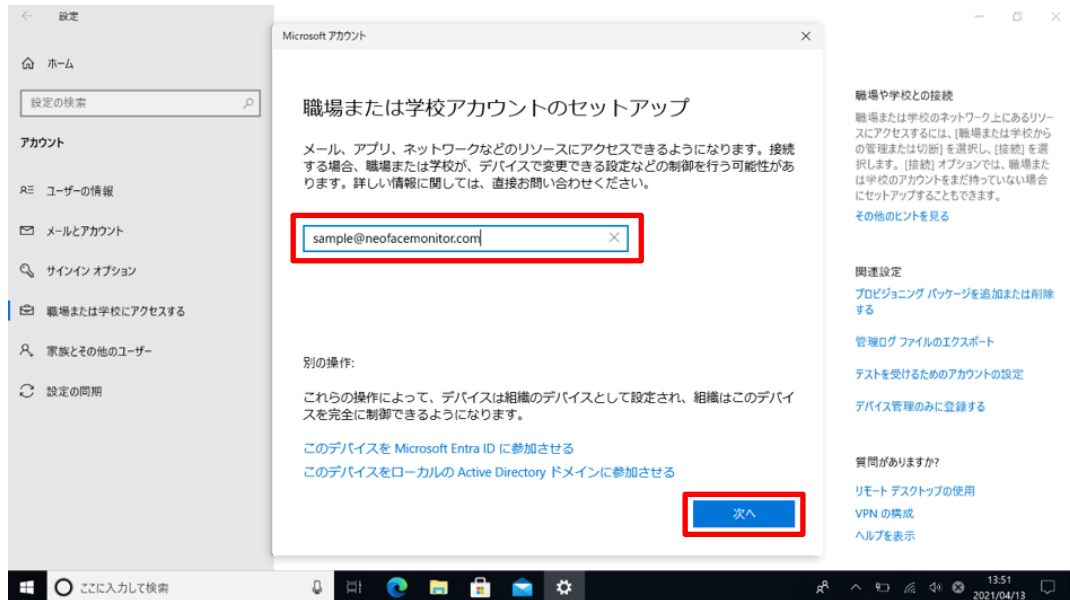
- ・ 2 要素認証のセットアップ
- ・ 生体認証/PIN のセットアップ

1. [Windows の設定]－[アカウント]－[職場または学校にアクセスする]－[接続]を順に押下します。



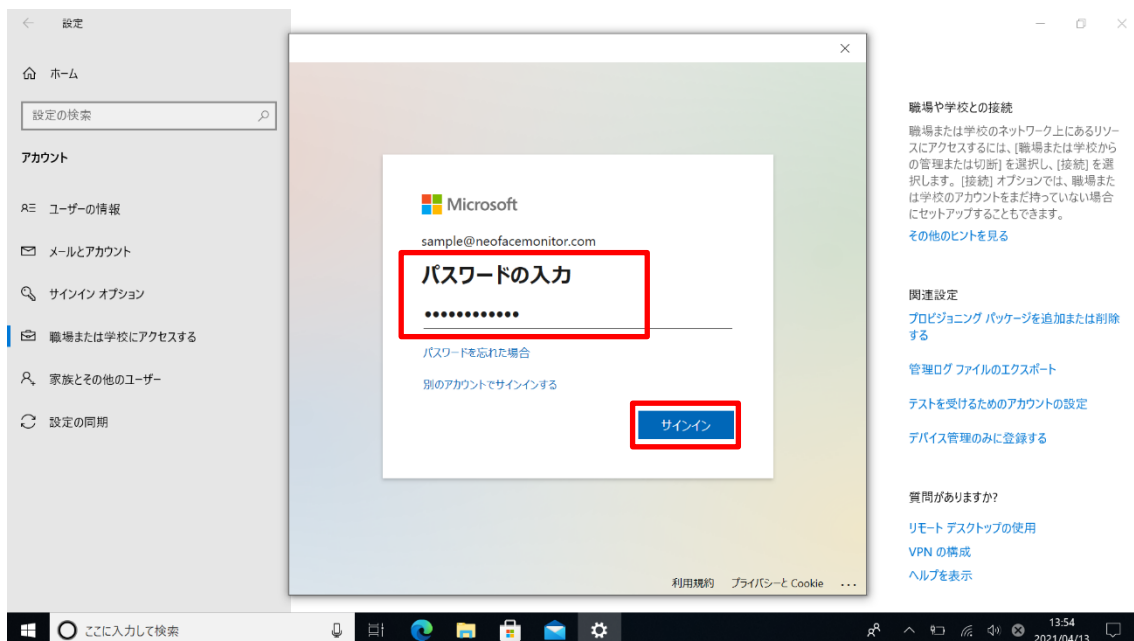
2. セットアップ画面が表示されます。

Microsoft 365 のメールアドレスを入力し、[次へ]を押下します。

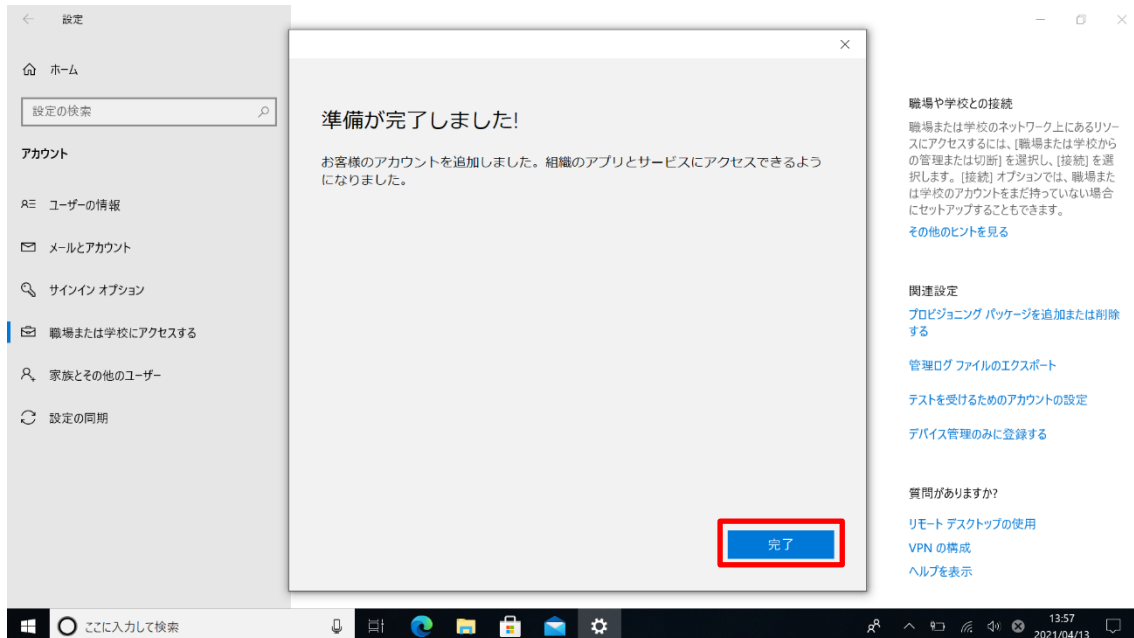


3. パスワード入力画面が表示されます。

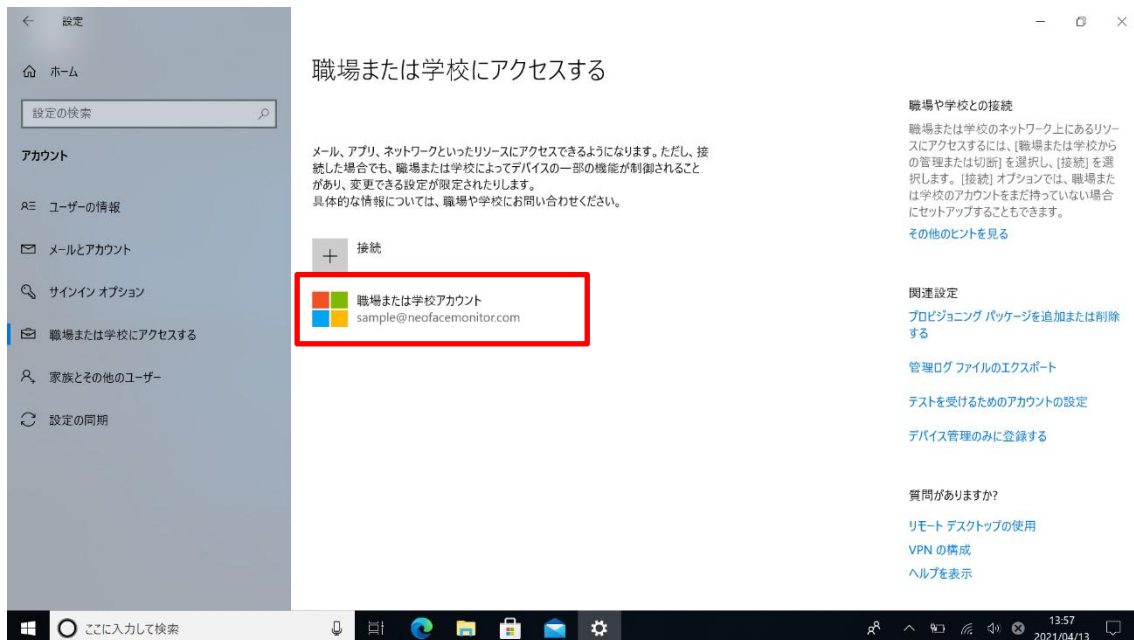
前述 2. で入力したメールアドレスのパスワードを入力し、
[サインイン]を押下します。



4. 以下のメッセージが表示されますので、[完了]を押下します。



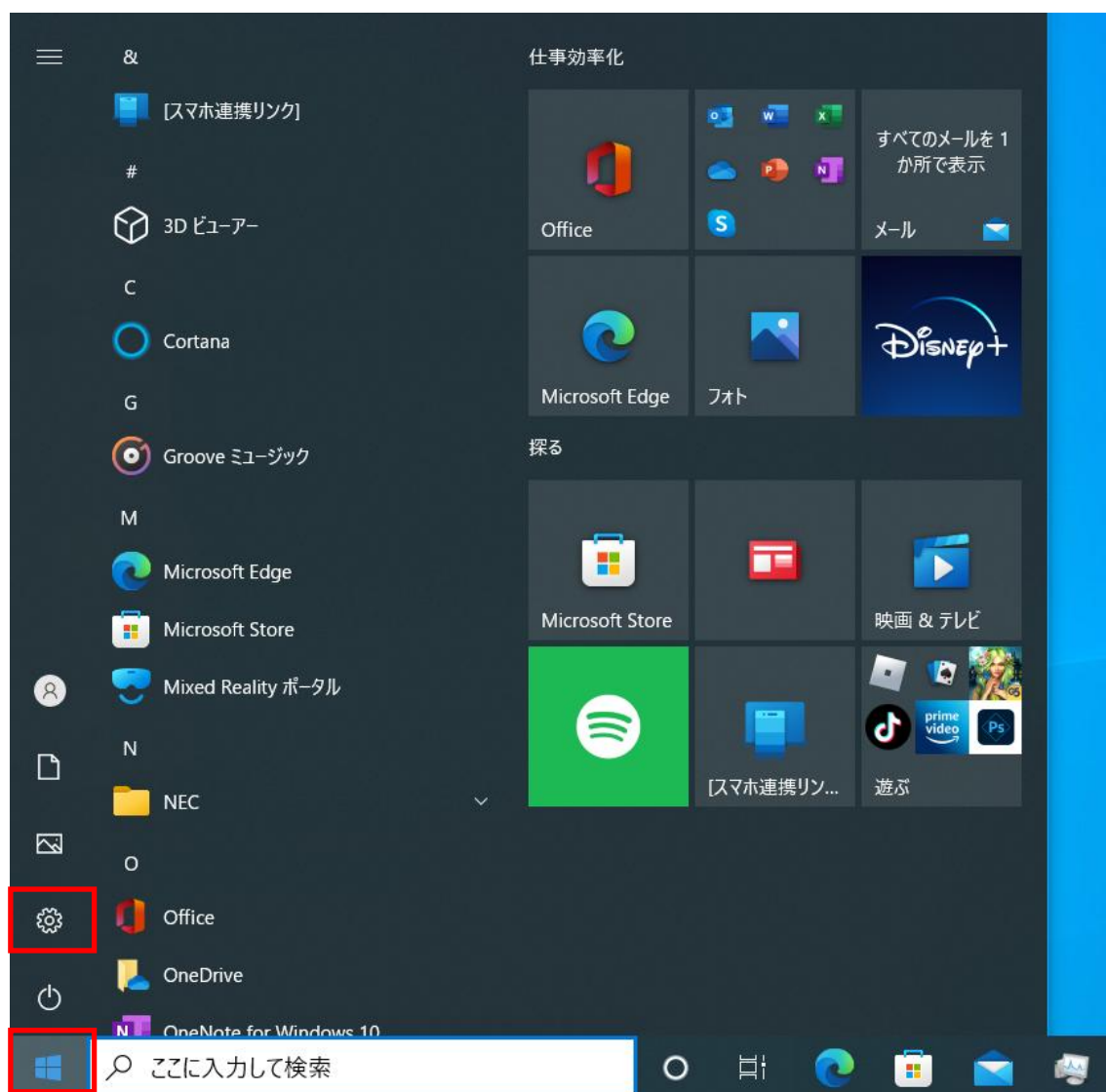
5. アカウント設定画面に登録した設定が表示されたら設定は終了です。



付録 2. NFM クラウド版クライアントのバージョン確認

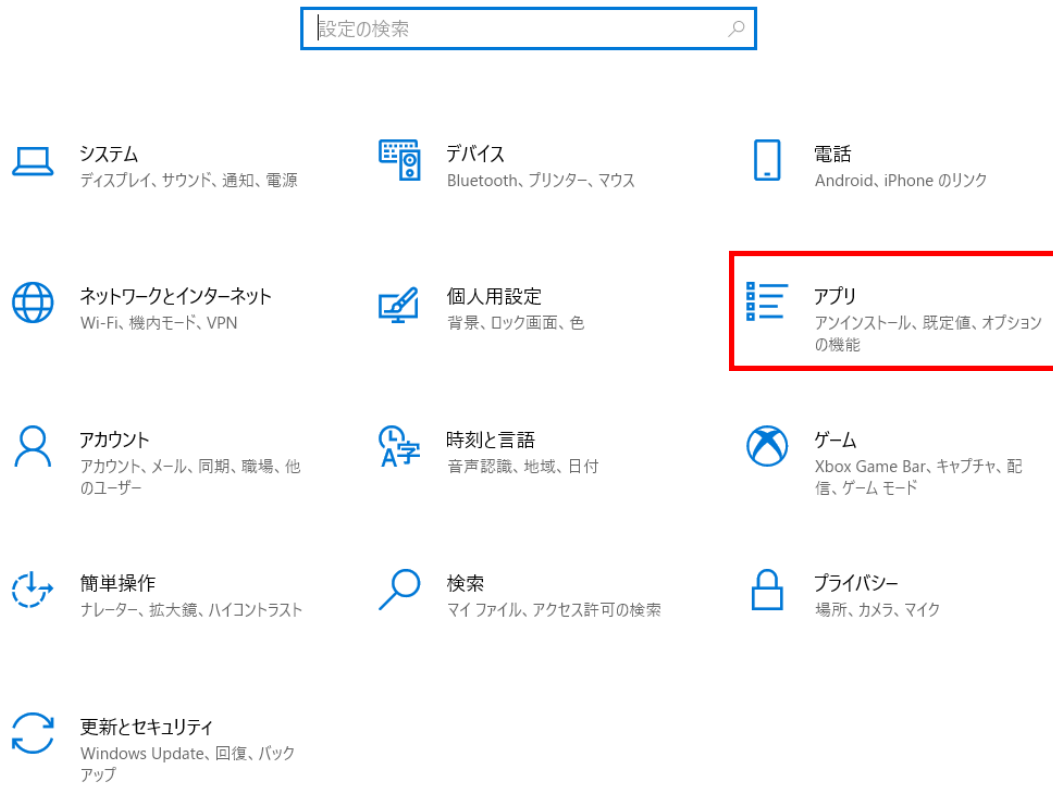
1. Windows 10

- ① [スタート]—[設定]を押下して「Windows の設定」を起動します。



- ② [アプリ]を押下します。

Windows の設定



- ③ 検索ボックスに「NeoFace Monitor」と入力します。



手順は以上です。

2. Windows 11

- ① [スタート]－[設定]を押下して「Windows の設定」を起動します。



② [アプリ]-[アプリと機能]を押下します。



- ③ 検索ボックスに「NeoFace Monitor」と入力します。



手順は以上です。

付録 3. ライセンス

本ソフトウェアでは、下記のライセンスソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。ライセンス規約の原文については次のページから続きます。

- Intel 社製 Open Source Computer Vision Library (OpenCV)
- BioAPI Consortium の BioAPI フレームワークのモジュール
- OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア
- Boost Software License のもとでリリースされている
POCO C++ Libraries のモジュール
- Google 社によって開発されている Protocol Buffer
- MIT License のもとでリリースされている、MahApps.Metro
- Microsoft Public License のもとでリリースされている、MahApps.Metro、
avaloncontrolslibrary、callisto、および Silverlight Toolkit
- Code Project Open License のもとでリリースされている Simple Metro Style Panorama
Control for WPF
- libpng License のもとでリリースされている libpng
- Independent JPEG Group のもとでリリースされている libjpeg
- 日本電気株式会社製 NeoFace-V
- Twitter 社で開発された bootstrap は CSS で開発するための Web フレームワークです。
- jQuery は jQuery チーム で開発された JavaScript ライブラリです。
- clmtrackr は、the MUCT database のもとで開発された、画像や動画の顔の位置を検出する
JS ライブラリです。
- idb-keyval はキーでインデックス付けされたオブジェクトを保存および取得するライ
ブラリです。
- face-api.js 顔を検出・認識するための JavaScript API です。

■ Intel 社製 Open Source Computer Vision Library (OpenCV)

本ソフトウェアでは、Intel 社製 Open Source Computer Vision Library (OpenCV) を利用しています。OpenCV のライセンス規約は以下のとおりです。

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license.

If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement
For Open Source Computer Vision Library
(3-clause BSD License)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- • Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- • Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- • Neither the names of the copyright holders nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors “as is” and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall copyright holders or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential

damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

--

■ BioAPI Consortium

本ソフトウェアでは、BioAPI Consortium のBioAPI フレームワークのモジュールを使用しております。BioAPI Consortium のライセンス規約は以下のとおりです。

IMPORTANT: READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING. By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Copyright (c) 2000, BioAPI Consortium

All rights reserved.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ OpenSSL

本ソフトウェアでは、OpenSSL Toolkit で使用するためにOpenSSL Project によって開発されたソフトウェアを含みます。OpenSSL のライセンス条件は以下のとおりです。

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts.

OpenSSL License

```
/* =====
 * Copyright (c) 1998-2019 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 * the documentation and/or other materials provided with the
 * distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 * software must display the following acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 * endorse or promote products derived from this software without
```

```

*   prior written permission. For written permission, please contact
*   openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
*   nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*   permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*   acknowledgment:
*   "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*   for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* =====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License
-----

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*

```

```

* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given
attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the
library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof)
from
* the apps directory (application code) you must include an
acknowledgement:

```

```

* "This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY
WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version
or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply
be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

```

■ Boost Software License

本ソフトウェアでは、Boost Software License のもとでリリースされているPOCO C++ Libraries のモジュールを使用しています。Boost Software License の規約は以下のとおりです。

Boost Software License – Version 1.0 – August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the “Software”) to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Note:

Individual files contain the following tag instead of the full license text.

SPDX-License-Identifier: BSL-1.0

This enables machine processing of license information based on the SPDX License Identifiers that are here available: <http://spdx.org/licenses/>

■ New BSD License

本ソフトウェアでは、Google 社によって開発されている、Protocol Buffer を使用しています。New BSD License の規約は、以下のとおりです。

The BSD 3-Clause License

The following is a BSD 3-Clause ("BSD New" or "BSD Simplified") license template. To generate your own license, change the values of OWNER, ORGANIZATION and YEAR from their original values as given here, and substitute your own.

Note: You may omit clause 3 and still be OSD-conformant. Despite its colloquial name "BSD New", this is not the newest version of the BSD license; it was followed by the even newer BSD-2-Clause version, sometimes known as the "Simplified BSD License". On January 9th, 2008 the OSI Board approved BSD-2-Clause, which is used by FreeBSD and others. It omits the final "no-endorsement" clause and is thus roughly equivalent to the MIT License.

Historical Background: The original license used on BSD Unix had four clauses. The advertising clause (the third of four clauses) required you to acknowledge use of U.C. Berkeley code in your advertising of any product using that code. It was officially rescinded by the Director of the Office of Technology Licensing of the University of California on July 22nd, 1999. He states that clause 3 is "hereby deleted in its entirety." The four clause license has not been approved by OSI. The license below does not contain the advertising clause.

This prelude is not part of the license.

<OWNER> = Regents of the University of California

<ORGANIZATION> = University of California, Berkeley

<YEAR> = 1998

In the original BSD license, both occurrences of the phrase "COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS" in the disclaimer read "REGENTS AND CONTRIBUTORS".

Here is the license template:

Copyright (c) <YEAR>, <OWNER>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list

of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

本ソフトウェアでは、MIT License のもとでリリースされている、MahApps.Metro を使用しています。MIT License のライセンス条項は以下の通りです。

MIT License (MIT)

Copyright (c) 2016 MahApps

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ Microsoft Public License

本ソフトウェアでは、Microsoft Public License のもとでリリースされている、MahApps.Metro、avaloncontrolslibrary、callisto、およびSilverlight Toolkitを使用しています。Microsoft Public License のライセンス条項は以下のとおりです。

Microsoft Public License (Ms-PL)

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

1. Definitions

The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software.

A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license.

"Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

2. Grant of Rights

(A) Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.

(B) Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

3. Conditions and Limitations

(A) No Trademark License- This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.

(B) If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.

(C) If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

(D) If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license

with your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.

(E) The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

■ Code Project Open License

本ソフトウェアで使用しているMahApps.Metro は、Code Project Open License のもとでリリースされている、Simple Metro Style Panorama Control for WPF を含んでいます。Code Project Open License のライセンス条項は以下のとおりです。

Preamble

This License governs Your use of the Work. This License is intended to allow developers to use the Source Code and Executable Files provided as part of the Work in any application in any form.

The main points subject to the terms of the License are:

- Source Code and Executable Files can be used in commercial applications;
- Source Code and Executable Files can be redistributed; and
- Source Code can be modified to create derivative works.
- No claim of suitability, guarantee, or any warranty whatsoever is provided. The software is provided "as-is".
- The Article(s) accompanying the Work may not be distributed or republished without the Author's consent

This License is entered between You, the individual or other entity reading or otherwise making use of the Work licensed pursuant to this License and the individual or other entity which offers the Work under the terms of this License ("Author").

License

THE WORK (AS DEFINED BELOW) IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS CODE PROJECT OPEN LICENSE ("LICENSE"). THE WORK IS PROTECTED BY COPYRIGHT AND/OR OTHER APPLICABLE LAW. ANY USE OF THE WORK OTHER THAN AS AUTHORIZED UNDER THIS LICENSE OR COPYRIGHT LAW IS PROHIBITED.

BY EXERCISING ANY RIGHTS TO THE WORK PROVIDED HEREIN, YOU ACCEPT AND AGREE TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE. THE AUTHOR GRANTS YOU THE RIGHTS CONTAINED HEREIN IN CONSIDERATION OF YOUR ACCEPTANCE OF SUCH TERMS AND CONDITIONS. IF YOU DO NOT AGREE TO ACCEPT AND BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE, YOU CANNOT MAKE ANY USE OF THE WORK.

1. Definitions.

- a. "Articles" means, collectively, all articles written by Author which describes how the Source Code and Executable Files for the Work may be used by a user.
 - b. "Author" means the individual or entity that offers the Work under the terms of this License.
 - c. "Derivative Work" means a work based upon the Work or upon the Work and other pre-existing works.
 - d. "Executable Files" refer to the executables, binary files, configuration and any required data files included in the Work.
 - e. "Publisher" means the provider of the website, magazine, CD-ROM, DVD or other medium from or by which the Work is obtained by You.
 - f. "Source Code" refers to the collection of source code and configuration files used to create the Executable Files.
 - g. "Standard Version" refers to such a Work if it has not been modified, or has been modified in accordance with the consent of the Author, such consent being in the full discretion of the Author.
 - h. "Work" refers to the collection of files distributed by the Publisher, including the Source Code, Executable Files, binaries, data files, documentation, whitepapers and the Articles.
 - i. "You" is you, an individual or entity wishing to use the Work and exercise your rights under this License.
2. Fair Use/Fair Use Rights. Nothing in this License is intended to reduce, limit, or restrict any rights arising from fair use, fair dealing, first sale or other limitations on the exclusive rights of the copyright owner under copyright law or other applicable laws.
3. License Grant. Subject to the terms and conditions of this License, the Author hereby grants You a worldwide, royalty-free, non-exclusive, perpetual (for the duration of the applicable copyright) license to exercise the rights in the Work as stated below:
- a. You may use the standard version of the Source Code or Executable Files in Your own applications.
 - b. You may apply bug fixes, portability fixes and other modifications obtained from the Public Domain or from the Author. A Work modified in such a way shall still be considered the standard version and will be subject to this License.
 - c. You may otherwise modify Your copy of this Work (excluding the Articles) in any way to create a Derivative Work, provided that You insert a prominent notice in each changed file stating how, when and where You changed that file.

d. You may distribute the standard version of the Executable Files and Source Code or Derivative Work in aggregate with other (possibly commercial) programs as part of a larger (possibly commercial) software distribution.

e. The Articles discussing the Work published in any form by the author may not be distributed or republished without the Author's consent. The author retains copyright to any such Articles. You may use the Executable Files and Source Code pursuant to this License but you may not repost or republish or otherwise distribute or make available the Articles, without the prior written consent of the Author.

Any subroutines or modules supplied by You and linked into the Source Code or Executable Files of this Work shall not be considered part of this Work and will not be subject to the terms of this License.

4. Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Author hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, import, and otherwise transfer the Work.

5. Restrictions. The license granted in Section 3 above is expressly made subject to and limited by the following restrictions:

a. You agree not to remove any of the original copyright, patent, trademark, and attribution notices and associated disclaimers that may appear in the Source Code or Executable Files.

b. You agree not to advertise or in any way imply that this Work is a product of Your own.

c. The name of the Author may not be used to endorse or promote products derived from the Work without the prior written consent of the Author.

d. You agree not to sell, lease, or rent any part of the Work. This does not restrict you from including the Work or any part of the Work inside a larger software distribution that itself is being sold. The Work by itself, though, cannot be sold, leased or rented.

e. You may distribute the Executable Files and Source Code only under the terms of this License, and You must include a copy of, or the Uniform Resource Identifier for, this License with every copy of the Executable Files or Source Code You distribute and ensure that anyone receiving such Executable Files and Source Code agrees that the terms of this License apply to such Executable Files and/or Source Code. You may not offer or impose any terms on the Work that alter or restrict the terms of this

License or the recipients' exercise of the rights granted hereunder. You may not sublicense the Work. You must keep intact all notices that refer to this License and to the disclaimer of warranties. You may not distribute the Executable Files or Source Code with any technological measures that control access or use of the Work in a manner inconsistent with the terms of this License.

f. You agree not to use the Work for illegal, immoral or improper purposes, or on pages containing illegal, immoral or improper material. The Work is subject to applicable export laws. You agree to comply with all such laws and regulations that may apply to the Work after Your receipt of the Work.

6. Representations, Warranties and Disclaimer. THIS WORK IS PROVIDED "AS IS", "WHERE IS" AND "AS AVAILABLE", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OR GUARANTEES. YOU, THE USER, ASSUME ALL RISK IN ITS USE, INCLUDING COPYRIGHT INFRINGEMENT, PATENT INFRINGEMENT, SUITABILITY, ETC. AUTHOR EXPRESSLY DISCLAIMS ALL EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTIES OR CONDITIONS, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, MERCHANTABLE QUALITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ANY WARRANTY OF TITLE OR NON-INFRINGEMENT, OR THAT THE WORK (OR ANY PORTION THEREOF) IS CORRECT, USEFUL, BUG-FREE OR FREE OF VIRUSES. YOU MUST PASS THIS DISCLAIMER ON WHENEVER YOU DISTRIBUTE THE WORK OR DERIVATIVE WORKS.

7. Indemnity. You agree to defend, indemnify and hold harmless the Author and the Publisher from and against any claims, suits, losses, damages, liabilities, costs, and expenses (including reasonable legal or attorneys' fees) resulting from or relating to any use of the Work by You.

8. Limitation on Liability. EXCEPT TO THE EXTENT REQUIRED BY APPLICABLE LAW, IN NO EVENT WILL THE AUTHOR OR THE PUBLISHER BE LIABLE TO YOU ON ANY LEGAL THEORY FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR EXEMPLARY DAMAGES ARISING OUT OF THIS LICENSE OR THE USE OF THE WORK OR OTHERWISE, EVEN IF THE AUTHOR OR THE PUBLISHER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

9. Termination.

a. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically upon any breach by You of any term of this License.

Individuals or entities who have received Derivative Works from You under this License, however, will not have their licenses terminated provided such individuals or entities remain in full compliance with those licenses. Sections 1, 2, 6, 7, 8, 9, 10 and 11 will survive any termination of this

License.

b. If You bring a copyright, trademark, patent or any other infringement claim against any contributor over infringements You claim are made by the Work, your License from such contributor to the Work ends automatically.

c. Subject to the above terms and conditions, this License is perpetual (for the duration of the applicable copyright in the Work). Notwithstanding the above, the Author reserves the right to release the Work under different license terms or to stop distributing the Work at any time; provided, however that any such election will not serve to withdraw this License (or any other

license that has been, or is required to be, granted under the terms of this License), and this License will continue in full force and effect unless terminated as stated above.

10. Publisher. The parties hereby confirm that the Publisher shall not, under any circumstances, be responsible for and shall not have any liability in respect of the subject matter of this License. The Publisher makes no warranty whatsoever in connection with the Work and shall not be liable to You or any party on any legal theory for any damages whatsoever, including without limitation any general, special, incidental or consequential damages arising in connection to this license. The Publisher reserves the right to cease making the Work available to You at any time without notice

11. Miscellaneous

a. This License shall be governed by the laws of the location of the head office of the Author or if the Author is an individual, the laws of location of the principal place of residence of the Author.

b. If any provision of this License is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this License, and without further action by the parties to this License, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

c. No term or provision of this License shall be deemed waived and no breach consented to unless such waiver or consent shall be in writing and signed by the party to be charged with such waiver or consent.

d. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the Work licensed herein. There are no understandings, agreements or representations with respect to the Work not specified herein. The Author shall not be bound by any additional provisions that may

appear in any communication from You. This License may not be modified without the mutual written agreement of the Author and You.

■ libpng License

本ソフトウェアでは、libpng Licenseの下でリリースされている、libpngを使用しています。
libpng Licenseのライセンス条項は以下の通りです。

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE

=====

PNG Reference Library License version 2

- * Copyright (c) 1995-2019 The PNG Reference Library Authors.
- * Copyright (c) 2018-2019 Cosmin Truta.
- * Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson.
- * Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger.
- * Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

The software is supplied "as is", without warranty of any kind, express or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title, and non-infringement. In no event shall the Copyright owners, or anyone distributing the software, be liable for any damages or other liability, whether in contract, tort or otherwise, arising from, out of, or in connection with the software, or the use or other dealings in the software, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated, but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

■ 日本電気株式会社製NeoFace-V

本ソフトウェアでは、日本電気株式会社製 NeoFace-V を利用しています。NeoFace-V のライセンス規約は以下のとおりです。

・ caffe

COPYRIGHT

All contributions by the University of California:

Copyright (c) 2014–2017 The Regents of the University of California
(Regents)

All rights reserved.

All other contributions:

Copyright (c) 2014–2017, the respective contributors

All rights reserved.

Caffe uses a shared copyright model: each contributor holds copyright over their contributions to Caffe. The project versioning records all such contribution and copyright details. If a contributor wants to further mark their specific copyright on a particular contribution, they should indicate their copyright solely in the commit message of the change when it is committed.

LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT

OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

CONTRIBUTION AGREEMENT

By contributing to the BVLC/caffe repository through pull-request, comment, or otherwise, the contributor releases their content to the license and copyright terms herein.

- caffe2

Copyright (c) 2016-present, Facebook Inc. All rights reserved.

All contributions by Facebook:

Copyright (c) 2016 Facebook Inc.

All contributions by Google:

Copyright (c) 2015 Google Inc.

All rights reserved.

All contributions by Yangqing Jia:

Copyright (c) 2015 Yangqing Jia

All rights reserved.

All contributions from Caffe:

Copyright(c) 2013, 2014, 2015, the respective contributors

All rights reserved.

All other contributions:

Copyright(c) 2015, 2016 the respective contributors

All rights reserved.

Caffe2 uses a copyright model similar to Caffe: each contributor holds copyright over their contributions to Caffe2. The project versioning

records all such contribution and copyright details. If a contributor wants to further mark their specific copyright on a particular contribution, they should indicate their copyright solely in the commit message of the change when it is committed.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the names of Facebook, Deepmind Technologies, NYU, NEC Laboratories

America and IDIAP Research Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• intel/caffe

COPYRIGHT

All modification made by Intel Corporation: © 2017 Intel Corporation.

All new contributions compared to the original branch:

Copyright (c) 2015, 2016 Wei Liu (UNC Chapel Hill), Dragomir Anguelov (Zoox), Dumitru Erhan (Google), Christian Szegedy (Google), Scott Reed (UMich Ann Arbor), Cheng-Yang Fu (UNC Chapel Hill), Alexander C. Berg (UNC Chapel Hill).

All rights reserved.

All contributions by the University of California:

Copyright (c) 2014, 2015, The Regents of the University of California (Regents)

All rights reserved.

All other contributions:

Copyright (c) 2014, 2015, the respective contributors

All rights reserved.

Caffe uses a shared copyright model: each contributor holds copyright over their contributions to Caffe. The project versioning records all such contribution and copyright details. If a contributor wants to further mark their specific copyright on a particular contribution, they should indicate their copyright solely in the commit message of the change when it is committed.

LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

CONTRIBUTION AGREEMENT

By contributing to the BVLC/caffe repository through pull-request, comment, or otherwise, the contributor releases their content to the license and copyright terms herein.

- Intel Compiler Runtime Libraries

third-party-programs.txt

This text file is the "third-party-programs.txt" file specified in the associated license agreement. The third party programs files and the corresponding third party licenses are listed below. As specified in the associated license agreement, the listed third party programs files are subject to the corresponding third party licenses that solely and exclusively govern your use of the third party programs.

This third-party-programs.txt file applies to 18.0 C++ Compiler.

#####Microsoft Public License (Ms-PL)

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

1. Definitions

The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software.

A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license.

"Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

2. Grant of Rights

1. Copyright Grant—Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you anon-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.
2. Patent Grant—Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you anon-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

3. Conditions and Limitations

1. No Trademark License—This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.
2. If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.
3. If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.
4. If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license you're your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.
5. The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees or conditions. You

may have additional
consumer rights under your local laws which this license cannot change.
To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude
the implied warranties of merchantability, fitness for a particular
purpose and non-infringement.

#####

Eclipse Public License -v 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS ECLIPSE PUBLIC
LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE
PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

1. DEFINITIONS

Contribution" means:

- a) in the case of the initial Contributor, the initial code and
documentation distributed under this Agreement, and
- b) in the case of each subsequent Contributor:

- i) changes to the Program, and

- ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are
distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates'
from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor
itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do
not include additions to the Program which: (i) are separate modules of
software distributed in conjunction with the Program under their own
license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents" mean patent claims licensable by a Contributor which
are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or
when combined with the Program.

“Program” means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

“Recipient” means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

- a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.
- b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.
- c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.
- d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient

copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

- a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and
- b) its license agreement:
 - i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;
 - ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;
 - iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and
 - iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

- a) it must be made available under this Agreement; and
- b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its

Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial

Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such

litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. The Eclipse Foundation is the initial Agreement Steward. The Eclipse Foundation may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

#####

BSD Two Clause License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#####

Copyright (c) 2017, Intel

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#####

Copyright (C) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises.

All rights reserved.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch ghost@aladdin.com

#####

Microsoft Limited Permissive License (Ms-LPL)

Published: October 18, 2005

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

Definitions

The terms "reproduce," "reproduction" and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

"You" means the licensee of the software.

"Licensed patents" means any Microsoft patent claims which read directly on the software as distributed by Microsoft under this license.

Grant of Rights

Copyright Grant-Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, Microsoft grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce the software, prepare derivative works of the software and distribute the software or any derivative works that you create.

Patent Grant-Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, Microsoft grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under licensed patents to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the software or derivative works of the software.

Conditions and Limitations

No Trademark License-This license does not grant you any rights to use Microsoft's name, logo, or trademarks.

If you begin patent litigation against Microsoft over patents that you think may apply to the software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), your license to the software ends automatically.

If you distribute copies of the software or derivative works, you must

retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

If you distribute the software or derivative works in source code form you may do so only under this license (i.e., you must include a complete copy of this license with your distribution), and if you distribute the software or derivative works in compiled or object code form you may only do so under a license that complies with this license.

The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. Microsoft gives no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, Microsoft excludes the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

Platform Limitation-The licenses granted in sections 2(A) & 2(B) extend only to the software or derivative works that you create that run on a Microsoft Windows operating system product.

#####

University of Illinois/NCSA Open Source License

Copyright (c) 2017 ICL All rights reserved.

Developed by:

ICL Intel www.intel.com

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal with the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of <Name of Development Group, Name of Institution>, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS WITH THE SOFTWARE.

#####

- Intel Math Kernel Library (Intel MKL)
- Intel Integrated Performance Primitives (Intel IPP)
- Intel Integrated Performance Primitives Cryptography (Intel IPPCP)
- Intel Simplified Software License (Version April 2018)

Copyright (c) 2018 Intel Corporation.

Use and Redistribution. You may use and redistribute the software (the "Software"), without modification, provided the following conditions are met:

- * Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following terms of use in the Software and in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Intel nor the names of its suppliers may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.
- * No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this Software is permitted.

Limited patent license. Intel grants you a world-wide, royalty-free, non-exclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to

make, have made, use, import, offer to sell and sell ("Utilize") this Software, but solely to the extent that any such patent is necessary to Utilize the Software alone. The patent license shall not apply to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed hereunder.

Third party and other Intel programs. "Third Party Programs" are the files listed in the "third-party-programs.txt" text file that is included with the Software and may include Intel programs under separate license terms. Third Party Programs, even if included with the distribution of the Materials, are governed by separate license terms and those license terms solely govern your use of those programs.

DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. THIS SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN SYSTEMS OR APPLICATIONS WHERE FAILURE OF THE SOFTWARE MAY CAUSE PERSONAL INJURY OR DEATH AND YOU AGREE THAT YOU ARE FULLY RESPONSIBLE FOR ANY CLAIMS, COSTS, DAMAGES, EXPENSES, AND ATTORNEYS' FEES ARISING OUT OF ANY SUCH USE, EVEN IF ANY CLAIM ALLEGES THAT INTEL WAS NEGLIGENT REGARDING THE DESIGN OR MANUFACTURE OF THE MATERIALS.

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL INTEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD INTEL HARMLESS AGAINST ANY CLAIMS AND EXPENSES RESULTING FROM YOUR USE OR UNAUTHORIZED USE OF THE SOFTWARE.

No support. Intel may make changes to the Software, at any time without notice, and is not obligated to support, update or provide training for the Software.

Termination. Intel may terminate your right to use the Software in the

event of your breach of this Agreement and you fail to cure the breach within a reasonable period of time.

Feedback. Should you provide Intel with comments, modifications, corrections, enhancements or other input ("Feedback") related to the Software Intel will be free to use, disclose, reproduce, license or otherwise distribute or exploit the Feedback in its sole discretion without any obligations or restrictions of any kind, including without limitation, intellectual property rights or licensing obligations.

Compliance with laws. You agree to comply with all relevant laws and regulations governing your use, transfer, import or export (or prohibition thereof) of the Software.

Governing law. All disputes will be governed by the laws of the United States of America and the State of Delaware without reference to conflict of law principles and subject to the exclusive jurisdiction of the state or federal courts sitting in the State of Delaware, and each party agrees that it submits to the personal jurisdiction and venue of those courts and waives any objections. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (1980) is specifically excluded and will not apply to the Software.

*Other names and brands may be claimed as the property of others.

third-party-programs.txt (MKL)

This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Math Kernel Library 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in this version of the Intel(R) Math Kernel Library.
third-party-programs.txt (IPP) This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Integrated Performance Primitives 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in this version of the Intel(R) Integrated Performance Primitives.

third-party-programs.txt (IPPCP)

This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Integrated Performance

Primitives Cryptography 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in

this version of the Intel(R) Integrated Performance Primitives.

- libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- libre

Copyright (C) 2010 Creytiv.com

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Creytiv.com nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CREYTIV.COM BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- Open Computer Vision Library (OpenCV)

IMPORTANT: READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license.

If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright (C) 2000–2008, Intel Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2009, Willow Garage Inc., all rights reserved.

Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors “as is” and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the Intel Corporation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but

not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

• pdollar/toolbox

Copyright (c) 2012, Piotr Dollar

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

■ bootstrap

本ソフトウェアでは、bootstrap を利用しています。bootstrap (v4. 3. 1) のライセンス規約は以下のとおりです。

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2011–2022 Twitter, Inc.

Copyright (c) 2011–2022 The Bootstrap Authors

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights

to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ jQuery

本ソフトウェアでは、jQuery を利用しています。jQuery (3. 4. 1)のライセンス規約は以下のとおりです。

Copyright OpenJS Foundation and other contributors, <https://openjsf.org/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ clmtrackr

本ソフトウェアでは、clmtrackr を利用しています。jQuery (1.1.2) のライセンス規約は以下のとおりです。

MIT License

Copyright (c) 2017 Audun Mathias Øygard

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ idb-keyval

本ソフトウェアでは、idb-keyval を利用しています。idb-keyval (3.2.0)のライセンス規約は以下のとおりです。

Copyright 2016, Jake Archibald

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ face-api.js

本ソフトウェアでは、face-api.js を利用しています。face-api.js (0.22.2) のライセンス規約は以下のとおりです。

Copyright (c) 2018 Vincent Muhler

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.